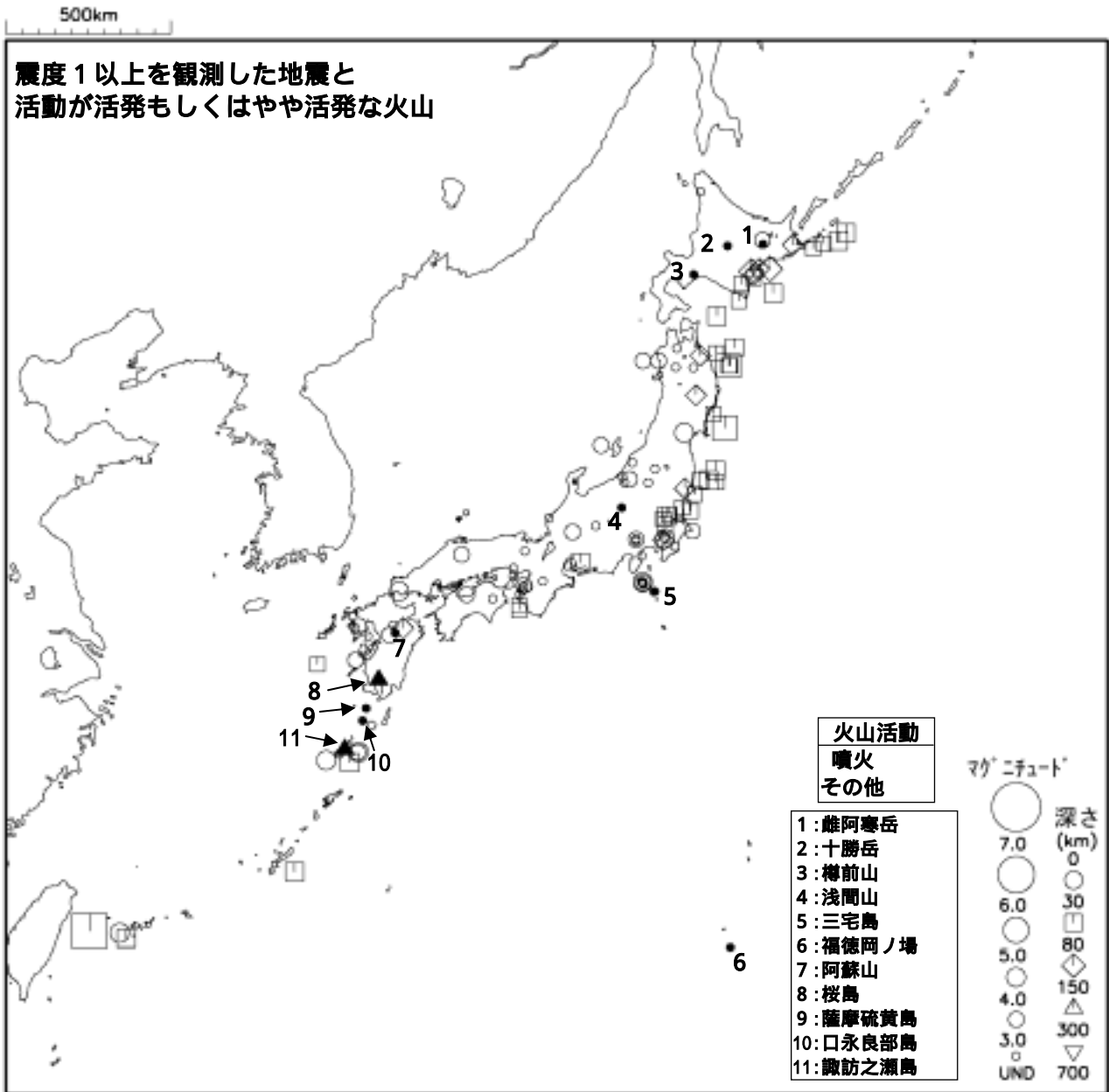


平成 18 年 7 月 地震・火山月報（防災編）

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

July 2006



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所*から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関**から地震観測データの提供を受け、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上 1 府 8 県、1 政令指定都市は平成 9 年 11 月 10 日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、鳥根県及び愛媛県（以上 6 県は平成 10 年 6 月 15 日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上 1 府 11 県は平成 10 年 10 月 15 日から発表）、東京都、長野県（以上 1 都 1 県は平成 11 年 7 月 21 日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上 3 県、1 政令指定都市は平成 12 年 1 月 12 日から発表）、滋賀県（平成 12 年 3 月 28 日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上 3 県は平成 12 年 7 月 18 日から発表）、佐賀県（平成 13 年 3 月 22 日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上 1 県、1 政令指定都市は平成 13 年 5 月 10 日から発表）、高知県（平成 13 年 7 月 19 日から発表）、福島県（平成 13 年 12 月 12 日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）（以上 4 県、1 政令指定都市は平成 14 年 3 月 20 日から発表）北海道、長崎県（以上 1 道 1 県、平成 14 年 7 月 29 日から発表）、沖縄県（平成 15 年 3 月 10 日から発表）の 47 都道府県、4 政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所（平成 16 年 5 月 26 日から発表）。

注** 平成 18 年 7 月末現在：国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人海洋研究開発機構、独立行政法人産業技術総合研究所、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び横浜市。

本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード Depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中の地震数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解の図中の語句について

NP1：節面 1

NP2：節面 2

STR：走向（°：北から時計周り）

DIP：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）

SLIP：すべり角（°：断層の走向から断層面に沿って反時計周り）

P：P 軸（圧力軸）

T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

AZM：方位角（°：北から時計周り）

PLG：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）

Mw：モーメントマグニチュード

Mo：地震モーメント（単位：Nm[ニュートン・メートル]）

・M - T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用するものを用いる。情報発表時と異なる震央地名を用いた場合は、「異なる震央地名[情報発表時に使用する震央地名]」と併記した。

・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については「地震・火山月報（カタログ編）」、「地震年報（CD-ROM）」を参照のこと。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、「地震・火山月報（カタログ編）」、「火山報告（CD-ROM）」を参照のこと。

・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 25000（地図画像）』、『数値地図 50000（地図画像）』、『数値地図 10m メッシュ（火山標高）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』、『数値地図 250m メッシュ（標高）』を使用したものである（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」（東京大学出版会、1991）を使用した。

・図版作成には一部 GMT(Generic Mapping Tool[Wessel, P., and W.H.F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998]) を使用した。

日本及びその周辺で発生した主な地震

表 1

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M H S T (注 3)	最大震度・被害状況等(注 4)	掲載 ページ
1	7 1 08 28	宮城県沖	5.3	3:宮城県 石巻市桃生町* など 2 県 45地点	8
2	7 6 02 08	岩手県沖	5.4	3:岩手県 洋野町大野* など 2 県 6 地点	9
3	7 6 06 11	宮城県南部	4.3	..S.	4:宮城県 仙台青葉区大倉	10
4	7 6 15 17	茨城県南部	4.0	3:茨城県 常陸大宮市上村田* など 2 県 5 地点	12
5	7 9 09 06	東京湾	4.2	3:千葉県 市原市姉崎*	13
6	7 9 17 48	新島・神津島近海	4.8	..S.	4:東京都 新島村式根島	14
7	7 9 18 11	新島・神津島近海	3.0	..S.	4:東京都 新島村式根島	14
8	7 11 03 09	山口県西部	4.0	3:山口県 秋芳町秋吉* など 1 県 5 地点	16
9	7 17 05 01	十勝支庁中部	4.0	3:北海道 釧路市音別町直別*	6
10	7 28 16 40	台湾付近	6.2	M.....	3:沖縄県 与那国町祖納	19

注 1) 主な地震とは、M6.0 以上、震度 4 以上、内陸 M4.0 以上かつ震度 3、海域 M5.0 以上かつ震度 3、その他注目した地震を指す。

注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

注 3) M H S T の各項目について、M: M6.0 以上の地震、H: 被害を伴った地震、S: 震度 4 以上を観測した地震、T: 津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

注 4) 最大震度の観測点名にある * 印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点の情報であることを表す。被害の報告は総務省消防庁による。

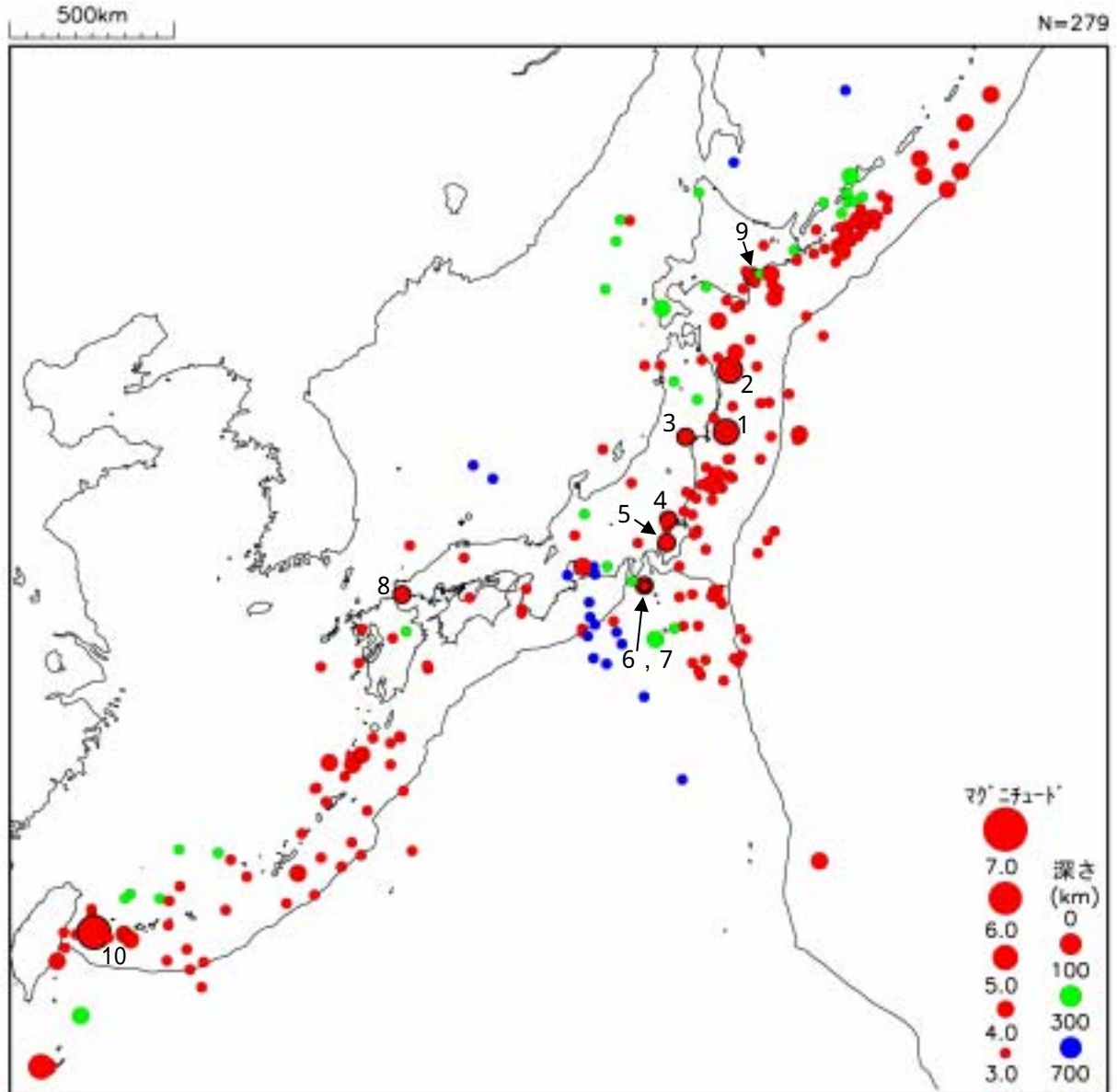
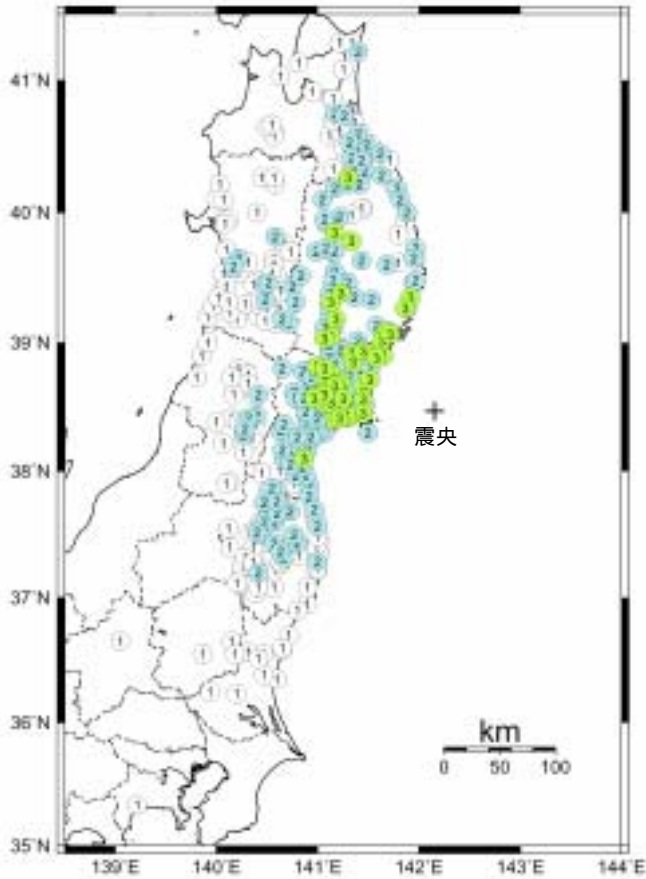


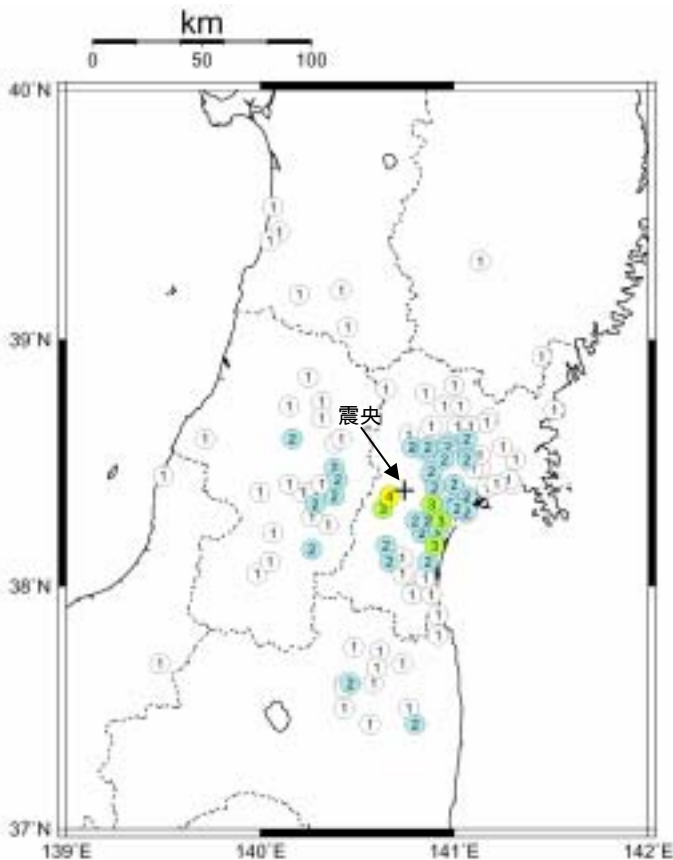
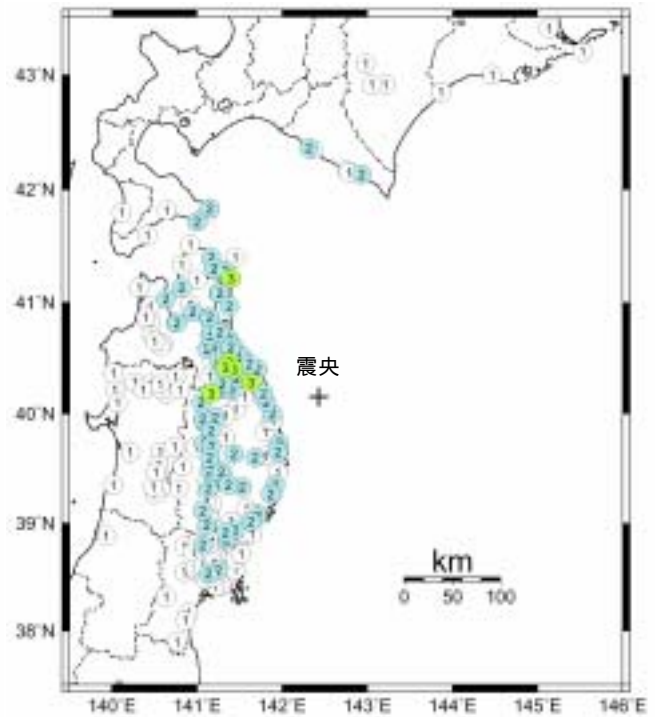
図 1 2006 年 7 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
(図中の数字は表 1 の番号に対応する)

図 2 各観測点の震度分布図（数字は表 1，図 1 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

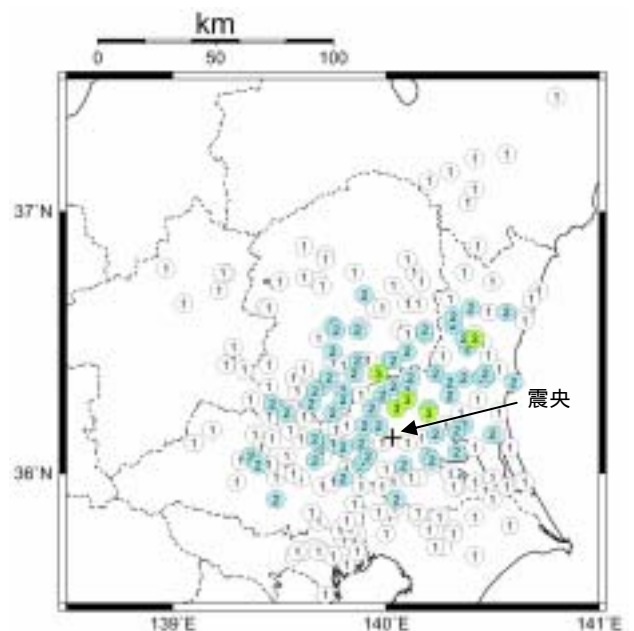
No. 1： 7 / 1 08:28 宮城県沖
（M5.3，深さ 40km，最大震度 3）



No. 2： 7 / 6 02:08 岩手県沖
（M5.4，深さ 36km，最大震度 3）

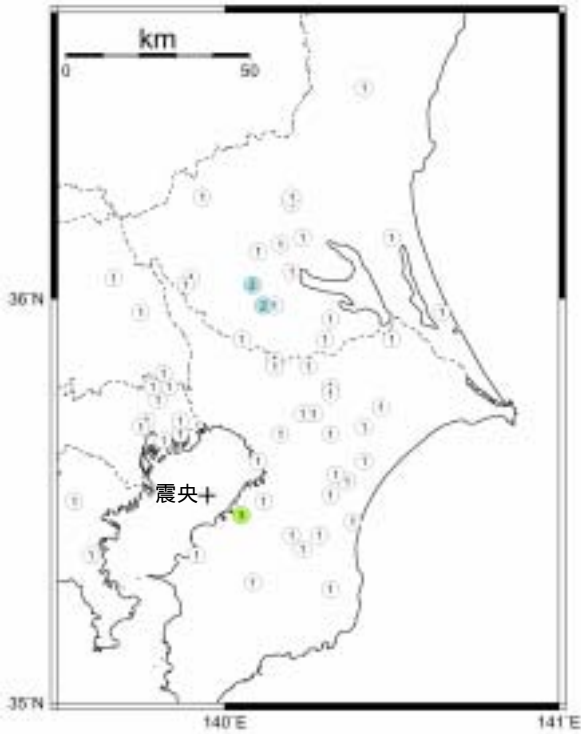


No. 3： 7 / 6 06:11 宮城県南部
（M4.3，深さ 11km，最大震度 4）

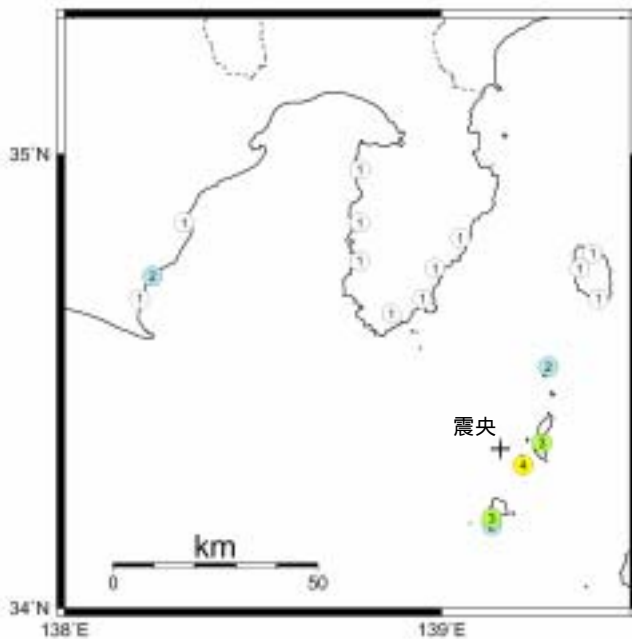
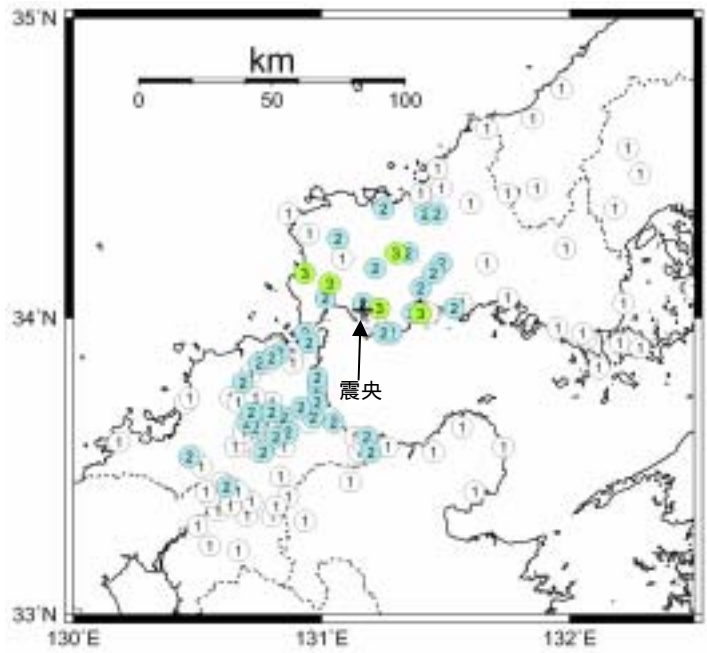


No. 4： 7 / 6 15:17 茨城県南部
（M4.0，深さ 50km，最大震度 3）

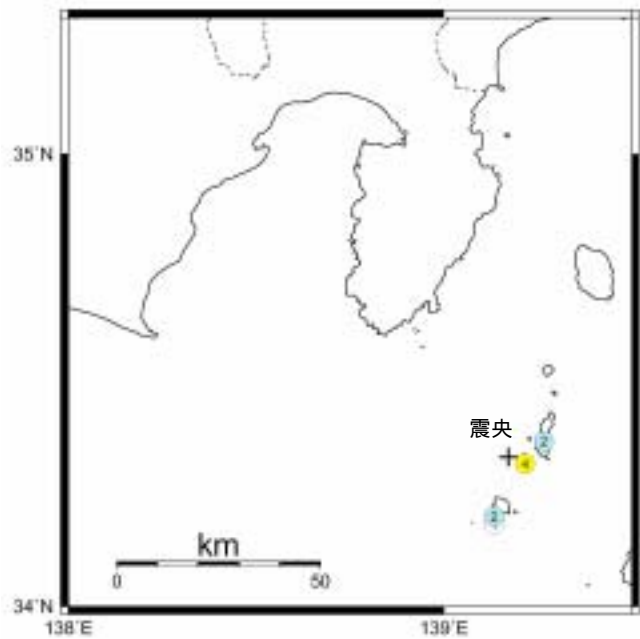
No. 5 : 7 / 9 09:06 東京湾
(M4.2, 深さ 24km, 最大震度 3)



No. 8 : 7 / 11 03:09 山口県西部
(M4.0, 深さ 16km, 最大震度 3)

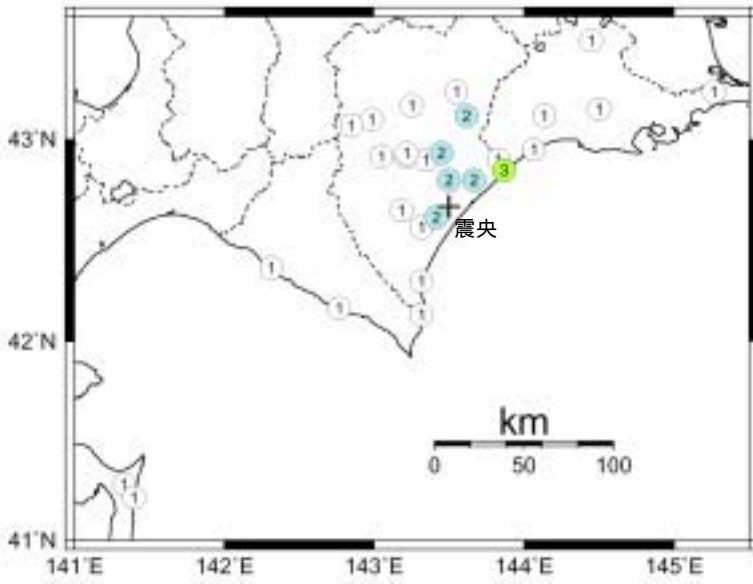


No. 6 : 7 / 9 17:48 新島・神津島近海
(M4.8, 深さ 11km, 最大震度 4)

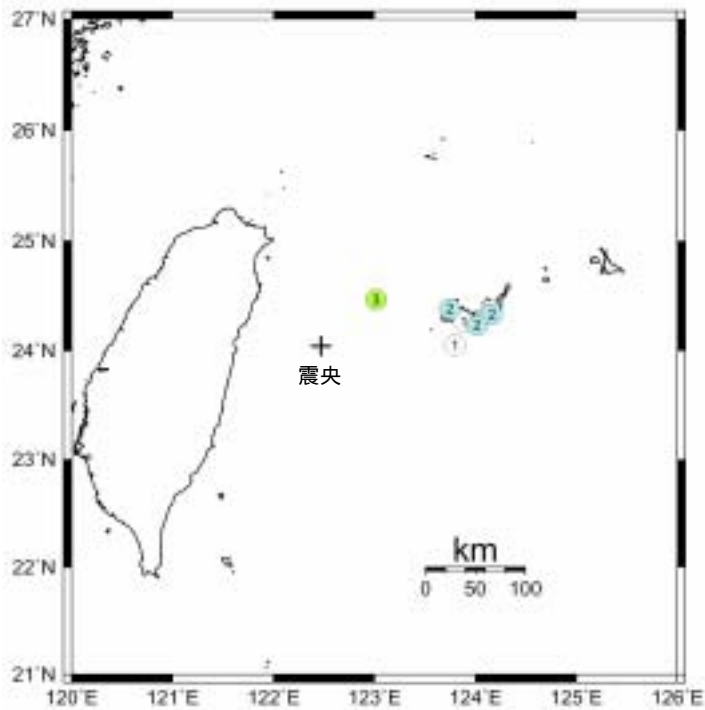


No. 7 : 7 / 9 18:11 新島・神津島近海
(M3.0, 深さ 6km, 最大震度 4)

No. 9 : 7 / 17 05:01 十勝支庁中部
(M4.0, 深さ 86km, 最大震度 3)



No.10: 7 / 28 16:40 台湾付近
(M6.2, 深さ 40km, 最大震度 3)



北海道地方の地震活動

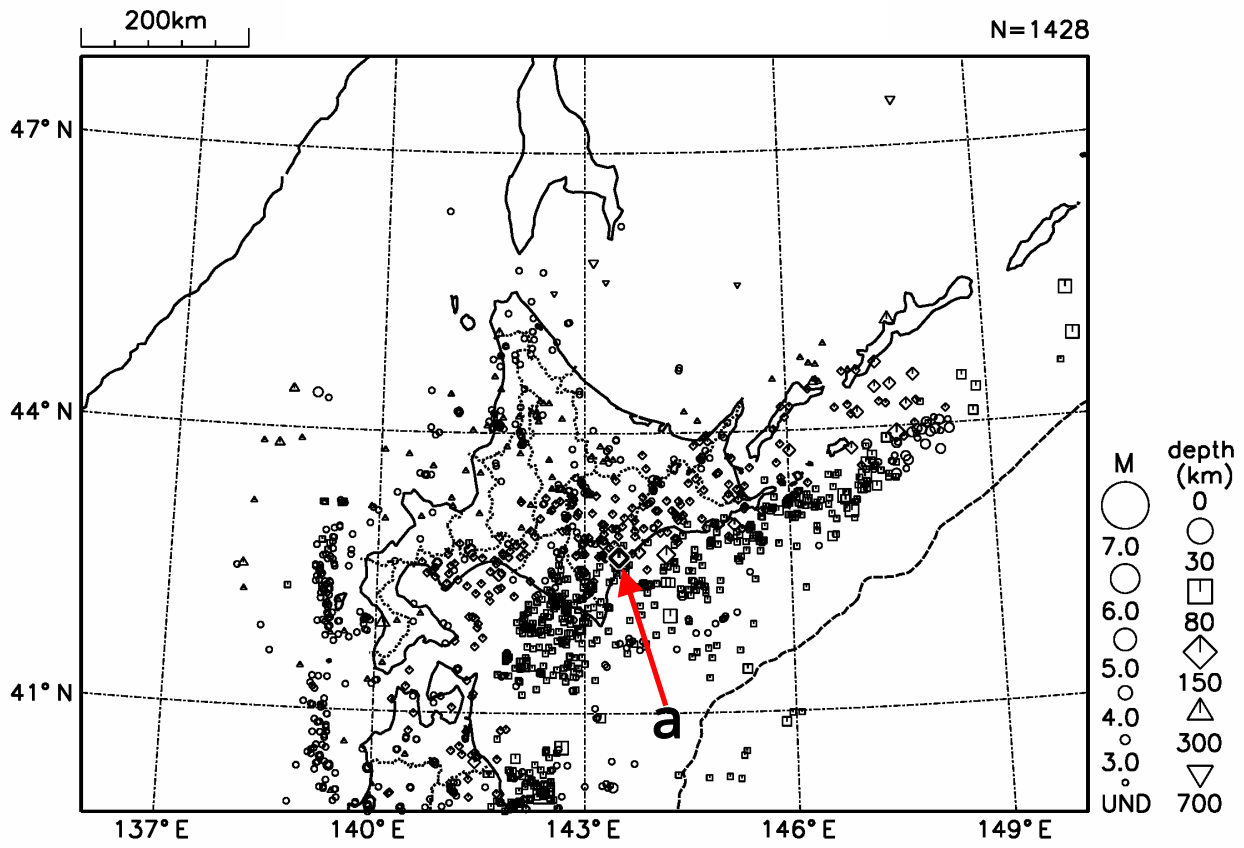


図3 北海道地方の震央分布図（2006年7月1日～7月31日）

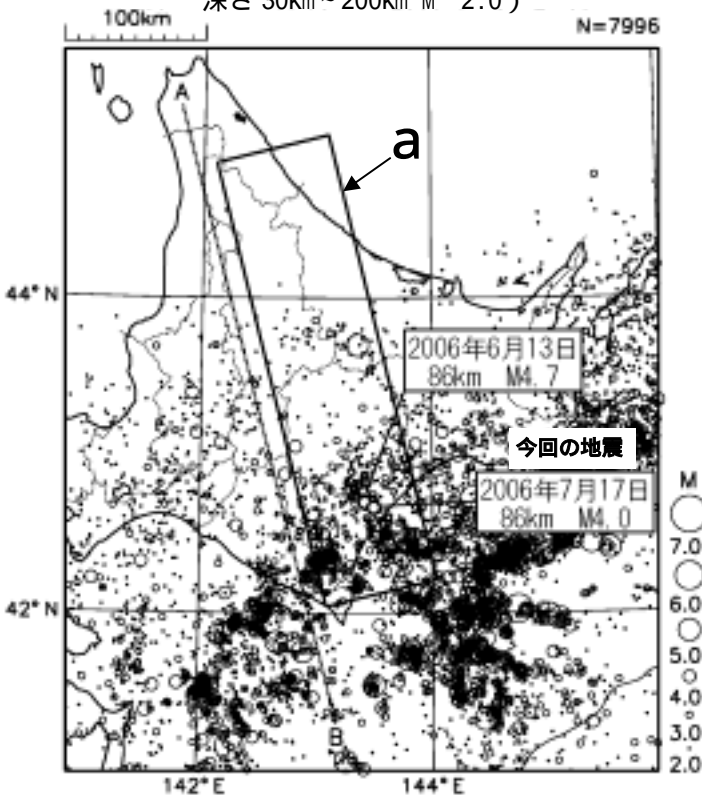
[概況]

7月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は18回（6月は17回）であった。7月中の主な活動は次の通りである。

7月17日05時01分、十勝支庁中部の深さ86kmでM4.0の地震（図3中のa）が発生し、北海道の釧路市で震度3を観測したほか、北海道から東北地方にかけて震度2～1を観測した（p6参照）。

7 月 17 日 十勝支庁中部の地震

震央分布図
 (2001 年 10 月 1 日 ~ 2006 年 7 月 31 日
 深さ 30km ~ 200km M 2.0)



2006 年 7 月 17 日 05 時 01 分に十勝支庁中部の深さ 86km で M4.0 (最大震度 3) の地震が発生した。この地震の発震機構は、北東 - 南西方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した地震と考えられる。また、この付近で通常見られるプレートの沈み込み方向に張力軸を持つ型とは異なるものであった。今回の地震の震源付近では 2006 年 6 月 13 日に M4.7 (最大震度 4) の地震が発生している。

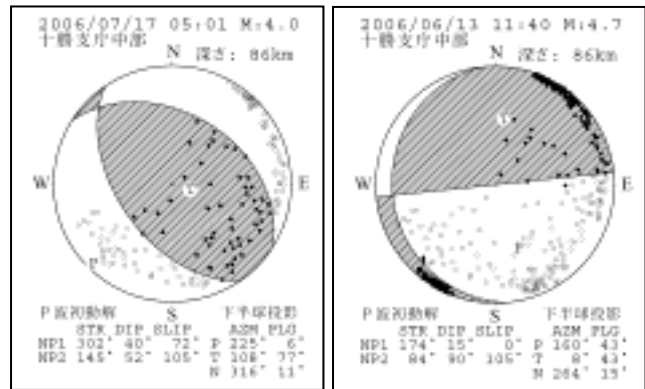
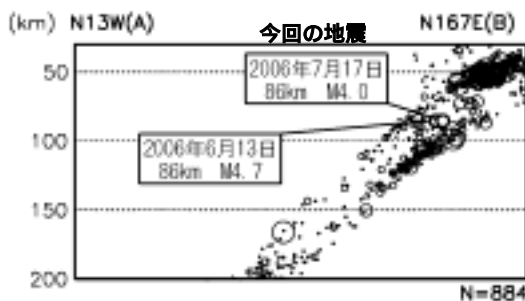
1923 年 8 月以降、この付近では、M5.0 以上の地震が度々発生している。最大は、1987 年 1 月 14 日の M6.6 (最大震度 5) の地震で、重傷者 2 名、軽傷者 5 名などの被害を生じている。

発震機構 (P 波初動解)

今回の地震

2006 年 6 月 13 日の地震

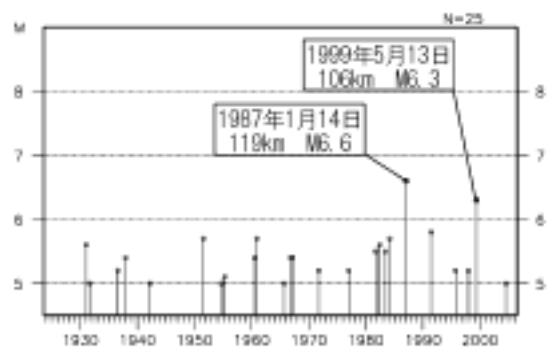
領域 a 内の断面図 (A - B 投影)



震央分布図
 (1923 年 8 月 1 日 ~ 2006 年 7 月 31 日
 深さ 80km ~ 200km M 5.0)



領域 b の M - T 図



東北地方の地震活動

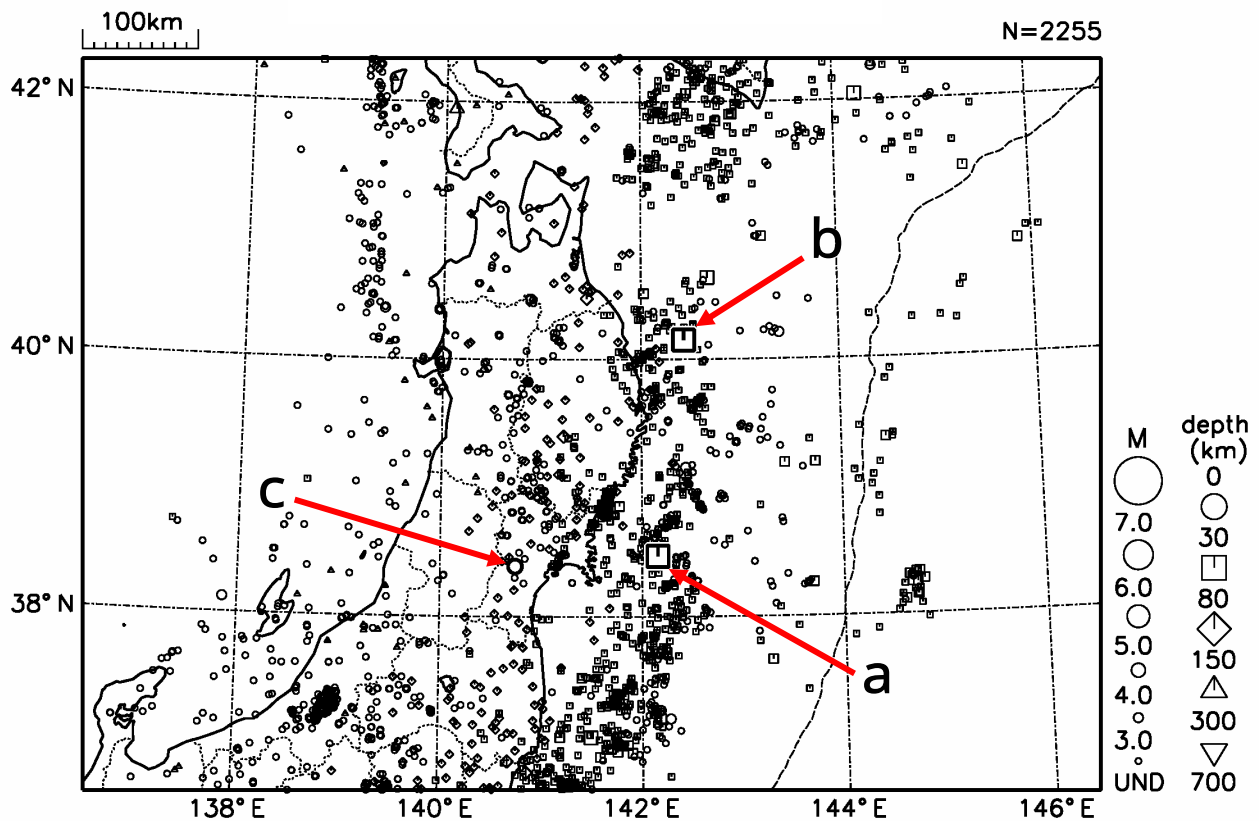


図4 東北地方の震央分布図（2006年7月1日～7月31日）

[概況]

7月に東北地方で震度1以上を観測した地震は25回（6月は25回）であった。
7月中の主な地震は次の通りである。

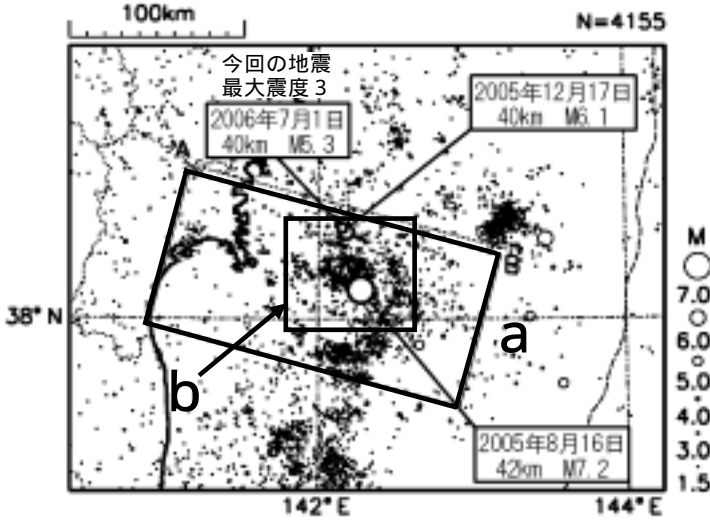
1日08時28分、宮城県沖の深さ40kmでM5.3の地震（図4中のa）が発生し、岩手県と宮城県境付近を中心に震度3を観測したほか、青森県、秋田県、山形県、福島県と関東地方の一部で震度2～1を観測した（p8参照）。

6日02時08分、岩手県沖の深さ36kmでM5.4の地震（図4中のb）があり、青森県と岩手県の6地点で震度3を観測したほか、北海道の一部と宮城県、秋田県、山形県で震度2～1を観測した（p9参照）。

6日06時11分、宮城県南部の深さ11kmでM4.3の地震（図4中のc）があり、宮城県仙台市で震度4を観測したほか、宮城県、山形県、福島県、岩手県、秋田県、新潟県で震度3～1を観測した（p10参照）。

7 月 1 日 宮城県沖の地震

震央分布図
 (2005 年 8 月 16 日 ~ 2006 年 7 月 31 日
 深さ 0 km ~ 150 km M 1.5)



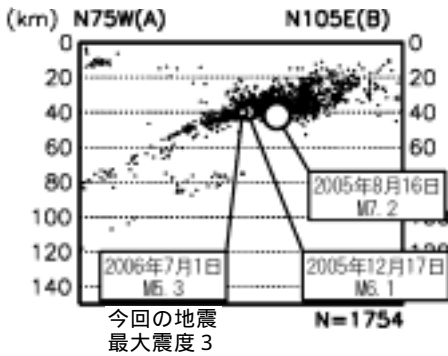
7 月 1 日 08 時 28 分に宮城県沖の深さ 40 km で M5.3 の地震（最大震度 3）が発生した。

この地震の発震機構は、北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸のプレートと太平洋プレートの境界で発生した地震である。

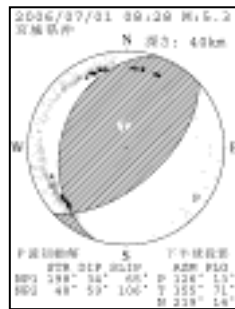
この地震の震源付近では、2005 年 12 月 17 日に M6.1（最大震度 4、2005 年 8 月 16 日 M7.2 の余震）の地震が発生している。

1923 年 8 月以降、この付近では M7.0 以上の地震が 5 回発生している。

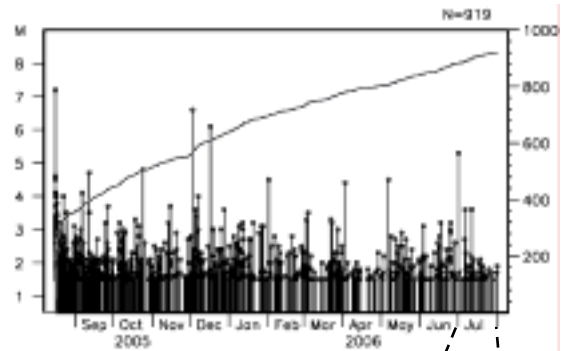
領域 a の A-B 投影断面図



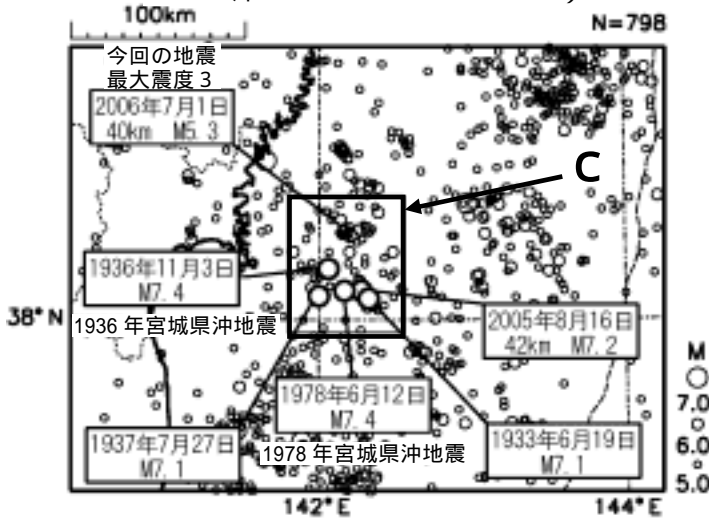
今回の地震の発震機構
 (P 波初動解)



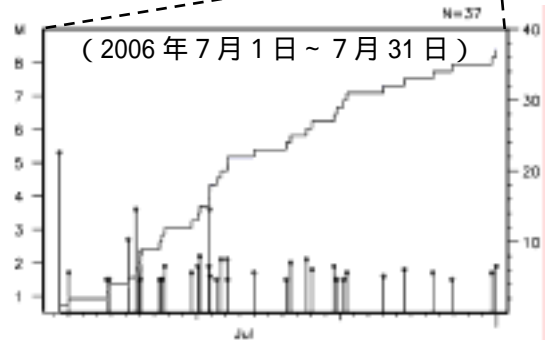
領域 b の M - T 図と回数積算図



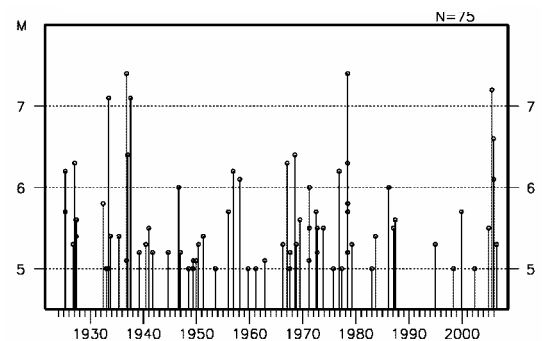
震央分布図
 (1923 年 8 月 1 日 ~ 2006 年 7 月 31 日
 深さ 0 km ~ 150 km M 5.0)



(2006 年 7 月 1 日 ~ 7 月 31 日)



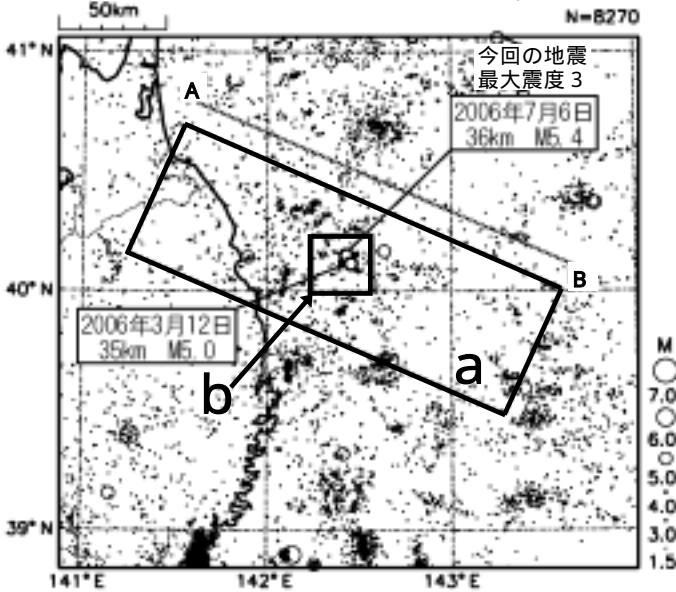
領域 c の M - T 図



7 月 6 日 岩手県沖の地震

震央分布図

(2001 年 10 月 1 日 ~ 2006 年 7 月 31 日
深さ 0 km ~ 150 km M 1.5)



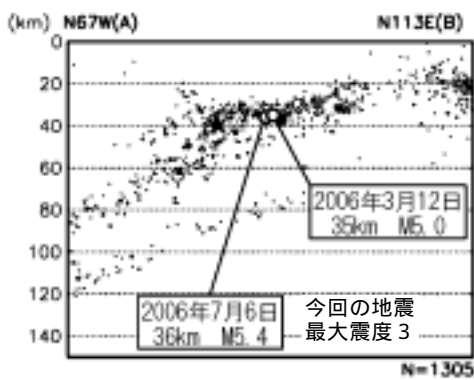
7 月 6 日 02 時 08 分に岩手県沖の深さ 36km で M5.4 の地震（最大震度 3）が発生した。

この地震の発震機構は、西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸のプレートと太平洋プレートの境界で発生した地震である。

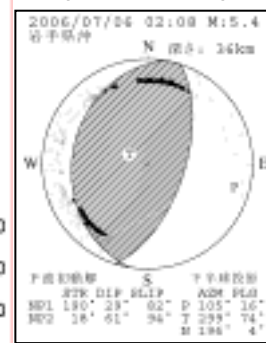
余震活動は低調であった。この地震は「平成 6 年（1994 年）三陸はるか沖地震」（M7.6）の余震域で発生しており、同地震の最大余震（M7.2）の南東に位置している。

この付近は、地震活動が活発な領域で、M5.0 以上の地震が度々発生しており、今年 3 月 12 日にも M5.0 の地震が発生している

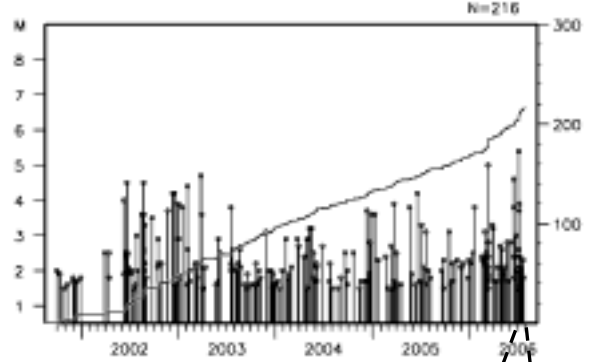
領域 a の A-B 投影断面図



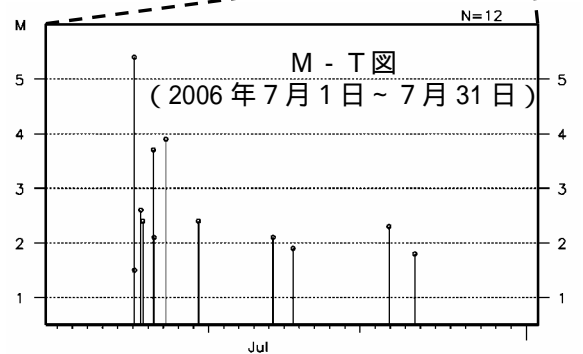
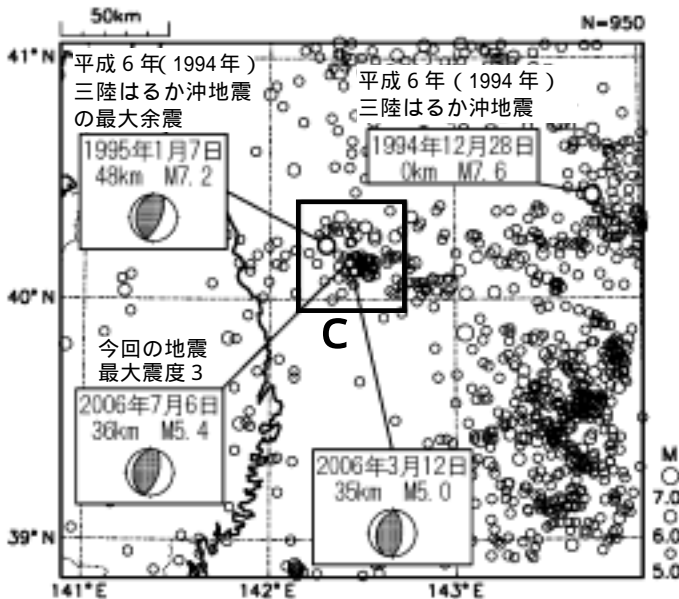
今回の地震の発震機構 (P波初動解)



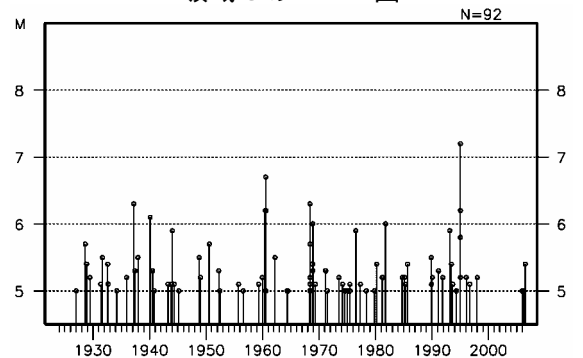
領域 b の M - T 図と回数積算図



震央分布図
(1923 年 8 月 1 日 ~ 2006 年 7 月 31 日
深さ 0 km ~ 150 km M 5.0)



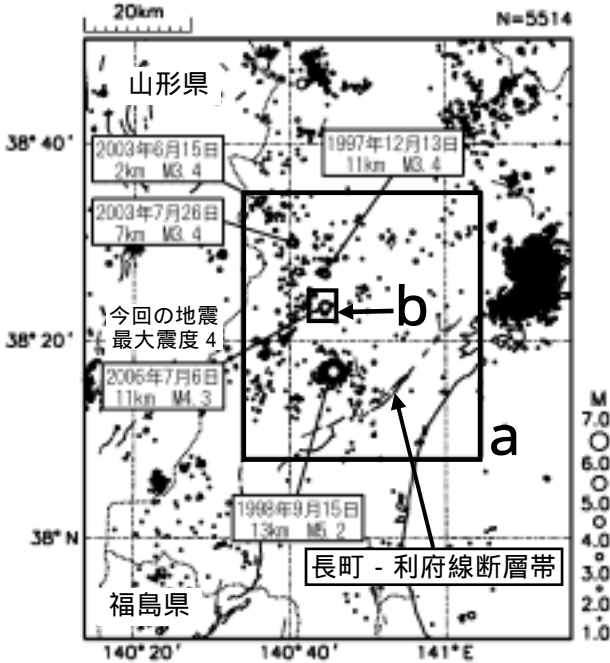
領域 c の M - T 図



7月6日 宮城県南部[宮城県北部]の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2006年7月31日
深さ0km～30km M 1.0)



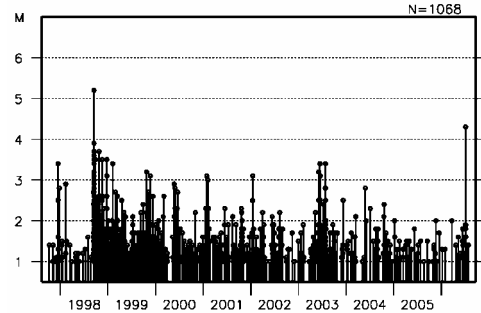
7月6日 06時11分に宮城県南部（地震情報発表時は宮城県北部）の深さ11kmでM4.3の地震（最大震度4）が発生した。

この地震の発震機構は、北北西 - 南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生した地震である。余震活動は低調であった。

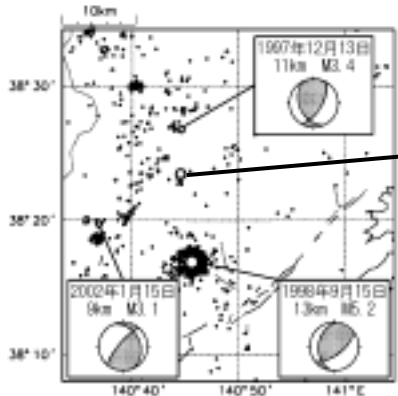
今回の地震の震源は長町 - 利府線断層帯の西側に位置し、この南側では、1998年9月15日にM5.2の地震（最大震度4）が発生している。

今回の地震の周辺域（領域a）では1923年8月以降、M4.0以上の地震は数回発生しているが、M6.0以上の地震は発生していない。

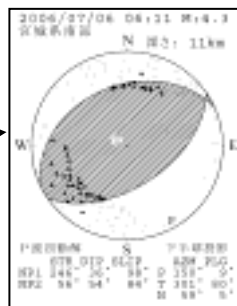
領域aのM - T図



過去の地震の発震機構
(P波初動解、領域aを拡大)

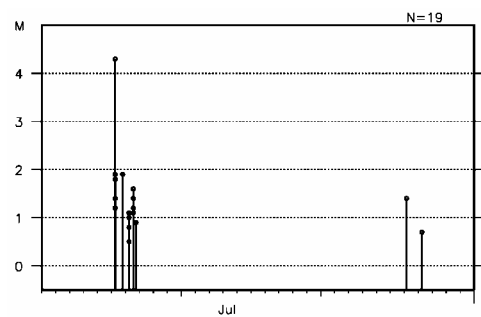


今回の地震の発震機構
(P波初動解)



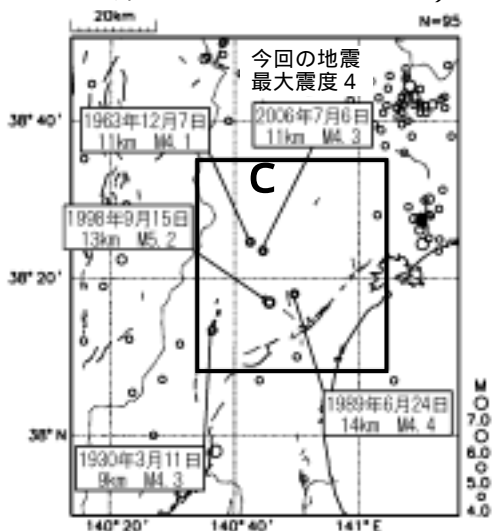
領域bのM - T図

(2006年7月1日～7月31日、Mすべて)

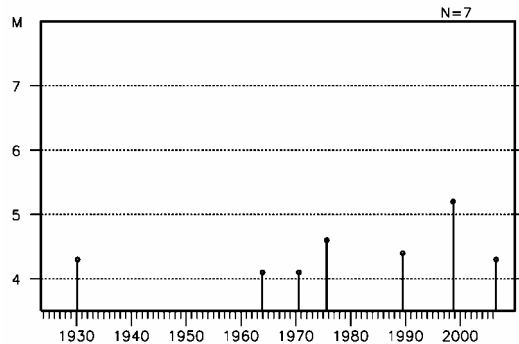


震央分布図

(1923年8月1日～2006年7月31日
深さ0km～60km M 4.0)



領域cのM - T図



関東・中部地方の地震活動

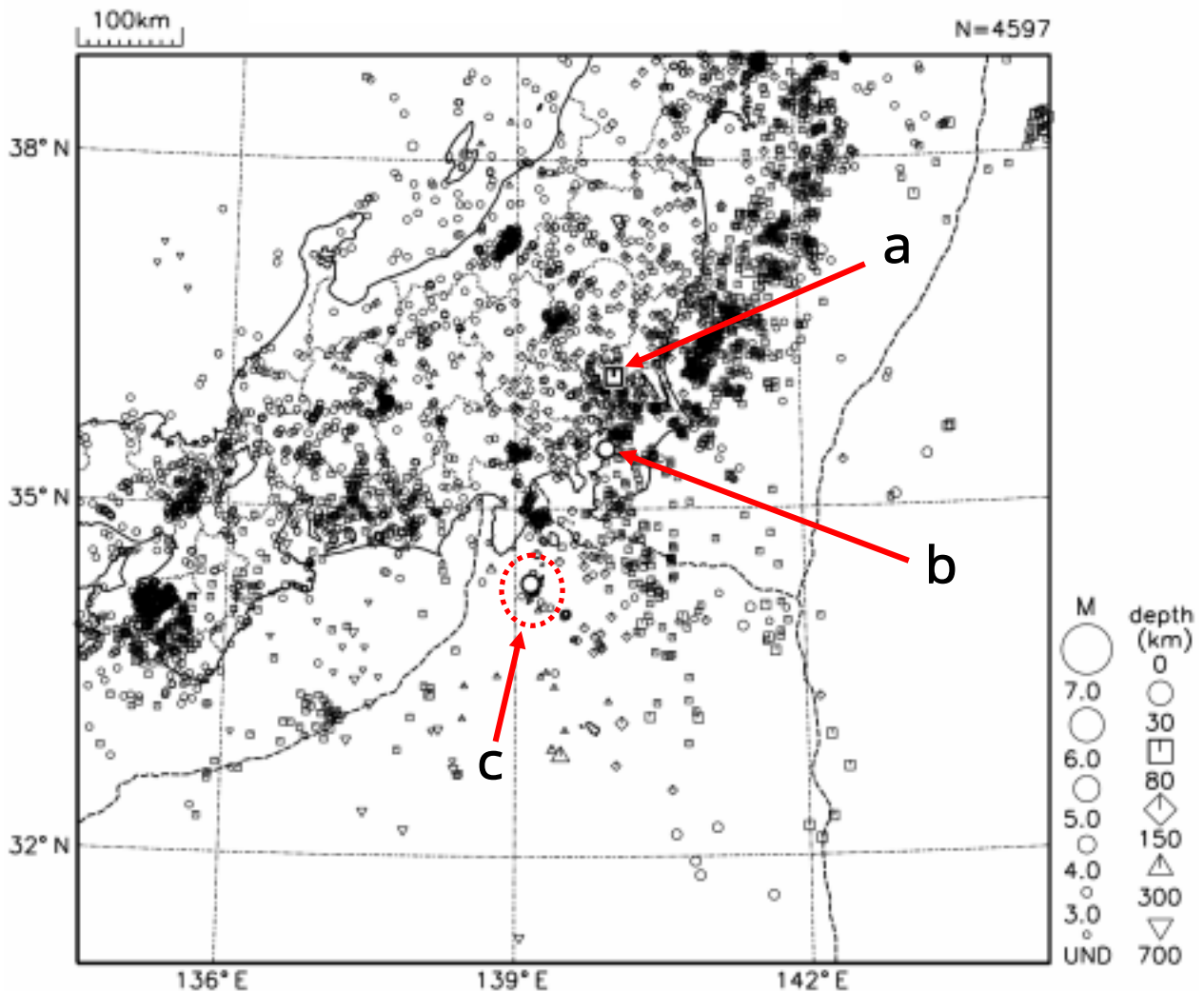


図5 関東・中部地方の震央分布図（2006年7月1日～7月31日）

[概況]

7月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は57回（6月は44回）であった。7月中の主な活動は次の通りである。

6日15時17分、茨城県南部でM4.0の地震（図5中のa）があり、茨城県と栃木県で震度3を観測したほか、関東地方と福島県で震度2～1を観測した（p12参照）。

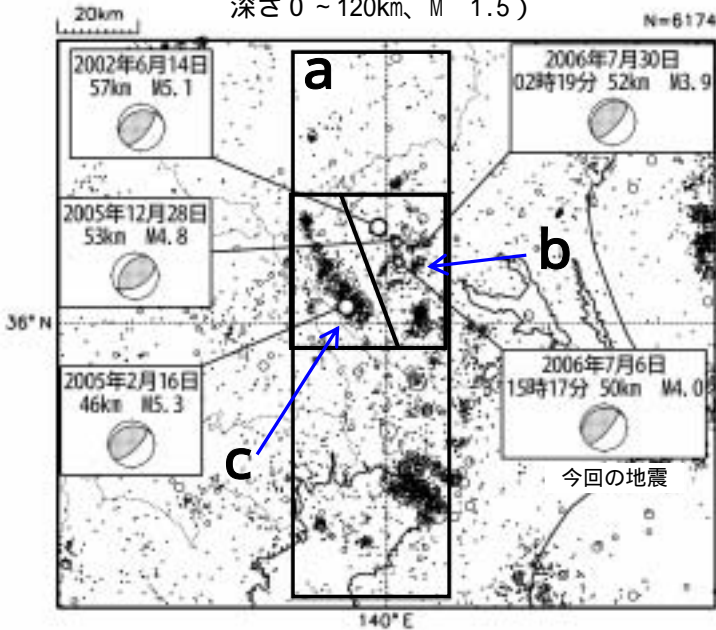
9日09時06分、東京湾でM4.2の地震（図5中のb）があり、千葉県市原市で震度3を観測したほか、関東地方で震度2～1を観測した（p13参照）。

9日17時48分、新島・神津島近海でM4.8の地震（図5中のc）があり、東京都新島村で震度4を観測したほか、東京都・静岡県で震度3～1を観測した。9日18時11分にもM3.0の地震により、最大震度4を観測するなど、同海域では7月10日までに震度1以上を観測した地震が21回発生した（p14参照）。

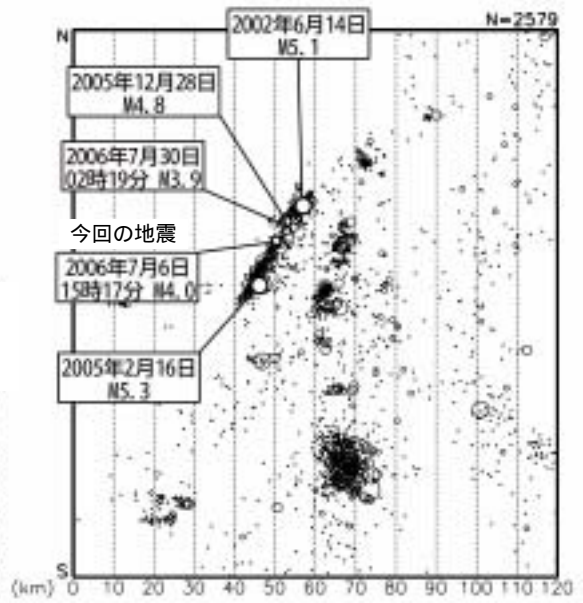
7 月 6 日 茨城県南部の地震

震央分布図

(2002 年 1 月 1 日 ~ 2006 年 7 月 31 日
深さ 0 ~ 120km、M 1.5)



領域 a 内の南北断面図

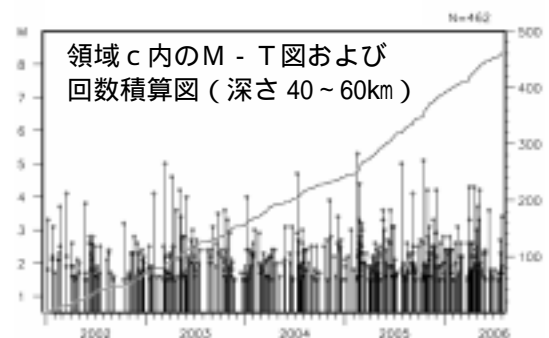
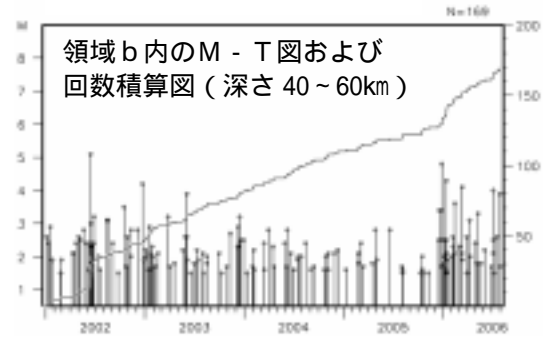
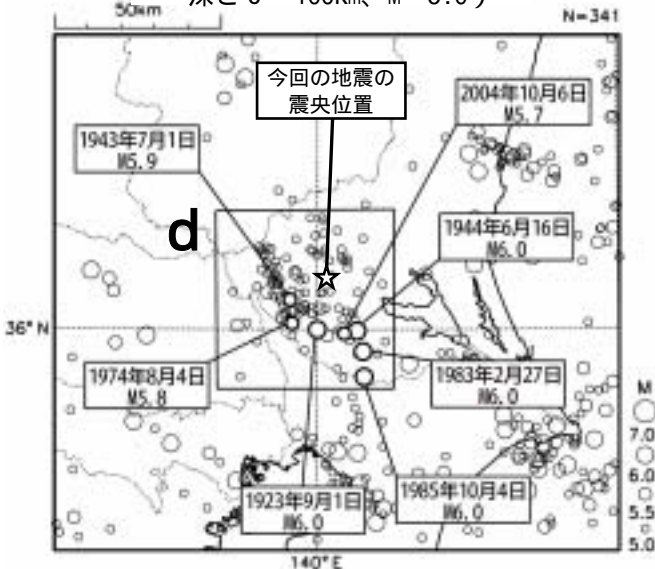


2006 年 7 月 6 日 15 時 17 分に茨城県南部の深さ 50km で M4.0 (最大震度 3) の地震が発生した。発震機構は北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。付近では 7 月 30 日 02 時 19 分にも M3.9 (最大震度 3) の地震が発生した。今回の地震の震源付近では 2002 年 6 月 14 日に M5.1 (最大震度 4) の地震が発生するなど、地震活動の活発な領域である。

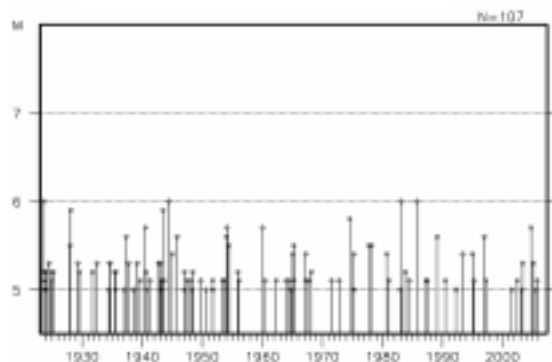
1923 年 8 月以降、今回の地震の震央付近では M6.0 以上の地震が 4 回観測されているが、1985 年 10 月 4 日の M6.0 (最大震度 5) の地震以降、M6.0 以上の地震は発生していない。

震央分布図

(1923 年 8 月 1 日 ~ 2006 年 7 月 31 日
深さ 0 ~ 100km、M 5.0)



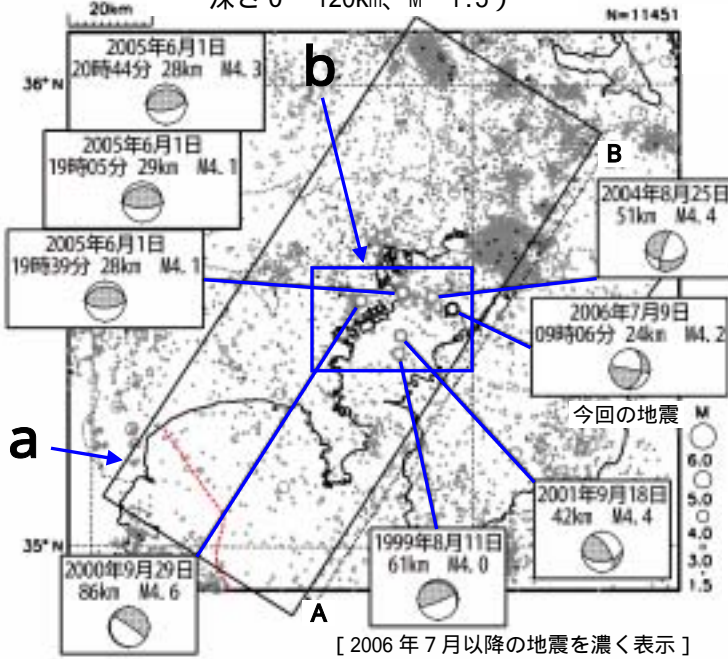
領域 d 内の M - T 図



7 月 9 日 東京湾の地震

震央分布図

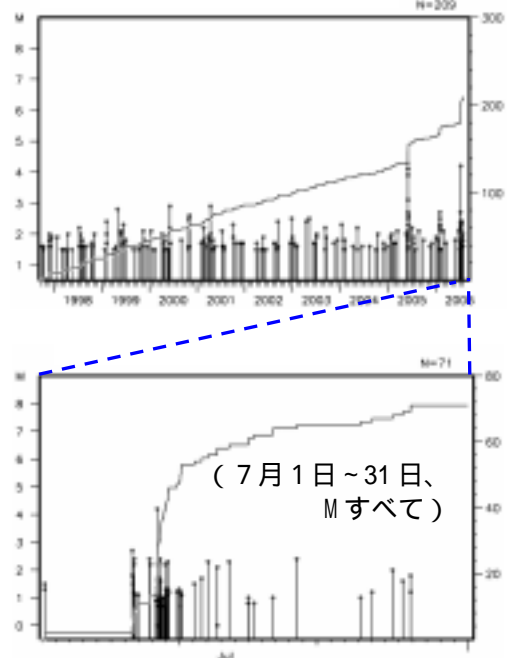
(1997 年 10 月 1 日 ~ 2006 年 7 月 31 日
深さ 0 ~ 120km、M 1.5)



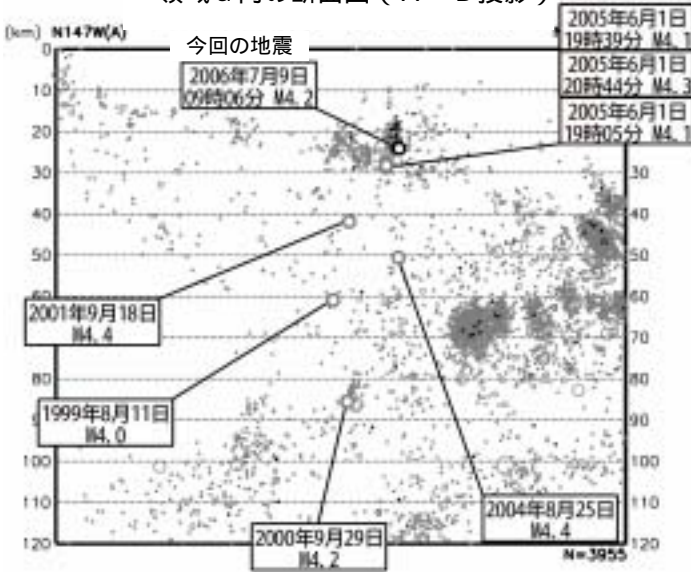
2006 年 7 月 9 日 09 時 06 分に東京湾の深さ 24km で M4.2 (最大震度 3) の地震が発生した。発震機構は北北西 - 南南東に圧力軸を持つ型であった。今回の地震の震源付近では 2005 年 6 月 1 日に M4.0 以上の地震が連続して発生している (最大は M4.3、最大震度 3 の地震)。

1923 年 8 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近で M4.0 以上の地震の発生は数年に 1 回程度である。最大は 1962 年 9 月 24 日の M4.9 の地震である。

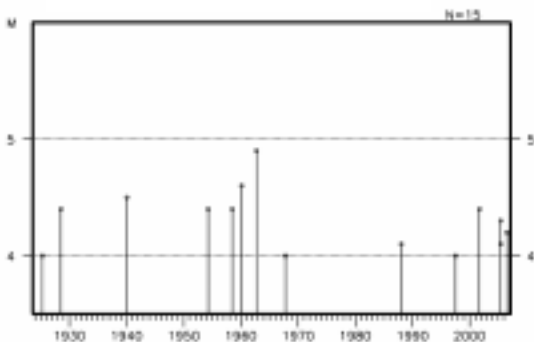
領域 b 内の M - T 図および回数積算図
(深さ 15km ~ 35km のみ)



領域 a 内の断面図 (A - B 投影)

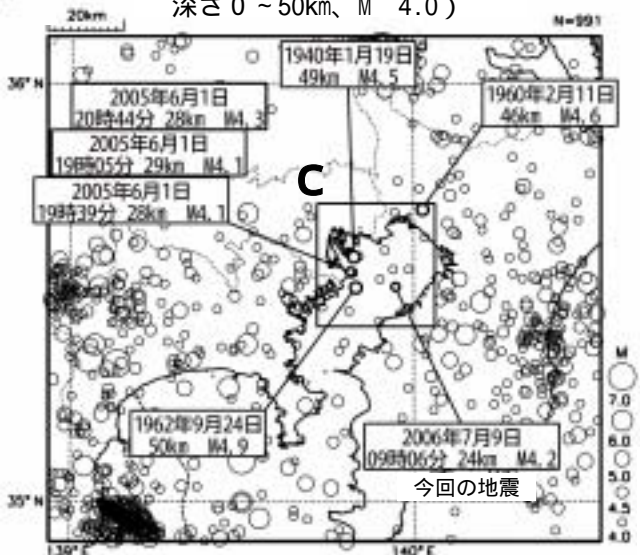


領域 c 内の M - T 図

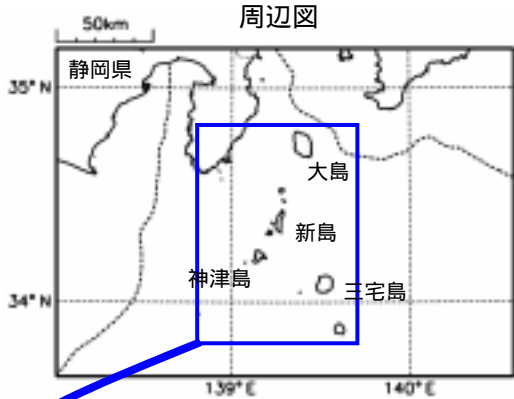


震央分布図

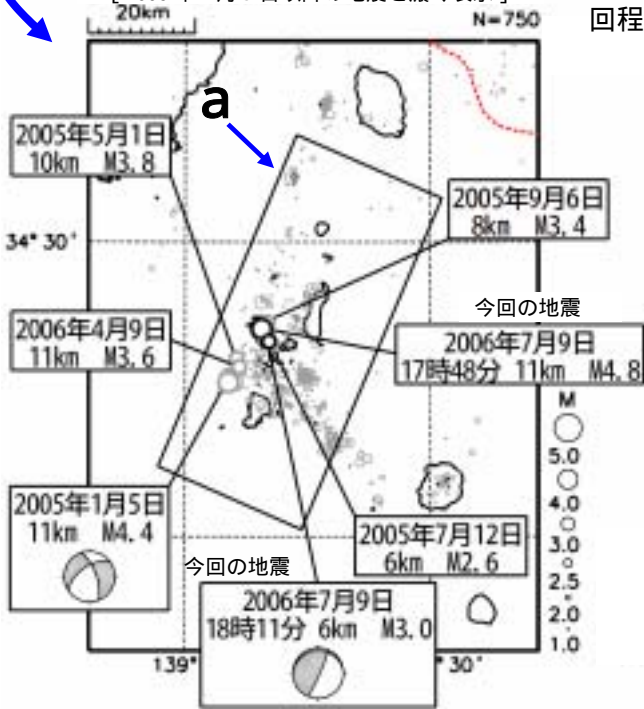
(1923 年 8 月 1 日 ~ 2006 年 7 月 31 日
深さ 0 ~ 50km、M 4.0)



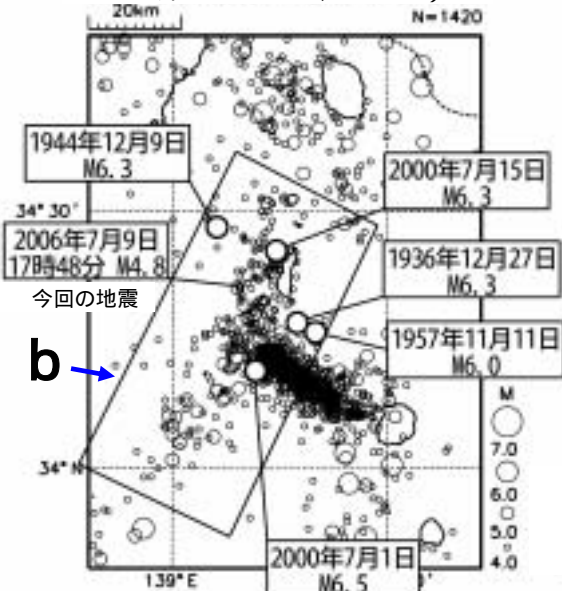
7 月 9 日 新島・神津島近海の地震



震央分布図
(2005 年 1 月 1 日 ~ 2006 年 7 月 31 日
深さ 0 ~ 30km、M 1.0)
[2006 年 7 月 9 日以降の地震を濃く表示]



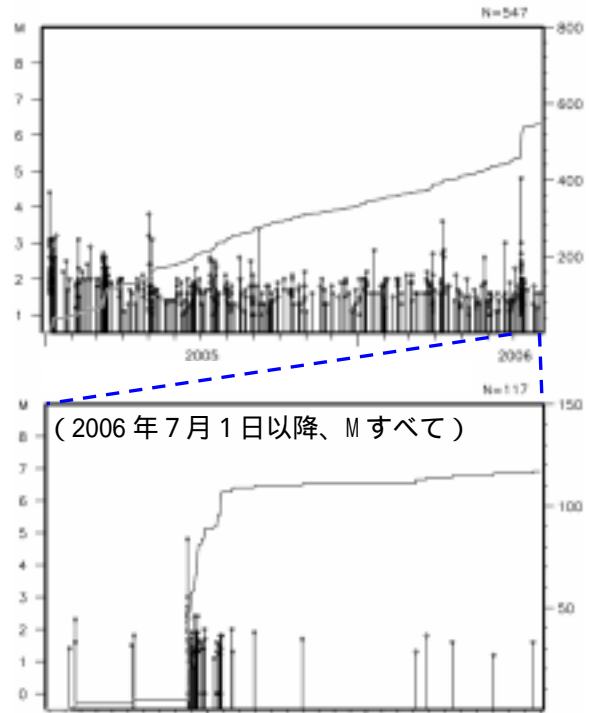
震央分布図
(1923 年 8 月 1 日 ~ 2006 年 7 月 31 日
深さ 0 ~ 60km、M 4.0)



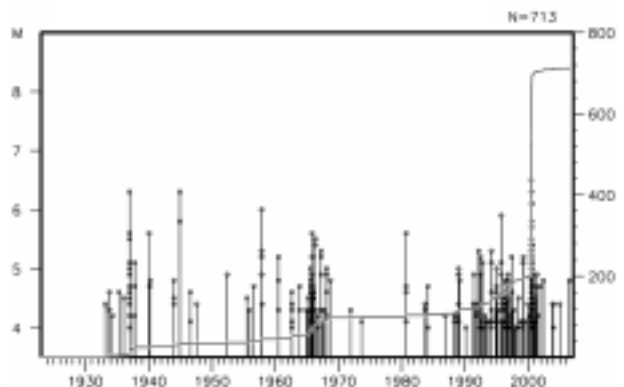
2006 年 7 月 9 日 17 時 48 分に新島・神津島近海の深さ 11km で M4.8 (最大震度 4) の地震が発生した。同日 18 時 11 分にも M3.0 (最大震度 4) の地震が発生するなど、7 月 10 日までに震度 1 以上を観測した地震が 21 回発生した。地震活動は 3 日程度で収まっている。今回の地震の震源付近で M4.0 以上の地震は、2005 年 1 月 5 日に発生した M4.4 (最大震度 3) の地震以来である。また、最大震度 4 を観測した地震は、2005 年 7 月 12 日に発生した M2.6 (最大震度 4) の地震以来である。

今回の地震の震央付近では時折活発な活動がみられ、2000 年には三宅島 - 神津島間での地震活動に伴って活動が活発化したが、最近では M4.0 以上の地震は年に 1 回程度となっている。

領域 a 内の M - T 図および回数積算図



領域 b 内の M - T 図および回数積算図



近畿・中国・四国地方の地震活動

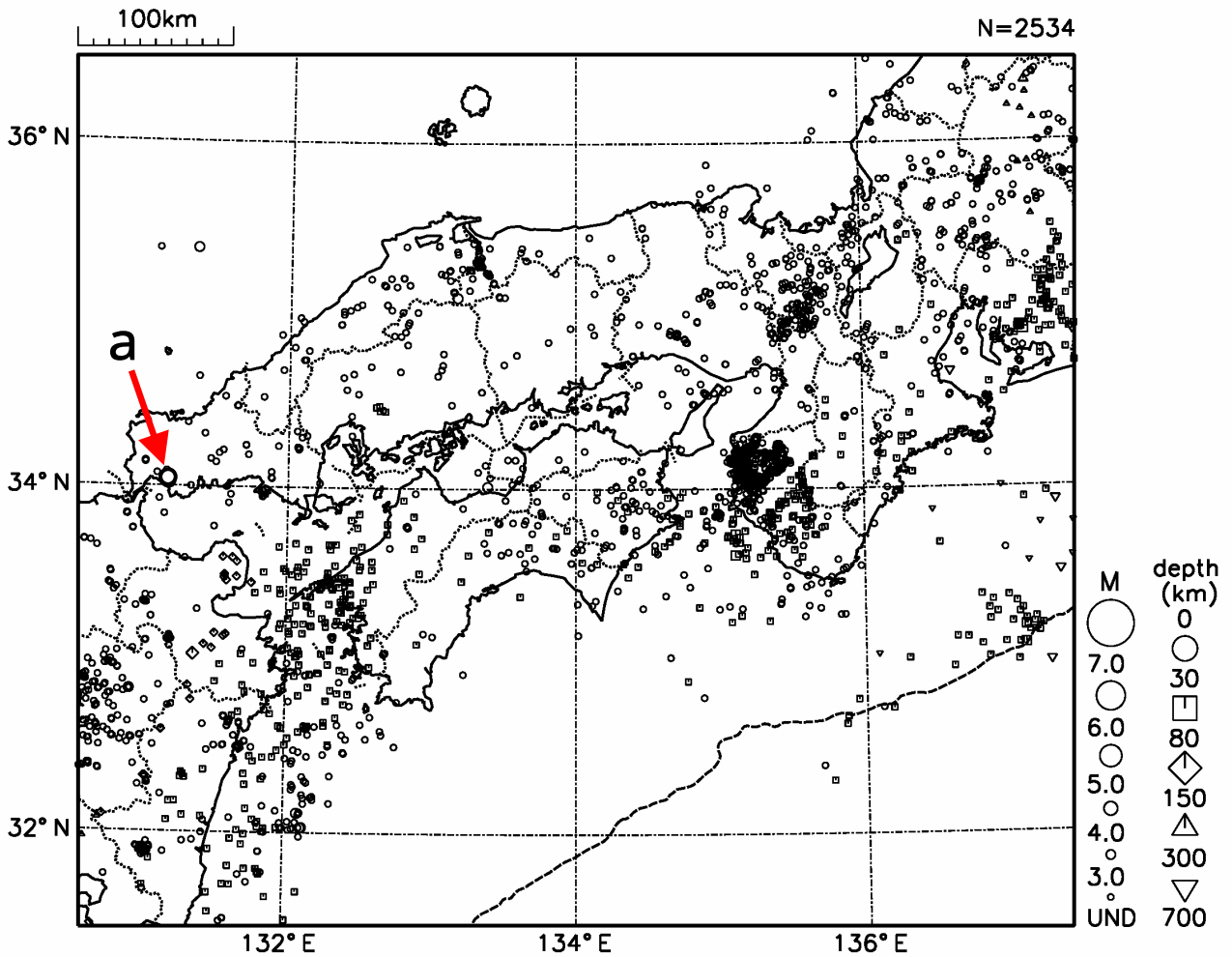


図 6 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2006 年 7 月 1 日～7 月 31 日）

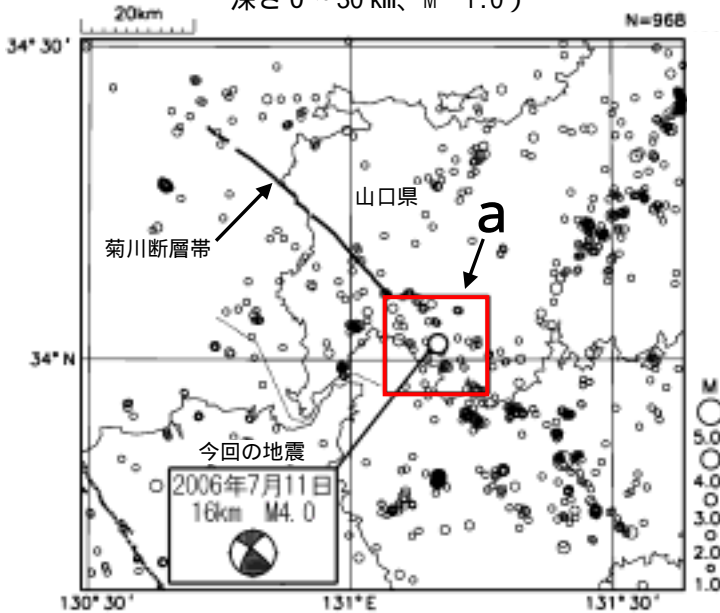
[概況]

7 月に近畿・中国・四国地方で震度 1 以上を観測した地震は 17 回（6 月は 16 回）であった。7 月中の主な活動は次の通りである。

11 日 03 時 09 分、山口県西部の深さ 16km で M4.0 の地震(図 6 中の a)があり、山口県の 5 地点で震度 3 を観測したほか、九州地方北部、中国地方西部で震度 2 ～ 1 を観測した（p16 参照）。

7 月 11 日 山口県西部の地震

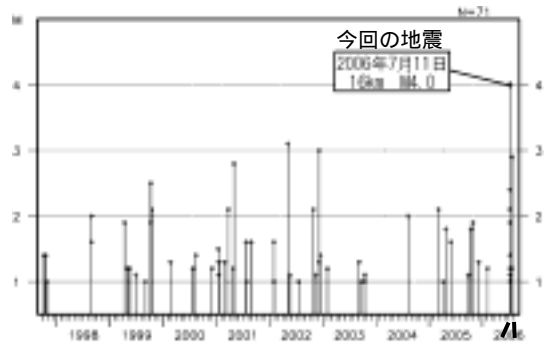
震央分布図
(1997 年 10 月 1 日 ~ 2006 年 7 月 31 日
深さ 0 ~ 30 km、M 1.0)



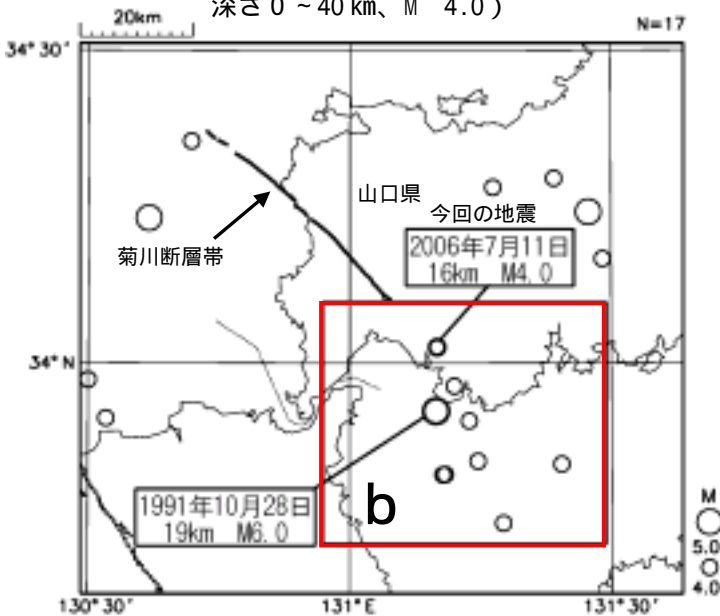
7月11日03時09分に山口県西部の深さ16kmでM4.0の地震が発生し、最大震度3を観測した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、陸域の地殻内で発生した地震である。余震活動は、この地震の発生直後に一時活発であったが、その後は収まりつつある。この地震の北西には、菊川断層帯が位置している。

1923年8月以降の活動をみると、1980年以降M4.0以上の地震が数年に1回発生している。最大は1991年10月28日の地震(M6.0、最大震度4)で、宇部市で負傷者1名、北九州市でビル外壁落下の被害を生じている(旧自治省消防庁調べ)。

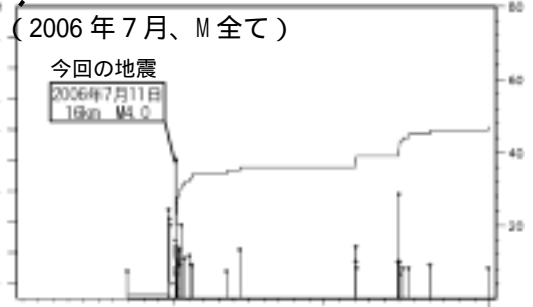
領域 a 内の M - T 図



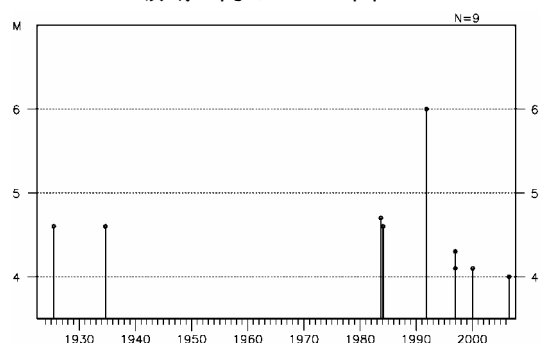
震央分布図
(1923 年 8 月 1 日 ~ 2006 年 7 月 31 日
深さ 0 ~ 40 km、M 4.0)



M - T 図及び地震回数積算図



領域 b 内の M - T 図



九州地方の地震活動

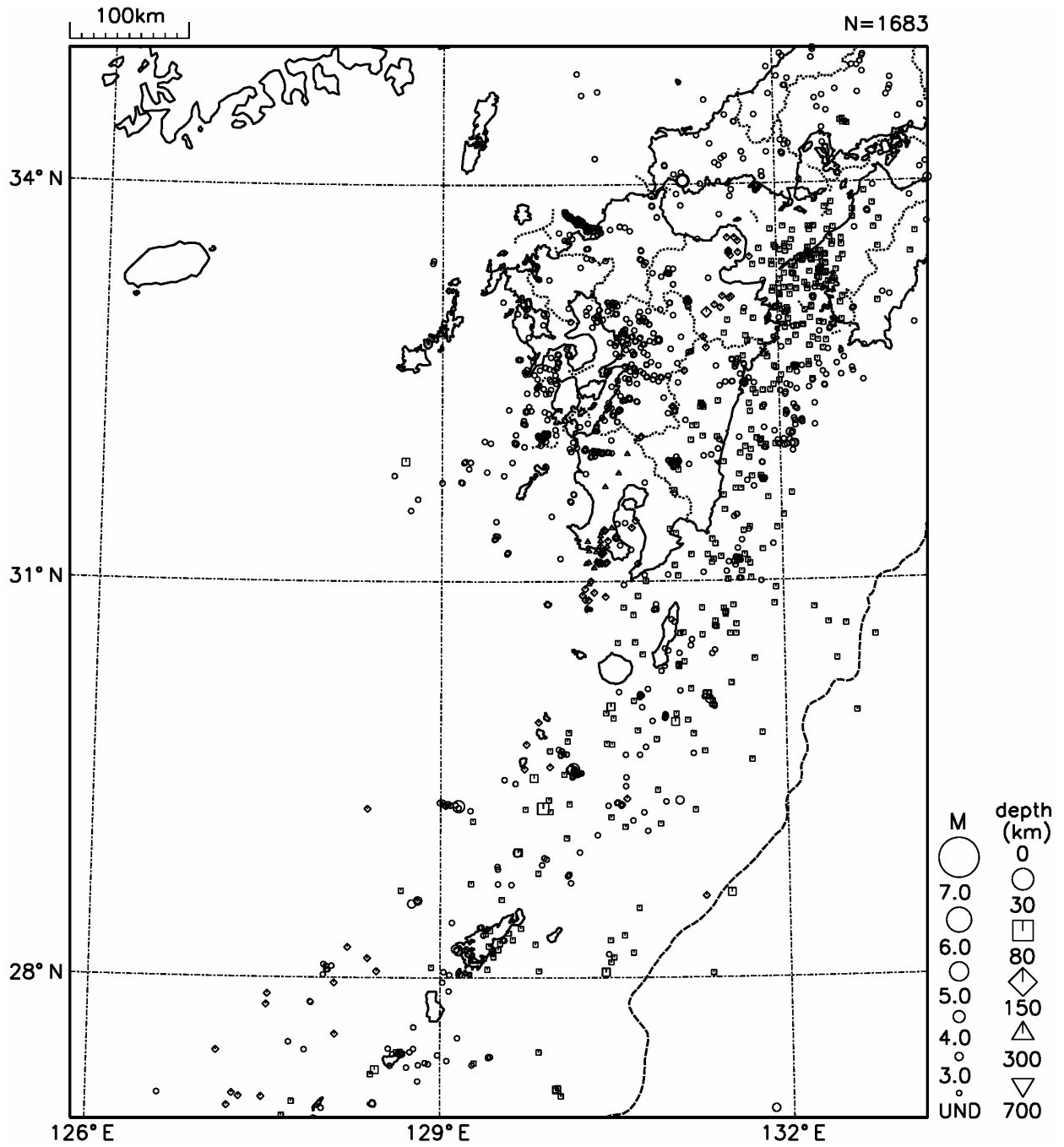


図7 九州地方の震央分布図（2006年7月1日～7月31日）

[概況]

7月に九州地方で震度1以上を観測した地震は12回（6月は17回）であった。
7月中、特に目立った活動はなかった。

沖縄地方の地震活動

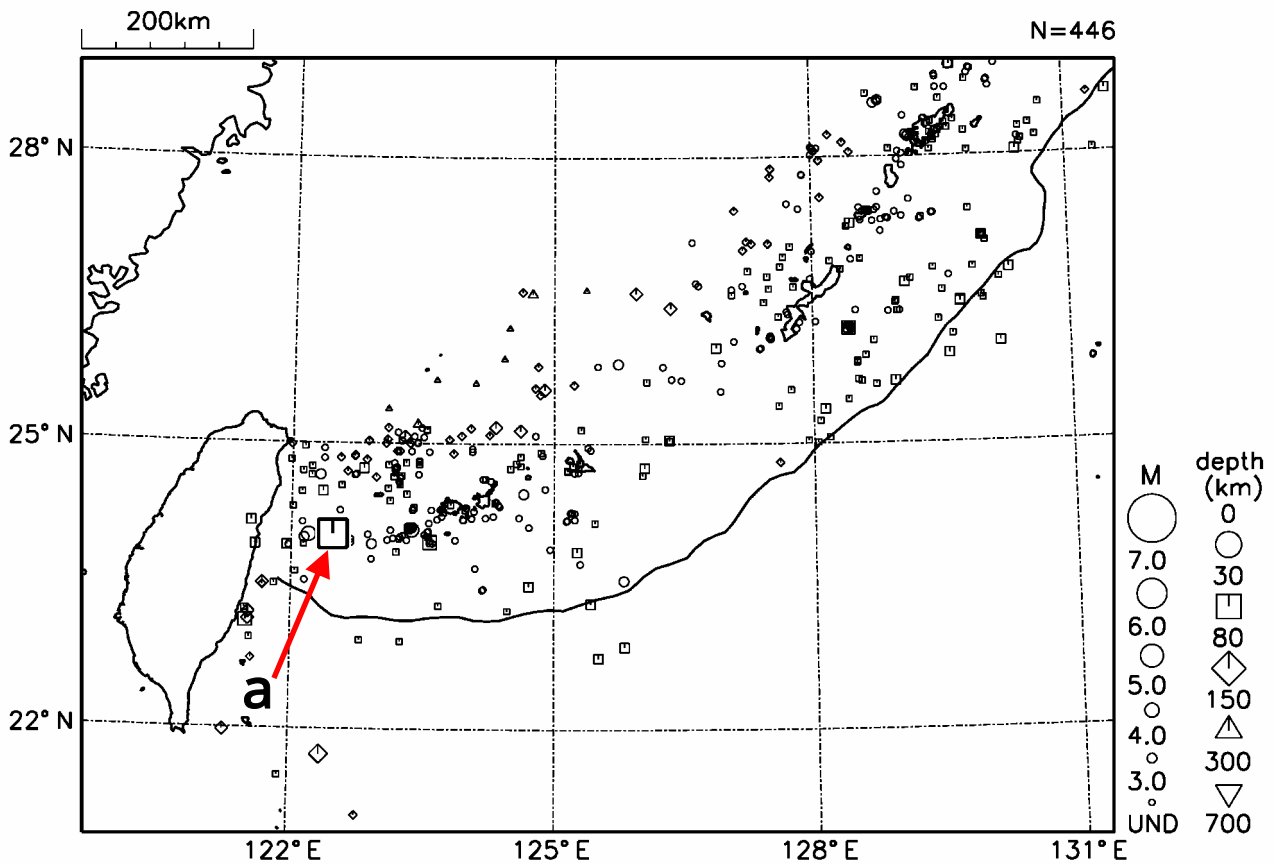


図 8 沖縄地方の震央分布図（2006年7月1日～7月31日）

[概況]

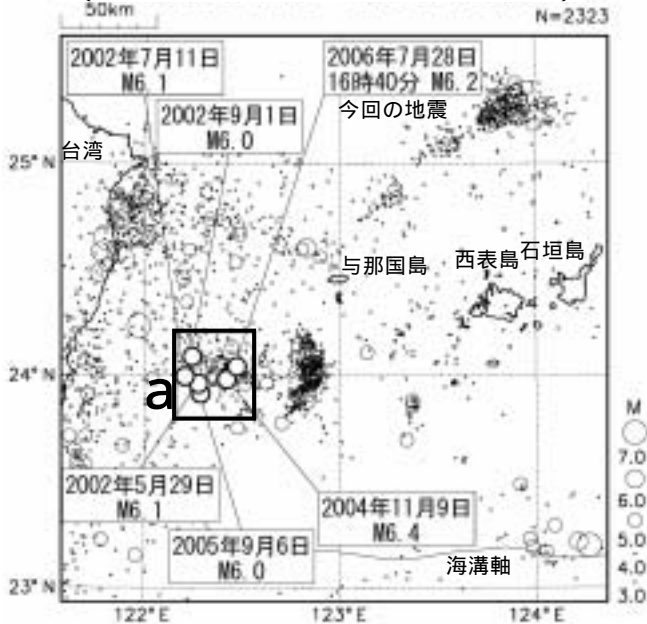
7月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は5回（6月は2回）であった。
7月中の主な活動は次の通りである。

28日16時40分、台湾付近でM6.2の地震（図8中のa）があり、与那国島から石垣島にかけて震度3～1を観測した（p19参照）。

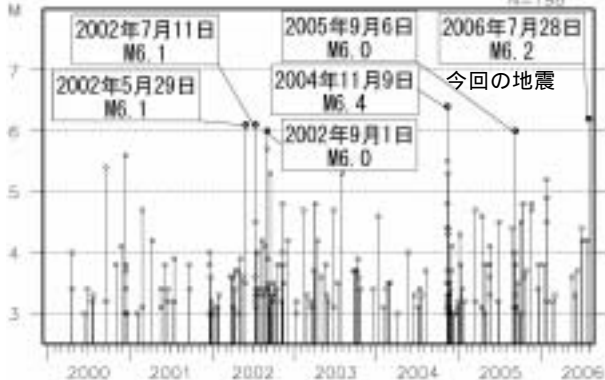
7 月 28 日 台湾付近の地震

震央分布図

(2000 年以降、M 3.0、深さ 100km 以浅)

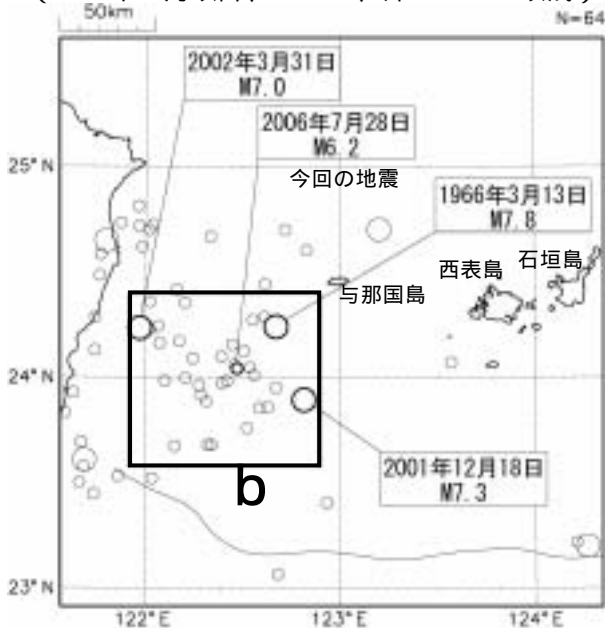


領域 a 内の M - T 図



震央分布図

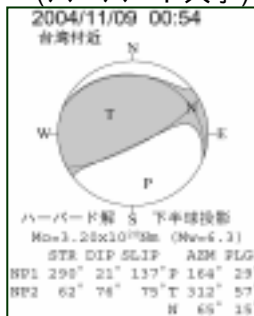
(1923 年 8 月以降、M 6.0、深さ 100 km 以浅)



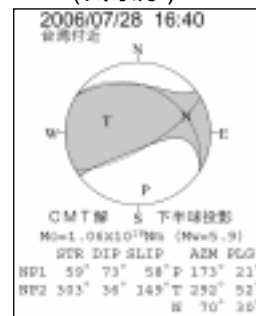
2006年7月28日16時40分に台湾付近でM6.2の地震（与那国島で震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、南北方向に圧力軸を持つ逆断層型で、この付近でよく見られる型である。この地震はフィリピン海プレートとユーラシアプレートとの境界で発生した地震と考えられる。なお、余震は観測されていない。今回の地震の震央付近では2004年11月9日にM6.4の地震（与那国島で震度2）が発生している（領域 a）

1923年8月以降の活動をみると、1966年3月13日にM7.8の地震（与那国島で震度5）が発生している。また、2001年12月18日のM7.3の地震（与那国島で震度4）では、与那国島で約10cmの津波を観測するなど、M6以上の地震が度々発生している地域である（領域 b）

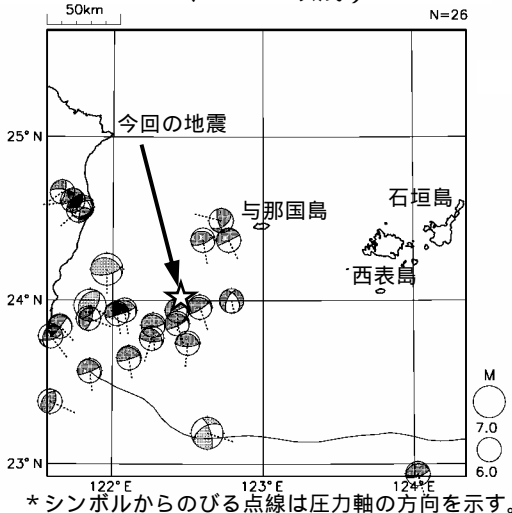
2004年の地震のCMT解 (ハーバード大学)



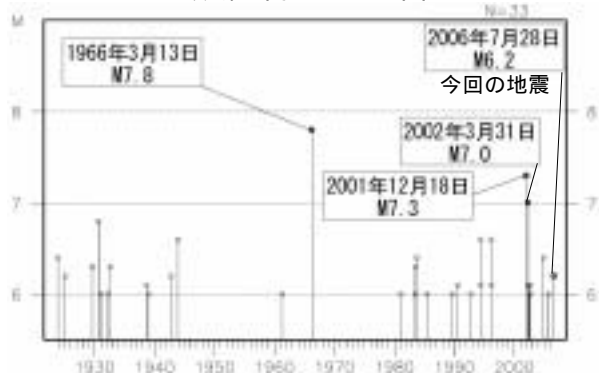
今回の地震の CMT 解 (気象庁)



発震機構分布図（P 軸表示）
(ハーバード大学による、1977 年以降 M 6.0、100km 以浅)



領域 b 内の M - T 図



東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

[概況]

愛知県西部のフィリピン海プレート内部で M4.0 の地震が発生した（図 1 と図 2）。

[地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果]

7 月 31 日に気象庁において第 243 回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会（定例会）を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表した（図 3～8）。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

全般的には顕著な地震活動はありません。浜名湖東方から静岡県中部の直下では通常より活動レベルの低い状態になっていますが、その他の地域では概ね平常レベルです。

東海地域及びその周辺における、プレート境界のゆっくり滑りに起因すると思われる長期的な地殻変動は、すでに停止していると考えられます。

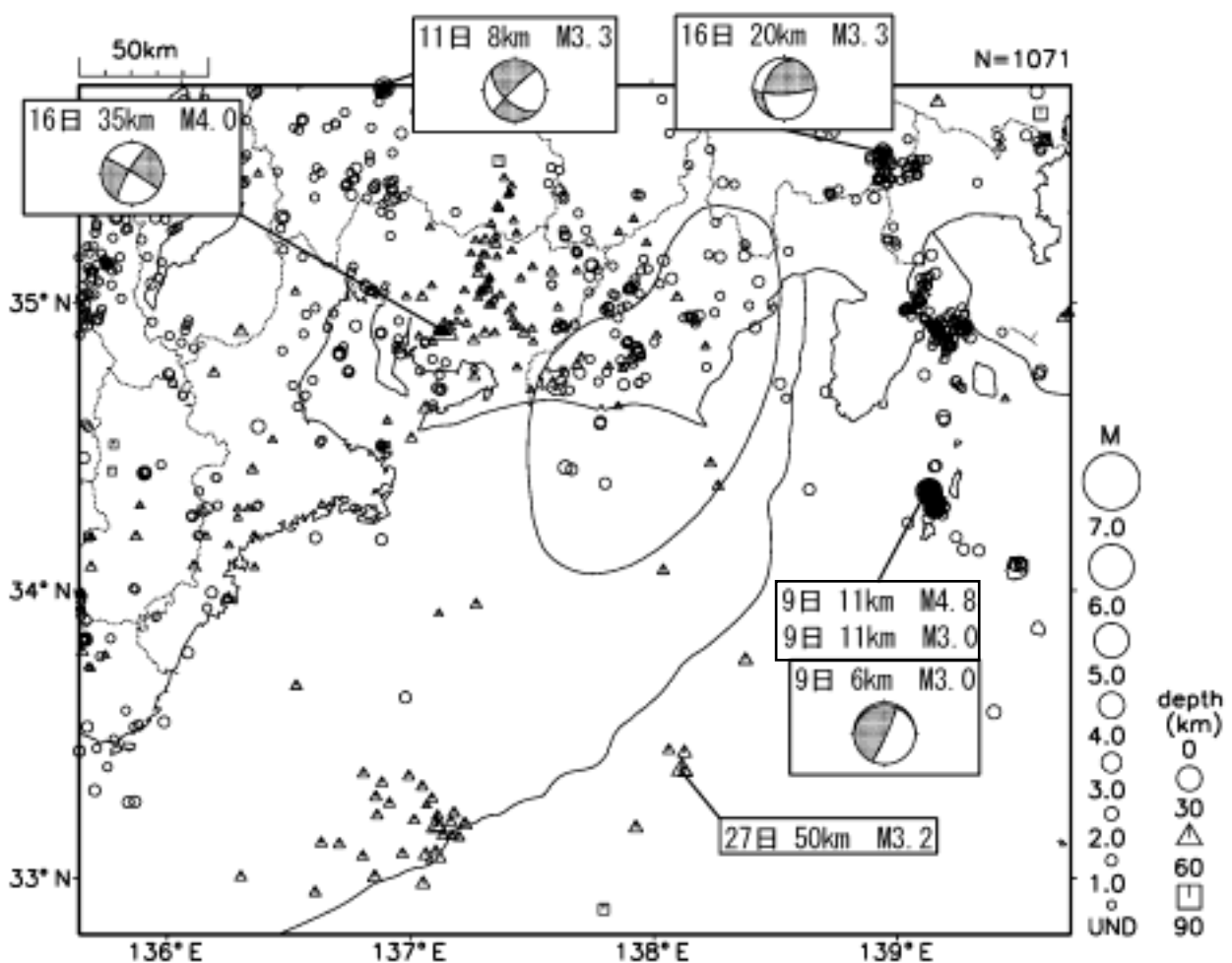


図 1 震央分布図（2006 年 7 月 1 日～31 日：深さ 90km 以浅、M すべて。M3.0 以上の地震（東海道沖は M4.0 以上）に「日、深さ、M」を付けた。すぐ下の図は P 波初動による発震機構（下半球投影）。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。）

9 日 17 時 48 分、新島・神津島近海の深さ 11km で M4.8 の地震があり、最大震度 4 を観測した。また、同日 17 時 49 分（最大震度 1）および 18 時 11 分（最大震度 4）にも M3.0 の地震が発生した。18 時 11 分に発生した地震の発震機構は東南東 - 西北西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。（p14 参照）

11 日 16 時 18 分、岐阜県美濃中西部の深さ 8km で M3.3 の地震があり、最大震度 1 を観測した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。陸域の地殻内で発生した地震である。
16 日 16 時 39 分、愛知県西部の深さ 35km で M4.0 の地震があり、最大震度 2 を観測した。

この地震の発震機構は東北東 - 西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型であった。フィリピン海プレートの内部で発生した地震である。

（p22 参照）

16 日 16 時 52 分、山梨県東部の深さ 20km で M3.3 の地震があり、最大震度 2 を観測した。この地震の発震機構は北北西 - 南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。フィリピン海プレートと陸のプレートが衝突してい

ると考えられる場所で発生した地震である。27 日 18 時 43 分、東海道沖の深さ 50km で M3.2 の地震があった。

注：本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。

[東海地域の地震活動の頁で使われる用語]

・「想定震源域」(図 1) と「固着域」(図 3)

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ除去」(図 3, 4)

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的な群(クラスタ)で、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。震央距離が 3 km 以内、発生時間差が 7 日以内の地震をクラスタと見なし、最大地震で代表させている。

・東海地域の地震活動

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年(1978 年)12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域(以下、「強化地域」という。))として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年(2002 年)4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 174 市町村(平成 18 年 4 月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度 6 弱以上(一部地域では震度 5 強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。気象庁では東海地震の直前の前兆現象を捕らえるため、地震、地殻変動等の観測データを常時監視している。

7 月 16 日 愛知県西部の地震

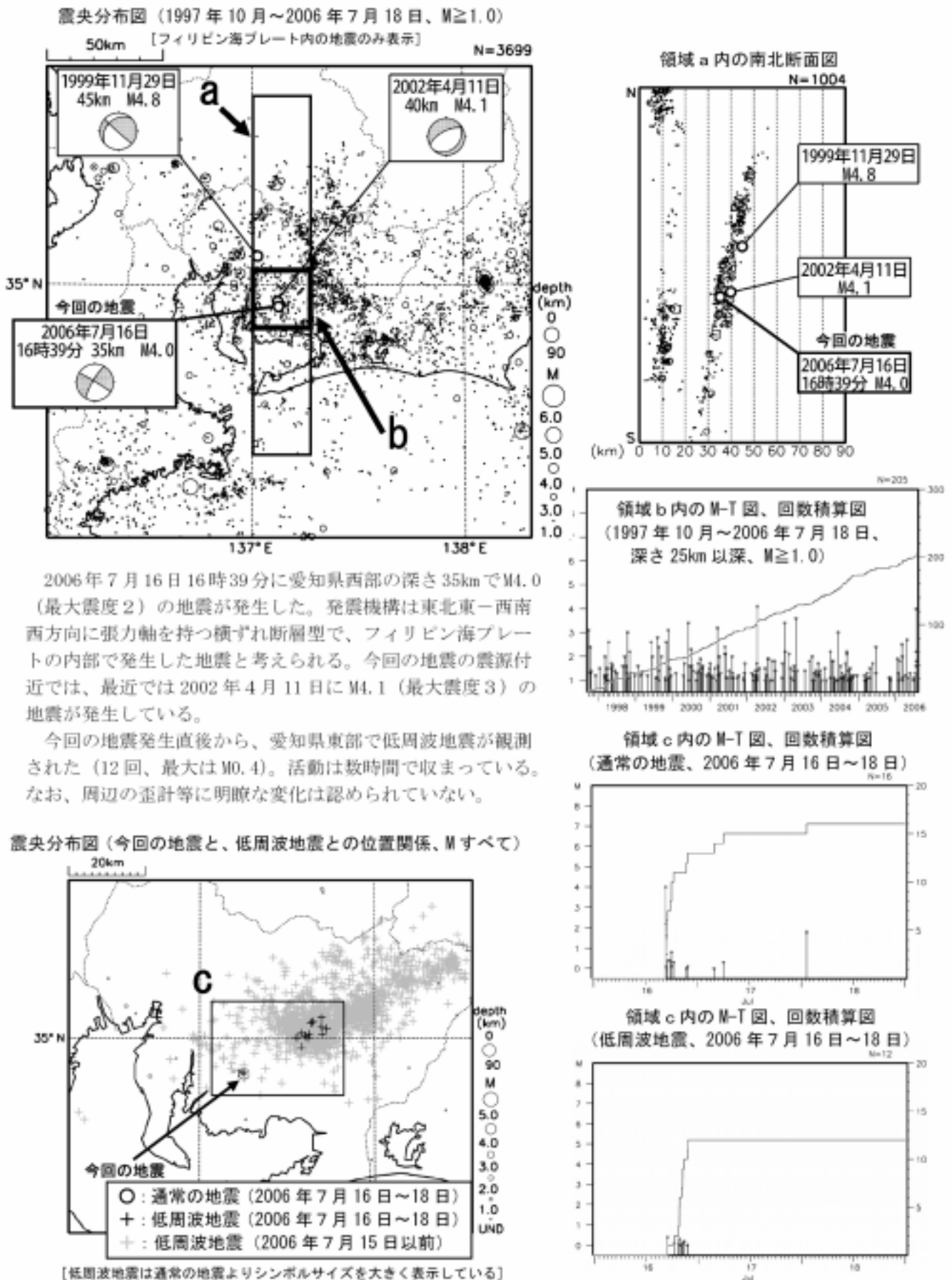


図 2 愛知県西部の地震

東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

2006年7月26日 現在

	① 固着域		② 愛知県		③ 浜名湖			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
短期活動指数	6	4	4	5	2	1	2	5
短期地震回数 (平均)	10 (6.34)	6 (5.90)	3 (4.49)	14 (12.63)	0 (2.38)	1 (5.91)	1 (3.53)	7 (6.11)
中期活動指数	8	3	4	1	2	0	1	4
中期地震回数 (平均)	31 (19.03)	14 (17.69)	14 (13.46)	27 (37.90)	2 (4.76)	4 (11.82)	2 (7.06)	12 (12.22)

* Mしきい値:

M \geq 1.1: 固着域、愛知県、浜名湖、M \geq 1.4: 駿河湾

* クラスタ除去:

震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

$\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$: 固着域、愛知県、浜名湖

$\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$: 駿河湾

* 対象期間:

短期: 30日間 (固着域、愛知県)、90日間 (浜名湖、駿河湾)

中期: 90日間 (固着域、愛知県)、180日間 (浜名湖、駿河湾)

* 基準期間:

1997年—2001年 (5年間): 固着域、愛知県、1998年—2000年 (3年間): 浜名湖

1991年—2000年 (10年間): 駿河湾

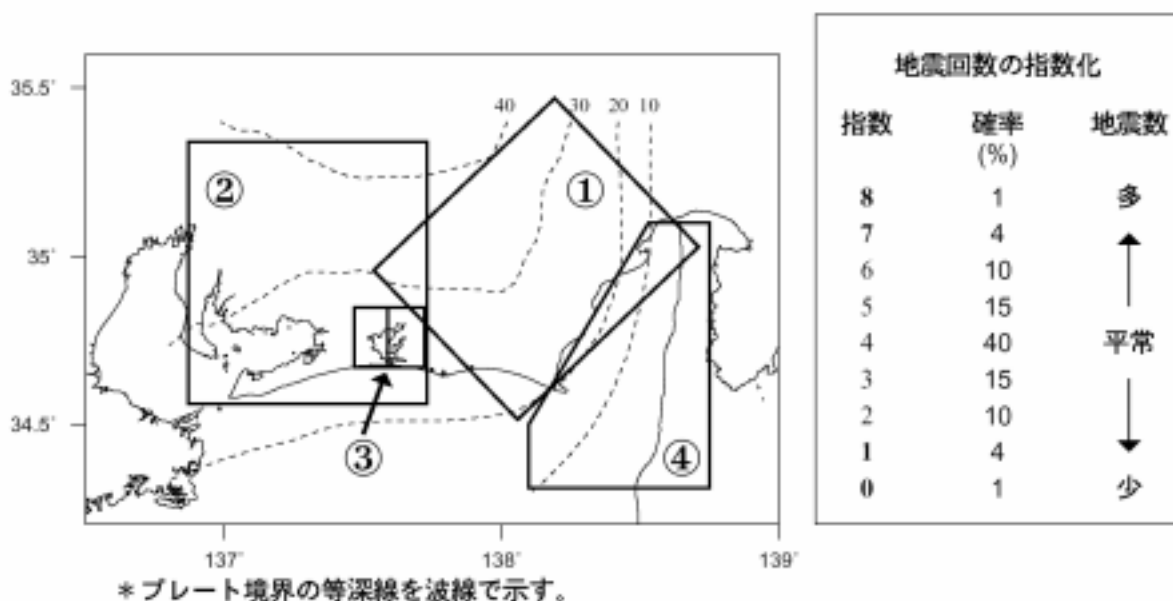
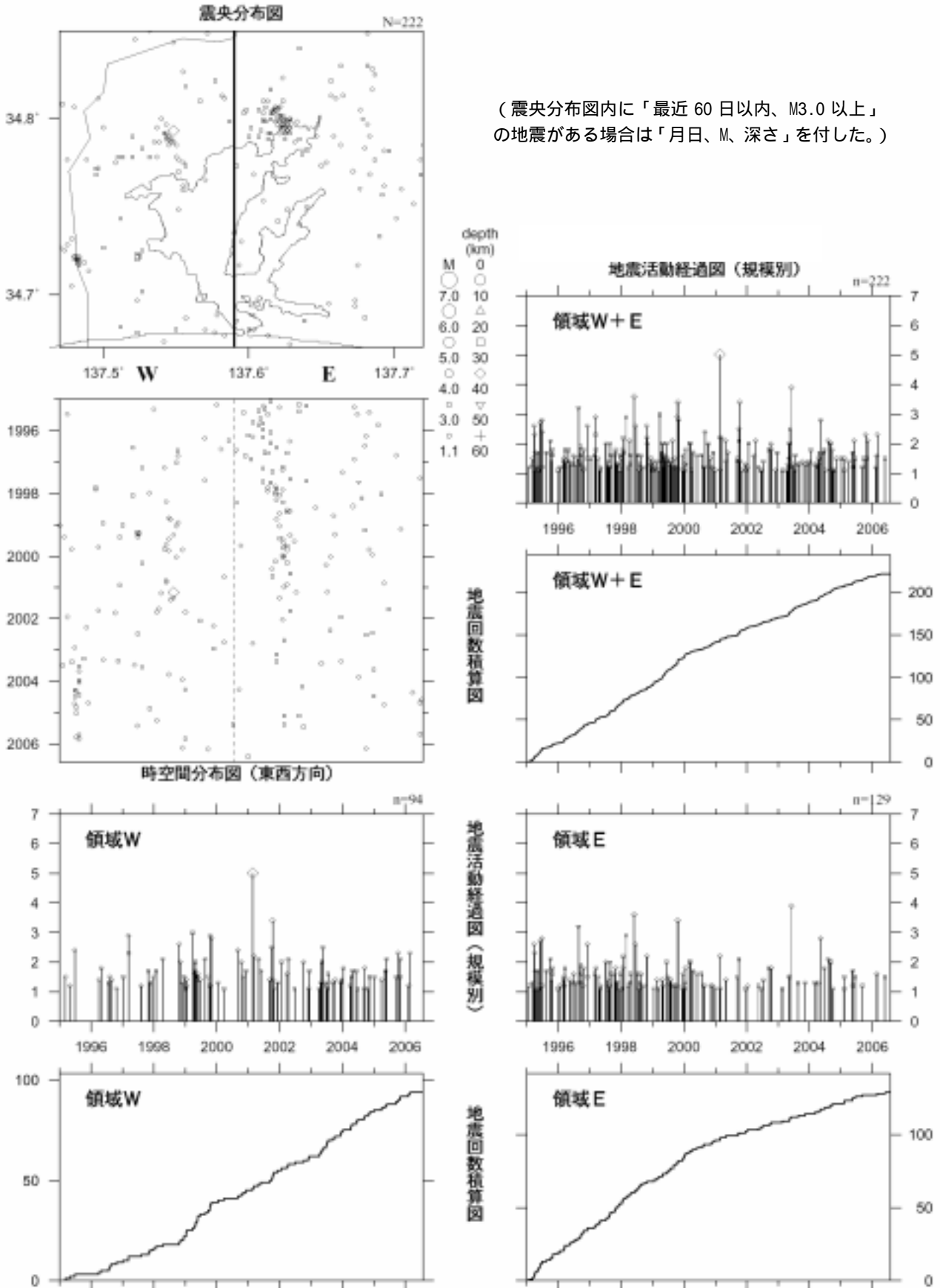


図3 東海地域の地震活動指数

浜名湖全域および東側は、活動指数の低い状態が継続している。固着域地殻内の中期の指数は高い。愛知県のフィリピン海プレート内は、短期の指数は回復したが中期は低下したままである。それ以外の地域はほぼ平常の活動であった。

浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/ 1/ 1~2006/ 7/ 26 M ≥ 1.1 *クラスタ除去したデータ



（震央分布図内に「最近 60 日以内、M3.0 以上」の地震がある場合は「月日、M、深さ」を付した。）

図4 浜名湖付近のフィリピン海プレート内の地震活動
 領域Eでは2000年終わりごろからの活動の低下が継続している。

平均的な地殻変動からのずれ

最終解 2001/3/27 - 2006/7/8

速報解 2006/7/9 - 2006/7/22

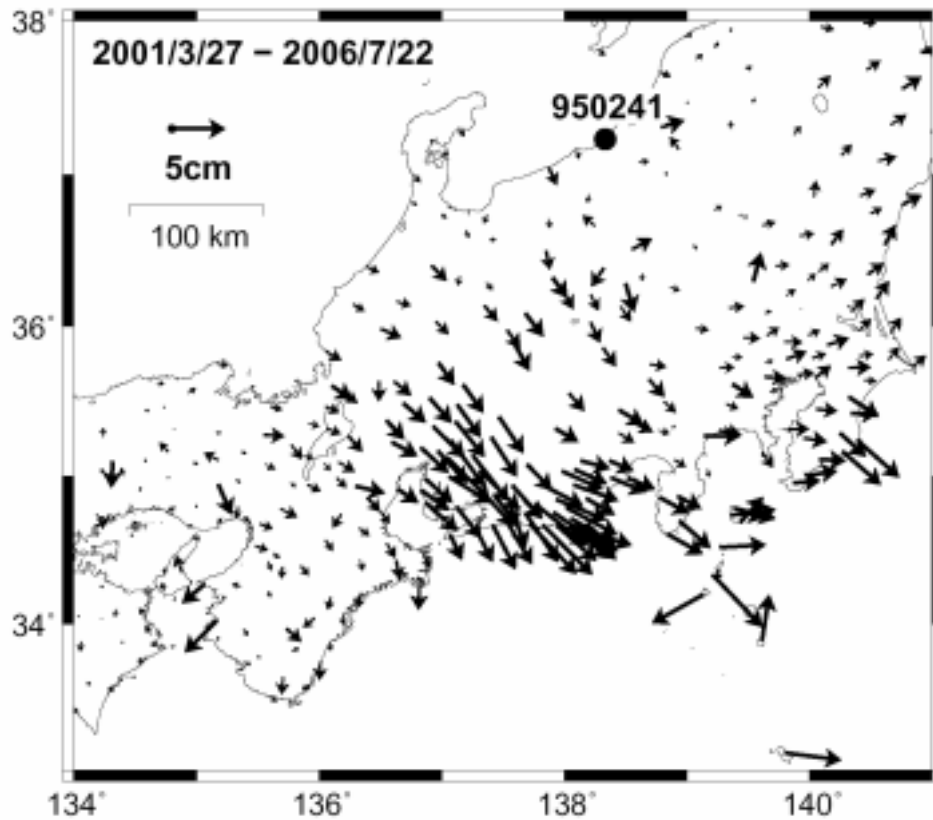
○1998年1月～2000年1月のデータから平均速度および年間変化を推定して平均的な地殻変動を求め、それを元の時系列データから除去している。

○2003年以降の上下成分は年間補正を行っていない。

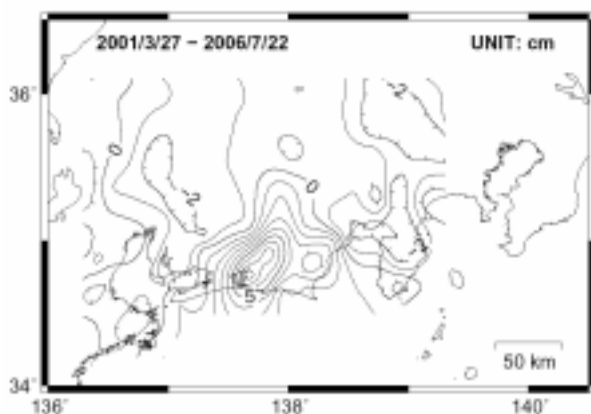
○2004年9月5日に発生した紀伊半島南東沖の地震による地殻変動の影響は取り除いている。

○2004年10月23日に発生した新潟県中越地震による地殻変動の影響は取り除いている。

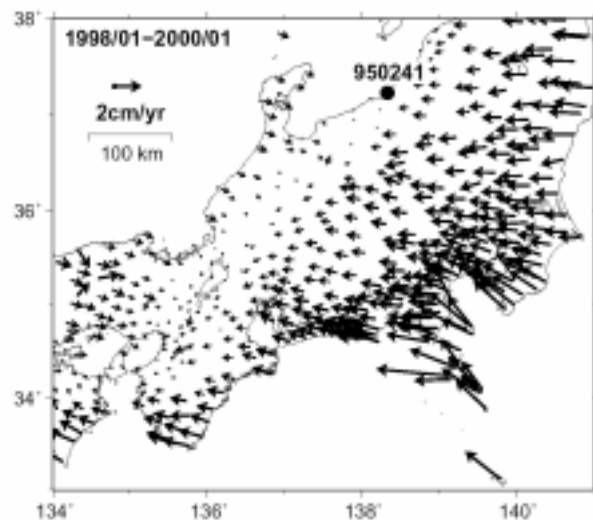
水平変動



上下変動



平均的な地殻変動



国土地理院資料

図5 国土地理院のGPS観測結果による東海地域の非定常的地殻変動

上図は、2001年3月27日～2006年7月22日までの新潟県のGPS観測点大瀧（950241）に対する定常的な地殻変動からの水平方向のずれを示す。東海地方に、南東方向に変動する領域がみられる。左下図は、同じ期間の上下方向のずれを示す。浜名湖付近及びその北東域において隆起する領域がみられる。

東海非定常地殻変動（２）

○平滑化した非定常地殻変動について、2ヶ月ごとの変動量を表示している。

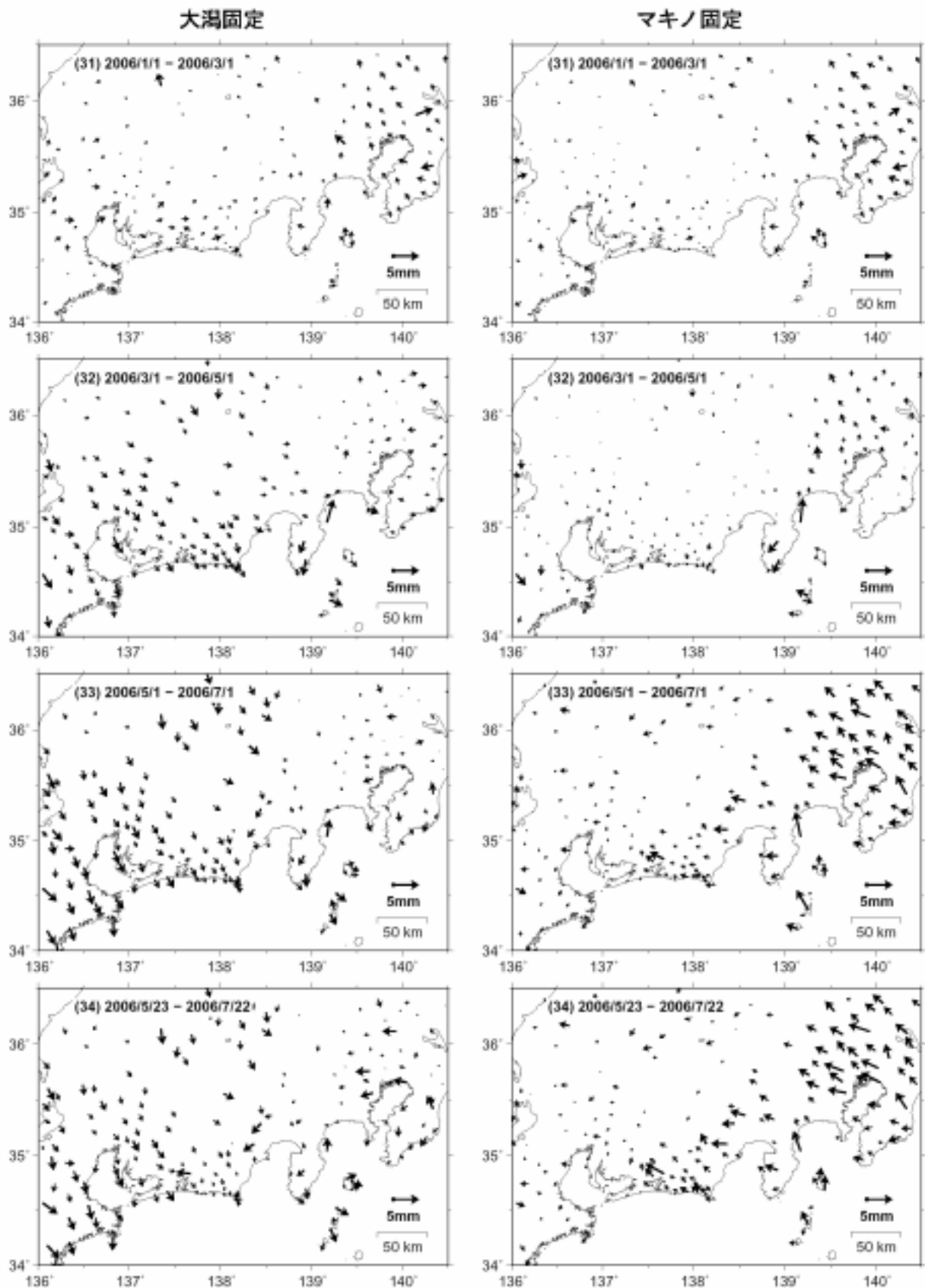
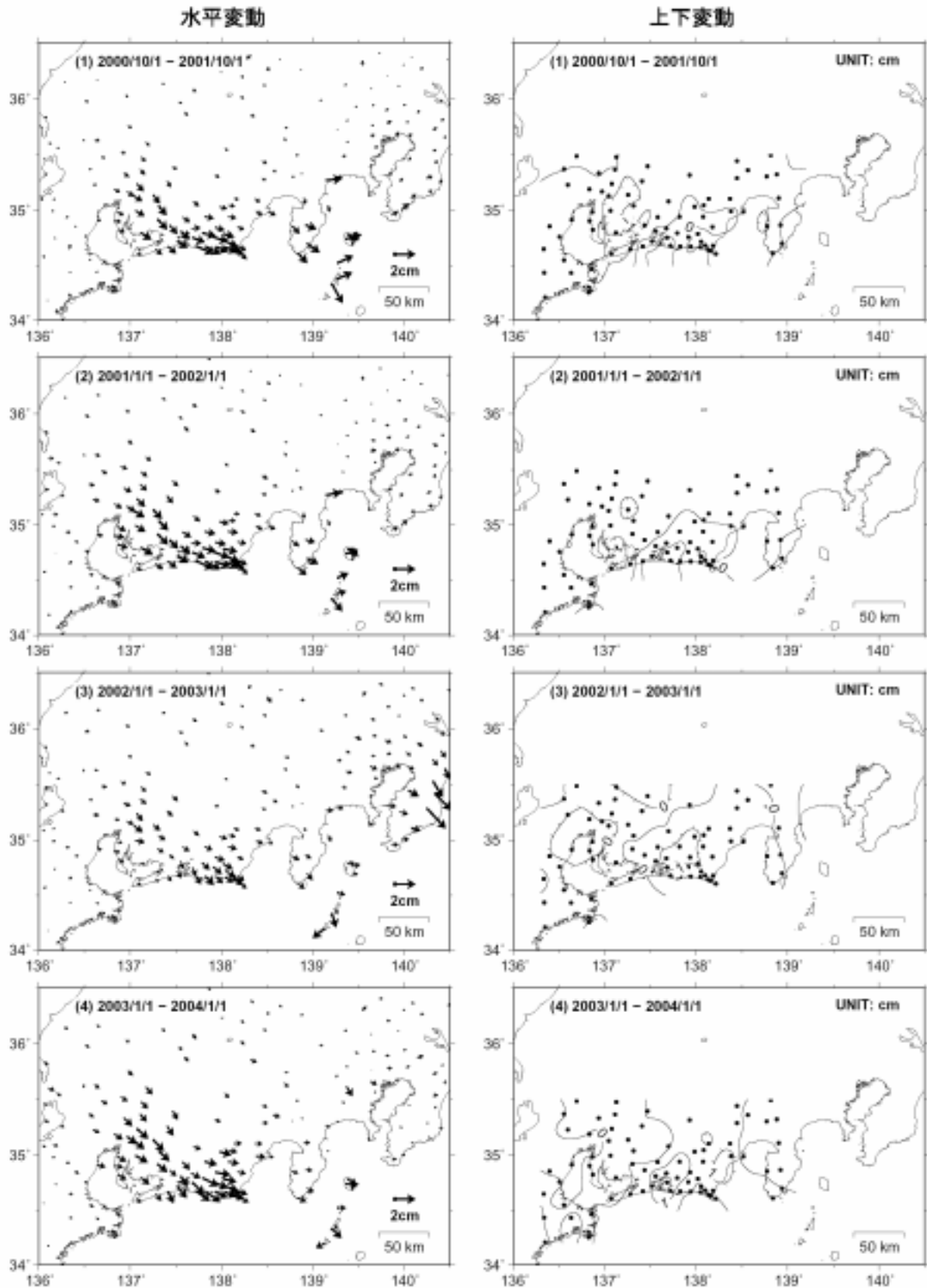


図 6 国土地理院のGPS観測結果による2ヶ月間で見た東海非定常地殻変動（2006年1月～2006年7月22日）大潟固定およびマキノ固定

2006年1月以降は、変動が小さくなっている。大潟固定(33)の南東向きのベクトルは年周変化を表している可能性がある。なお図の番号は、2001年1月からの通し番号である。

国土地理院資料

1 年間で見た東海非定常地殻変動（1）大潟固定

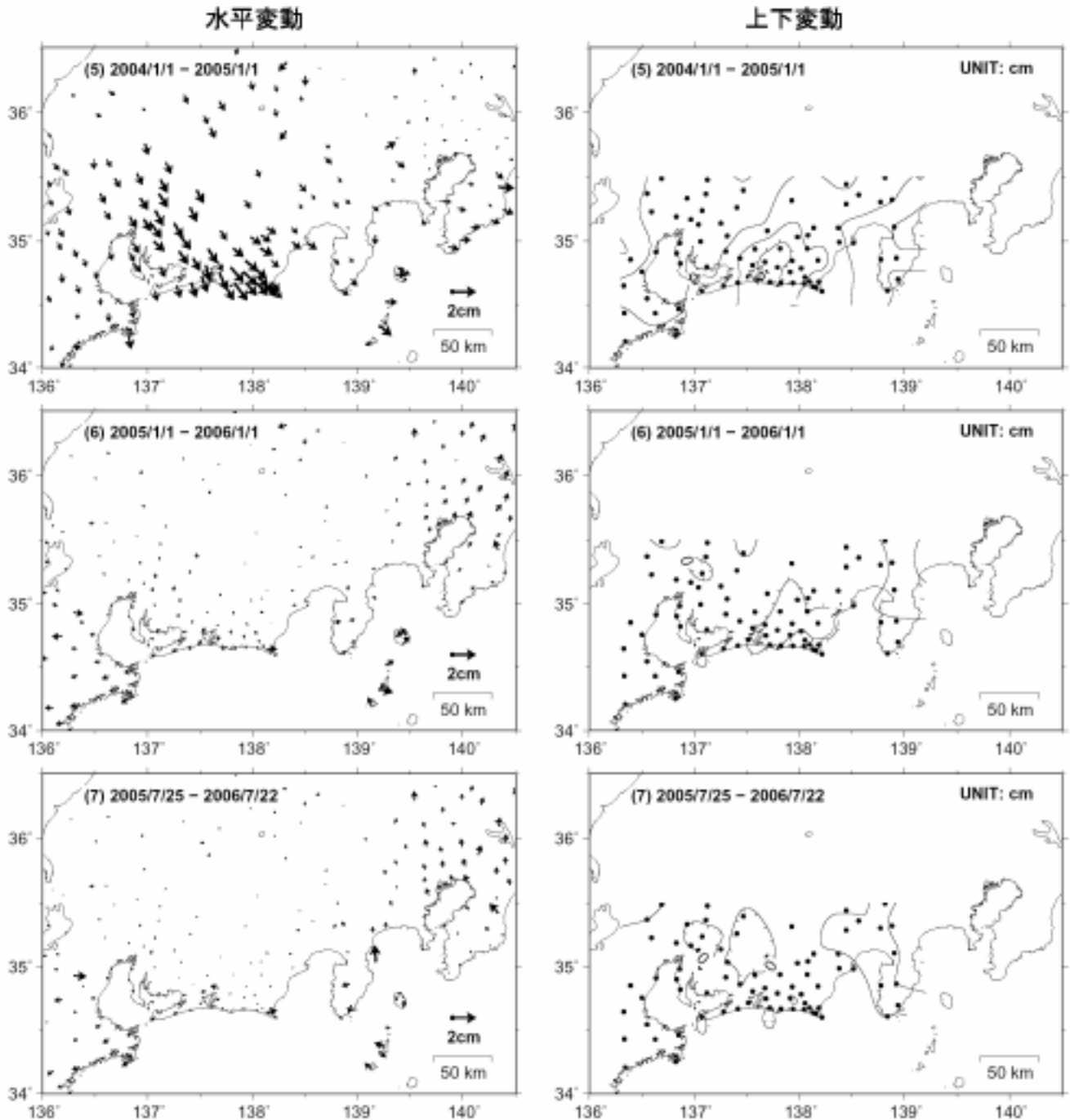


国土地理院資料

図7 国土地理院のGPS観測結果による1年間で見た東海非定常地殻変動(2000年10月~2003年)大潟固定

左図(1)、(2)、(3)、(4)はそれぞれ2000年10月からの1年間、2001年、2002年、2003年の1年間の水平変動を表す。右図(1)、(2)、(3)、(4)はそれぞれ同じ期間の上下変動を表す。

1 年間で見た東海非定常地殻変動（2）大潟固定



国土地理院資料

(5) は、2004年9月5日に発生した紀伊半島南東沖の地震および同年10月23日に発生した新潟県中越地震による地殻変動の影響を除外しています。
2004年9月～2005年初めのデータには、2004年9月5日に発生した紀伊半島南東沖の地震の余効変動の影響が含まれると考えられます。

図8 国土地理院のGPS観測結果による1年間で見た東海非定常地殻変動（2004年～2006年7月22日）大潟固定

左図(5)、(6)、(7)はそれぞれ2004年、2005年の1年間、及び2006年7月22日までの1年間の水平変動を表す。右図(5)、(6)、(7)はそれぞれ同じ期間の上下変動を表す。最近1年間(7)ではスロースリップの変動速度が小さくなっている。

日本の主な火山活動

平成 18 年（2006 年）7 月の主な火山活動は次のとおりである。

【噴火した火山】

桜島 [活発な状況（レベル 3）]

昭和火口では噴火は発生しなかったが、南岳山頂火口からは 30 日に小規模な噴火が発生した。

諏訪之瀬島 [活発な状況（レベル 3）]

26 日、27 日および 30 日に爆発的噴火が発生した。

【活動が活発もしくはやや活発な状態であった火山】

雌阿寒岳 [やや活発な状況]

ポンマチネシリ山頂の赤沼 06 火口群や北西斜面 06 噴気孔列の噴煙活動はやや活発な状態が続いている。

十勝岳 [やや活発な状況]

62-2 火口の噴煙活動はやや活発で、依然として高温の状態が続いていると推定される。

樽前山 [やや活発な状況]

A 火口及び B 噴気孔群は依然として高温の状態が続いている。

浅間山 [やや活発な状況（レベル 2）]

噴煙活動はやや活発な状態で、火山ガスの放出量もやや多い状態が続いている。

三宅島 [やや活発な状況]

噴煙活動は引き続き活発で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も依然として多い状態が続いている。下旬には山頂火口直下を震源とする地震が一時的に増加した。

福德岡ノ場 [やや活発な状況]

10 日と 26 日に変色水が確認された。

阿蘇山 [やや活発な状況（レベル 2）]

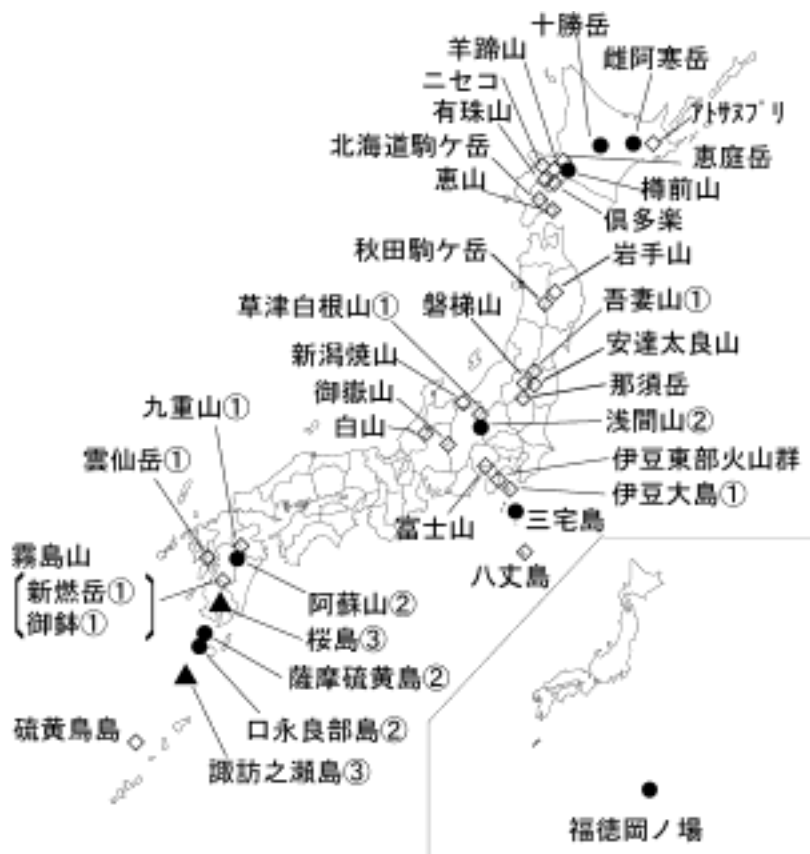
中岳第一火口の熱活動は低調な状態となった。

薩摩硫黄島 [やや活発な状況（レベル 2）]

噴煙活動はやや活発な状態が続いている。

口永良部島 [やや活発な状況（レベル 2）]

2005 年 7 月から火山性地震のやや多い状態が続いているが、今期間は少なかった。



注 1 本資料で示すレベルは、火山活動度レベルを導入した火山におけるレベルである。

注 2 記号の意味

- : 噴火した火山
- : 活動が活発もしくはやや活発な状態にあった火山
- : その他記事を掲載した火山等の丸付き数字：火山活動度レベル

図 1 今回記事を掲載した火山

各火山の活動解説

【北海道地方】

アトサヌプリ 【静穏な状況】

20日に実施した現地調査では、噴気温度は100～120¹⁾前後と、前回調査時（1998年10月）と同程度で、アトサヌプリ溶岩ドーム及びその周辺の熱活動に特段の変化はなく、火山活動は静穏な状態であった。

1) 赤外熱映像装置による。赤外線映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

雌阿寒岳 【やや活発な状況】

ポンマチネシリ山頂の赤沼06火口群や北西斜面06噴気孔列の噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上おおむね100～200mで推移した。

ポンマチネシリ山頂の96-1火口では、噴煙高度は火口縁上おおむね100m以下で推移した。25日に北海道立地質研究所が行った現地調査では、同火口の最高温度は約190¹⁾で、前回（2005年10月）の約280¹⁾と比べ約100¹⁾低下し、2003年以降の低下傾向が継続している。

火山性地震は少ない状態で推移し、火山性微動は観測されなかった。地殻変動観測では、火山活動に起因するとみられる変化はなかった。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、火口近傍では注意が必要である。

十勝岳 【やや活発な状況】

山頂部の62-2火口ではやや活発な噴煙活動が続いており、噴煙高度は火口縁上100～200mで推移した。噴煙活動に特に変化はみられていないことから、同火口の熱活動にも大きな変化はなく、高温の状態が続いていると推定される。

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されなかった。地殻変動観測では火山活動に起因するとみられる変化はなかった。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、火口近傍では注意が必要である。

樽前山 【やや活発な状況】

A火口の最高温度は、9日に産業技術総合研究所が行った現地調査では約500¹⁾、30日に気象庁が行った現地調査でも約490¹⁾を観測するなど（前回6月1日約510²⁾）、依然として高温の状態が続いていた。

25日に北海道開発局の協力を得て実施した上

空からの観測では、A火口、B噴気孔群で高温域が引き続き認められた。

各火口の噴煙活動に特に変化はみられず、噴煙高度は火口縁上おおむね100m以下で推移した。

火山性地震の発生状況には特段の変化はなく、火山性微動は観測されなかった。地殻変動観測では、火山活動に起因するとみられる変化はなかった。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、火口近傍では注意が必要である。

2) 赤外放射温度計による。赤外放射温度計は、物体が放射する赤外線を感じて温度を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

恵庭岳 【静穏な状況】

25日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、山頂東側の爆裂火口内で従来からみられていた弱い噴気が認められた程度で、火山活動は静穏な状態であった。

倶多楽 【静穏な状況】

25日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、日和山山頂部や地獄谷爆裂火口で従来からみられていた弱い噴気が認められた程度で、火口の状況に変化はなかった。地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

有珠山 【静穏な状況】

25日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、噴気の状態や火口の状況に変化はなかった。地震活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

羊蹄山 【静穏な状況】

25日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、噴気や地熱域はみられず、火口の状況にも変化はなく、火山活動は静穏な状態であった。

ニセコ 【静穏な状況】

25日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、噴気は認められず、火口の状況にも変化はなく、火山活動は静穏な状態であった。

北海道駒ヶ岳 【静穏な状況】

GPSによる地殻変動観測ではわずかな山体膨張

が引き続き観測されている。また、2003 年 9 月以降、昭和 4 年火口では弱い噴気がしばしば認められている。地震活動は低調で、火山活動は静穏に経過した。

恵山 えさん 【静穏な状況】

地震活動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

【東北地方】

岩手山 いわてさん 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

秋田駒ヶ岳 あきたこまがたけ 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

吾妻山 あづまやま 【静穏な状況（レベル1）】

火山性地震は 14 日に一時的にやや増加したが、噴煙活動は低調な状態で、また、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

安達太良山 あだたらやま 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

磐梯山 ばんだいさん 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

【関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島】

那須岳 なすだけ 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

草津白根山 くさつしらねさん 【静穏な状況（レベル1）】

地震活動は低調な状態で、噴煙は認められず、また、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

浅間山 あさまやま 【やや活発な状況（レベル2）】

噴煙活動はやや活発で、火山ガスの放出量はや

や多い状態が続いている。

山頂火口からの噴煙活動は引き続きやや活発で、噴煙高度は火口縁上概ね 100～200m で推移した。

13 日に実施した観測では、二酸化硫黄の放出量は 1 日あたり 300～600 トンと、依然としてやや多い状態が続いている（図 2）。

火山性地震は、1 日あたり 6～24 回とやや少ない状態で経過した。ほとんどは山頂火口直下のごく浅いところで発生したと推定される。火山性微動は、今期間は 2 回と少ない状態だった（図 2）。

山体周辺の GPS による地殻変動観測では特段の変化はなかった。また、傾斜計³⁾による観測及び光波距離計観測⁴⁾では、火山活動の高まりを示すような変化はなかった。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、火口周辺では引き続き注意が必要である。

3) 傾斜計を用いて山体の膨張や収縮による地面の傾きを観測している。

4) 光波距離計を用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定し、山体の膨張や収縮による距離の変化を観測している。

新潟焼山 にいがたやけやま 【静穏な状況】

火山活動に直接関係した地震は観測されず、火山活動は静穏に経過した。

御嶽山 おんたけさん 【静穏な状況】

地震は観測されず、噴煙は認められず、また、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

白山 はくさん 【静穏な状況】

地震は観測されず、また、国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは山頂部に噴気は認められず、火山活動は静穏に経過した。

富士山 ふじさん 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

伊豆東部火山群 いずとうぶかざんぐん 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、噴煙は認められず、また、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

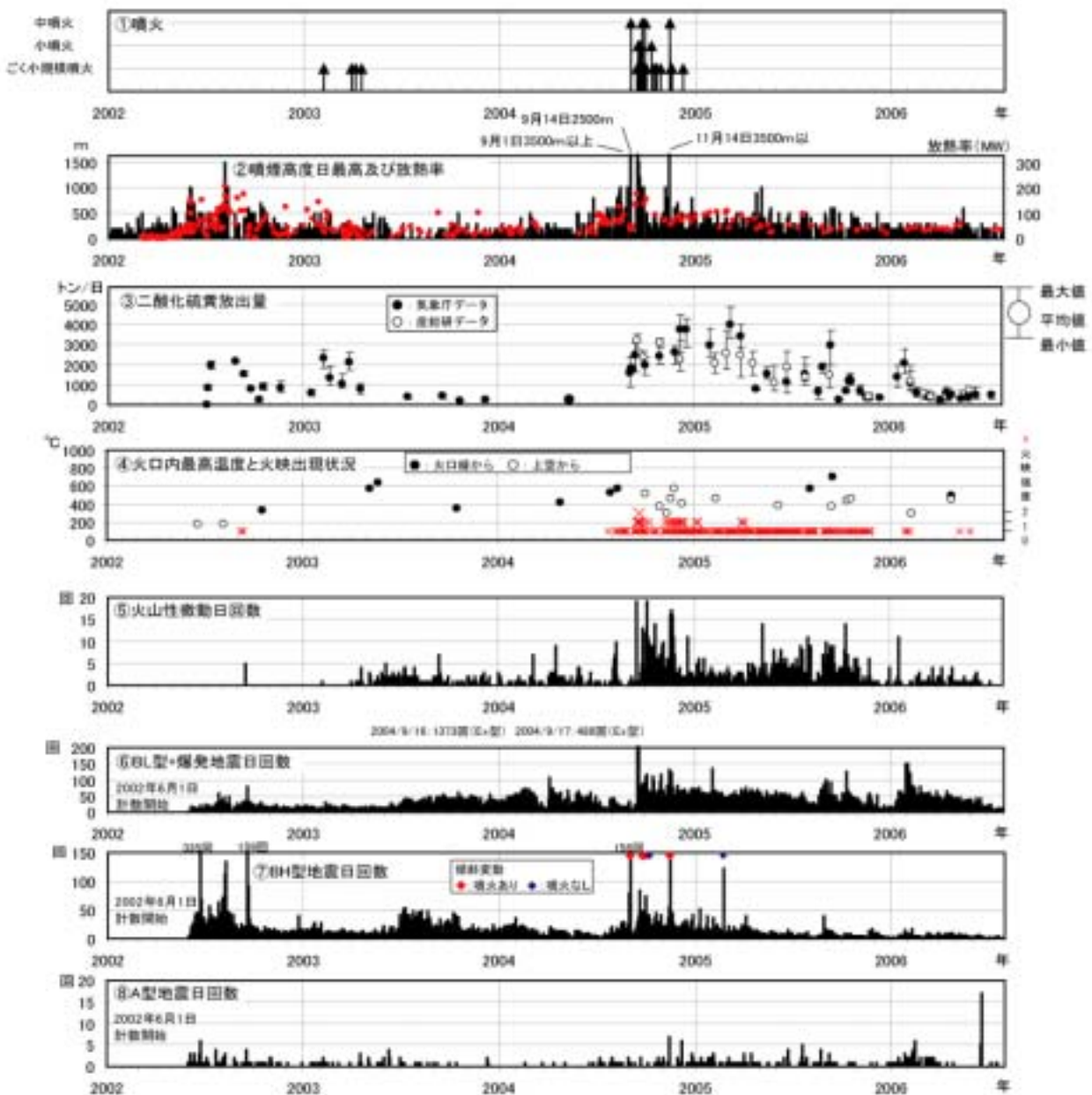


図2 浅間山 最近の活動の推移（2002年1月～2006年7月）

の二酸化硫黄放出量グラフには産業技術総合研究所によるデータも含まれている。、及びは、地震の種類別に計数を開始した2002年6月1日からのデータを掲載している。

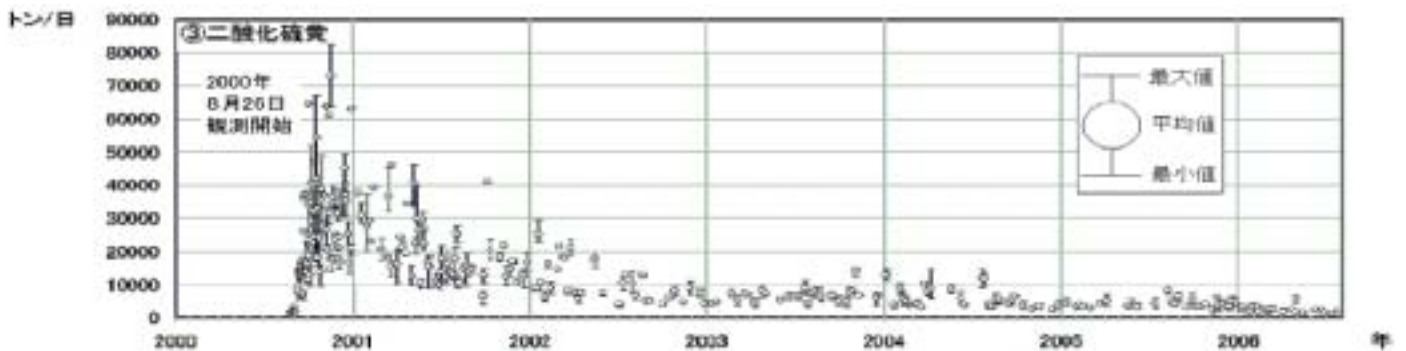


図3 三宅島 二酸化硫黄の1日あたりの放出量（2000年8月～2006年7月）

今期間の二酸化硫黄放出量は1日あたり900～2,500トンと、依然として多量の火山ガス放出が続いている

観測は、陸上、海上および航空自衛隊、海上保安庁、東京消防庁、警視庁の協力により実施

伊豆大島 いずおおしま 【静穏な状況（レベル1）】

地殻変動観測では、マグマの注入によると考えられる長期的な山体の膨張傾向が継続している。26 日に行った現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺の熱活動に特段の変化はなく、地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

三宅島 みやけしま 【やや活発な状況】

多量の火山ガス（二酸化硫黄）の放出が続いている。

山頂火口からの噴煙活動は引き続き活発で、噴煙高度は概ね火口縁上 200～300m で推移した（最高は 500m）。

12 日から 30 日にかけて、火口直下を震源とする振幅の小さなやや低周波地震が断続的にやや多い状態となった。特に 23 日、25～27 日には一時的に多発し日回数が 100 回を越えた。地震増加の際に、噴煙の状況や GPS による地殻変動観測データには特段の変化はなかった。火山性微動は観測されなかった。

14 日、27 日に実施した観測では、山頂火口からの二酸化硫黄放出量は 1 日あたり 900～2,500 トンで、依然として多量の火山ガスの放出が続いている（図 3）。なお、三宅村の火山ガス濃度観測でも、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

地磁気全磁力連続観測では特段の変化はみられていないことから、地下の熱的な状態に大きな変化はないものと考えられる。

GPS による地殻変動観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら、現在も継続している。

多量の火山ガスの放出は当分継続すると考えられ、引き続き火山ガスに対する警戒が必要である。

八丈島 はちじょうしま 【静穏な状況】

地震は観測されず、火山活動は静穏に経過した。

福德岡ノ場 ふくとくおかのば 【やや活発な状況】

10 日と 26 日に海上自衛隊が行った上空からの観測で火山活動によるとみられる変色水が確認された。

【九州地方、南西諸島】

九重山 くじゅうざん 【静穏な状況（レベル1）】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

阿蘇山 あそざん 【やや活発な状況（レベル2）】

中岳第一火口では、湯だまり⁵⁾の表面温度が 60²⁾前後で経過するなど、熱活動は低調な状態となった。

火山性連続微動の振幅は期間を通して小さい状態で経過し、孤立型微動及び火山性地震の発生状況、噴煙の状況には特段の変化はなかった。GPS による地殻変動観測や、地磁気全磁力連続観測でも火山活動によるとみられる変化はなかった。

なお、期間外であるが、熱活動が低下し火山活動は静穏な状態になったと判断し、8 月 4 日に火山活動度レベルを 2（やや活発な状況）から 1（静穏な状況）に引き下げた。

火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要である。

5)湯だまり：活動静穏期中の中岳第一火口内には、地下水などを起源とする約 50～60 の緑色のお湯がたまっており、これを湯だまりと呼んでいる。火山活動が活発化するにつれ、湯だまり温度が上昇・噴湯して湯量の減少がみられ、その過程で土砂を噴き上げる土砂噴出現象等が起こり始めることが知られている。

雲仙岳 うんぜんだけ 【静穏な状況（レベル1）】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

霧島山（新燃岳）きりしまやま しんもろだけ 【静穏な状況（レベル1）】

地震活動は低調な状態で、噴煙は認められず、また、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

霧島山（御鉢）きりしまやま おはち 【静穏な状況（レベル1）】

地震活動は低調な状態で、噴煙は認められず、また、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

桜島 さくらしま 【活発な状況（レベル3）】

6 月 4 日（前期間）に噴火が始まった昭和火口からは、今期間、噴火は発生しなかった（図 4）。南岳山頂火口からは、30 日には噴煙が火口縁上 1000m まで達する噴火が発生したほか、ごく小規模な噴火が時々発生した。

26 日に海上保安庁が行った上空からの観測では、昭和火口は 6 月 16 日（前期間）に比べ、火口の大きさや噴出物の堆積状況に特段の変化はなかった（図 5）。

火山性地震や微動はやや多い状態が続き、振幅のやや大きいものも時々発生した。

GPS による地殻変動観測では特段の変化はなかった。

昭和火口では従来の南岳山頂火口と同じよう

な噴火が発生する可能性がある。噴火に伴う噴石の飛散に注意が必要である。

薩摩硫黄島 【やや活発な状況（レベル2）】

硫黄岳山頂火口の噴煙活動は依然としてやや活発で、噴煙高度の最高は火口縁上 600mであった。

火山性地震はやや多い状態で経過した。また、13日に継続時間が約1時間の火山性連続微動が発生した。

口永良部島 【やや活発な状況（レベル2）】

2005年7月以降火山性地震の月回数が100～200回とやや多い状態が続いているが、今期間は56回と少ない状態で経過した。火山性微動は観測されなかった。監視カメラ（新岳の北西約4kmに設置）による観測では、噴気は認められなかった。

諏訪之瀬島 【活発な状況（レベル3）】

26日、27日および30日に爆発的噴火が発生したほか、小規模な噴火も時々発生した。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、29日～31日に集落（御岳の南南西約4km）で降灰を観測した。火山性連続微動は時々発生したが、火山性地震は低調な状態で経過した。

硫黄鳥島 【静穏な状況】

5日に気象庁と東京大学が、22日に気象庁がそれぞれ行った観測では、硫黄岳火口付近とグスク火山火口で従来からみられていた弱い噴気が認められた程度で、火山活動は静穏な状態であった。

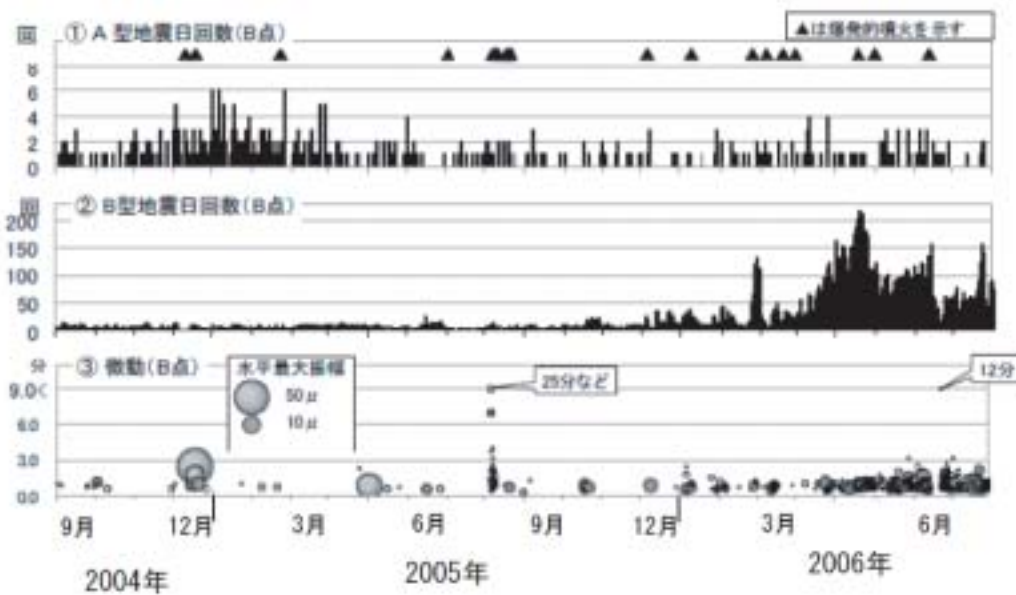


図4 桜島 火山性地震および微動の回数および微動の最大振幅の状況（2004年9月～2006年7月）
火山性地震や微動のやや多い状態が続いている。



図 5 桜島 昭和火口の状況（2006 年 7 月 26 日 第十管区海上保安本部提供）
昭和火口の大きさや噴出物の堆積状況に特段の変化はなかった

資料 1 2006 年 7 月の火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第 27 号	7 日 16:00	6 月 30 日～7 月 7 日 15 時の活動状況。レベルは 2。
	火山観測情報第 28 号	14 日 16:00	7 日～14 日 15 時の活動状況。13 日に行ったガス観測の結果。レベルは 2。
	火山観測情報第 29 号	21 日 16:00	14 日～21 日 15 時の活動状況。レベルは 2。
	火山観測情報第 30 号	28 日 16:00	21 日～28 日 15 時の活動状況。レベルは 2。
三宅島	火山観測情報 第 182～212 号 (1 日 1 回発表)	1 日～31 日 16:30 (24 日は 16:50)	最近の火山活動評価、前日 16 時～当日 16 時の活動状況及び上空の風の予想。24 日からの地震回数の増加。14 日、27 日に行ったガス観測の結果。
桜島	火山観測情報第 19 号	3 日 15:30	活発な火山活動が継続。6 月 30 日～7 月 3 日 15 時の状況、防災上の注意事項。レベルは 3。
	火山観測情報第 20 号	7 日 15:40	活発な火山活動が継続。3 日～7 日 15 時の状況、防災上の注意事項。レベルは 3。
	火山観測情報第 21 号	10 日 15:45	活発な火山活動が継続。7 日～10 日 15 時の状況、防災上の注意事項。レベルは 3。
	火山観測情報第 22 号	14 日 15:30	活発な火山活動が継続。10 日～14 日 15 時の状況、防災上の注意事項。レベルは 3。
	火山観測情報第 23 号	18 日 15:30	活発な火山活動が継続。14 日～18 日 15 時の状況、防災上の注意事項。レベルは 3。
	火山観測情報第 24 号	21 日 15:30	活発な火山活動が継続。18 日～21 日 15 時の状況、防災上の注意事項。レベルは 3。
	火山観測情報第 25 号	24 日 15:30	活発な火山活動が継続。21 日～24 日 15 時の状況、防災上の注意事項。レベルは 3。
	火山観測情報第 26 号	28 日 15:30	活発な火山活動が継続。24 日～28 日 15 時の状況、防災上の注意事項。レベルは 3。
	火山観測情報第 27 号	31 日 15:30	活発な火山活動が継続。28 日～31 日 15 時の状況、防災上の注意事項。レベルは 3

資料 2 過去 1 年間の火山活動の状況

火 山 名	平成17年					平成18年						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
雌阿寒岳	活動											
十勝前山	活動											
吾妻山	活動 レベル											
草津白根山	活動 レベル											
浅間山	活動 レベル											
伊豆大島	活動 レベル											
三宅島	活動											
福德岡ノ場	活動											
九重山	活動 レベル											
阿蘇山	活動 レベル											
雲仙岳	活動 レベル											
霧島山（新燃岳）	活動 レベル											
霧島山（御鉢）	活動 レベル											
桜島	活動 レベル											
薩摩硫黄島	活動 レベル											
口永良部島	活動 レベル											
諏訪之瀬島	活動 レベル											

活動状況(活動)

- ：噴火した火山
- ：活動が活発もしくはやや活発な状態であった火山

火山活動度レベル

- ：小規模な噴火が発生かその可能性
（吾妻山、草津白根山、浅間山、雲仙岳では「小～中規模噴火が発生かその可能性」、桜島では「活発な火山活動」）
- ：やや活発な火山活動
（桜島については、「比較的静穏な噴火活動」）
- ：静穏な火山活動

世界の主な地震

7月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

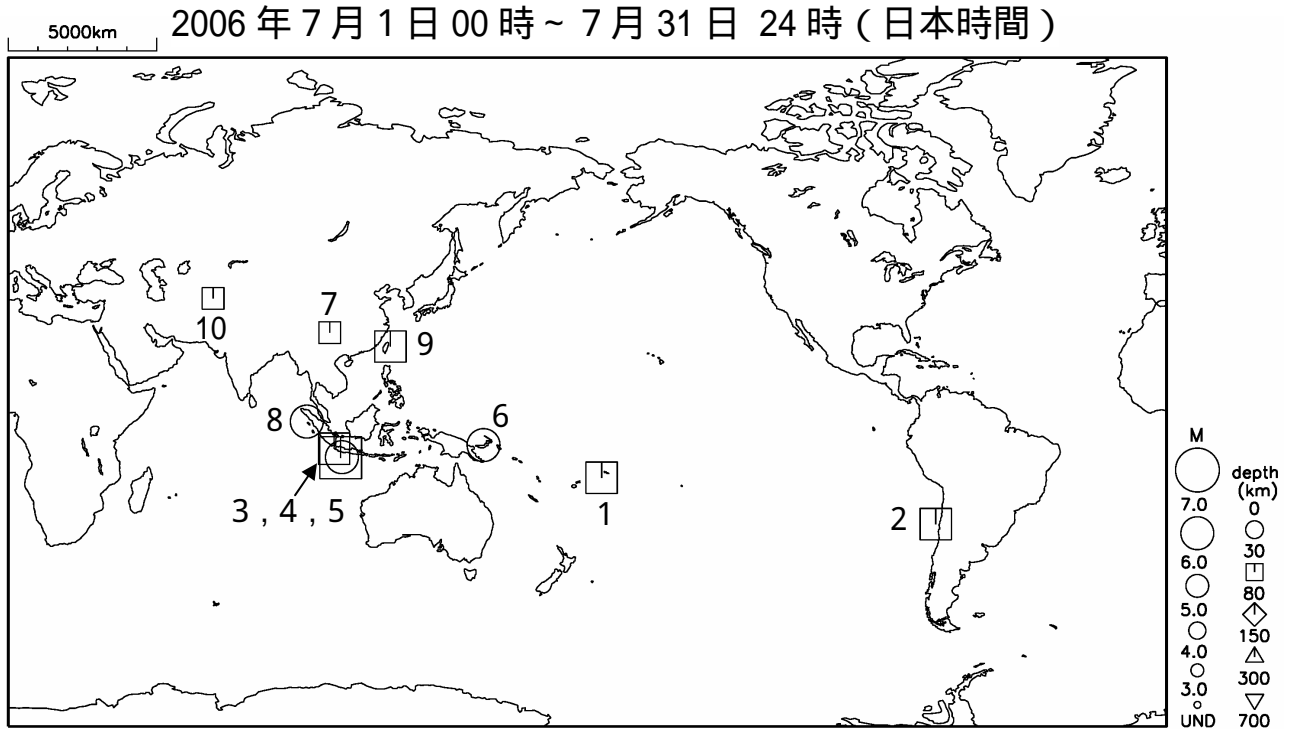


図1 2006年7月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表のQUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による>

* : 数字は、表1の番号に対応する。

** : マグニチュードはmb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表1 2006年7月に世界で発生したマグニチュード6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	月日時分	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)
1	07月07日16時26分	S15° 16.3'	W173° 35.1'	35*	5.7	6.0	6.0	トンガ諸島	
2	07月16日20時42分	S28° 39.9'	W 72° 27.2'	34*	6.0	5.7	6.2	チリ中部沖	
3	07月17日17時19分	S 9° 16.1'	E107° 23.1'	34*	6.0	7.2	7.2	インドネシア、ジャワ島南部	・ TWI発表 ・ 死者・行方不明者801名、 負傷者543名、建物被害1430棟以上 (p39参照)
4	07月17日18時13分	S 9° 05.1'	E107° 45.9'	10*	6.0			インドネシア、ジャワ島南部	
5	07月19日19時57分	S 6° 32.6'	E105° 23.7'	45*	5.7	6.0	6.1	スンダ海峡	
6	07月19日20時48分	S 5° 27.9'	E150° 39.7'	28	5.6	6.5	6.3	バブアニューギニア、ニューギニア	
7	07月22日10時10分	N28° 00.5'	E104° 05.9'	52	5.1			中国、四川	死者22名、負傷者106名以上
8	07月27日20時16分	N 1° 41.1'	E 97° 09.4'	20*	5.7	6.1	6.0	インドネシア、スマトラ北部	
9	07月28日16時40分	N24° 02.5'	E122° 28.3'	40	5.6	(6.2)	5.8	台湾付近	
10	07月29日09時11分	N37° 19.1'	E 68° 46.2'	35	4.9	5.2	5.4	アフガニスタン-タジキスタン国境付近	死者3名、負傷者19名 住家被害1500棟以上

- ・ 震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表のQUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による（2006年8月7日現在）。ただし、日本付近で発生した地震については震源要素及びマグニチュード（Msの欄に括弧を付して記載）は気象庁、被害状況は総務省消防庁による。
- ・ 時分は震源時で日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9時間] である。
- ・ MwはUSGSのモーメントマグニチュードである。
- ・ 震源の深さに「*」が付いているのは、USGSが推定した深さである。
- ・ TWIは、気象庁がインド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報である（地震・火山月報（防災編）平成17年5月号参照）。

特集.2006 年 7 月 17 日に発生したインドネシア(ジャワ島南方沖)の地震について

<2006 年 7 月 17 日 17 時 19 分（日本時間） 南緯 9° 16.1' 東経 107° 23.1' 深さ 34km mb6.0 Ms7.2 Mw7.2>

震源要素は米国地質調査所国立地震情報センター（USGS）による。USGS によれば、震源の深さ 34km は震源計算によるものではなく、推定値である。

概要

7 月 17 日 17 時 19 分頃（日本時間）インドネシアのジャワ島南方沖（首都ジャカルタの南約 350km 付近）の深さ 34km でマグニチュード 7.2（米国地質調査所〔以下、USGS〕によるマグニチュード）の地震が発生した。この地震により津波が発生し、インドネシアで死者・行方不明 801 名、負傷者 543 名などの被害を生じた（8 月 7 日現在、USGS による）。この地震について、気象庁は同日 17 時 46 分に「インド洋で局所的に破壊的な津波が 1 時間以内に到達する可能性あり」の旨の「インド洋津波監視情報」を、17 時 47 分に「日本への津波の影響はなし、震源の近傍で津波発生の可能性あり」の旨の「遠地地震の地震情報」を発表した。

この付近は南からインド・オーストラリアプレートが北のユーラシアプレートの下に沈み込んでいる領域で、今回の地震はインド・オーストラリアプレートの沈み込みに伴い発生した地震と考えられる。

1970 年以降の M6.0 以上の活動を見ると、今回の地震から東南東に約 600km 離れた場所で 1994 年 6 月 3 日に M7.2 の地震が発生し、津波により死者 277 名、負傷者 423 名の被害が発生している。

図 1 - 1 震央分布図(1970 年 1 月 1 日～、M 6.0、深さ 100km 以浅)

震源データは USGS による。薄線は大まかなプレート境界、白抜きの矢印はインド・オーストラリアプレートのおおよその進行方向を示す。

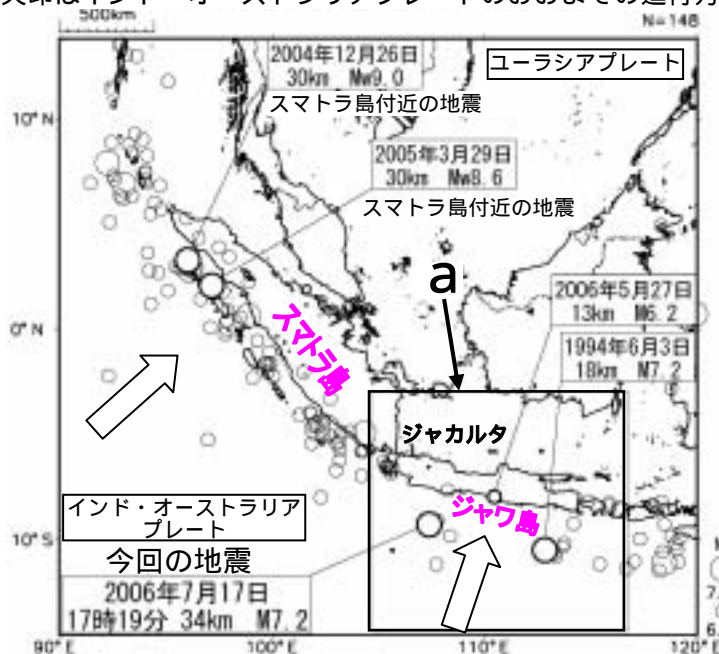


図 2 - 1 領域 a の拡大図（深さ 0～700km、M 5.0）

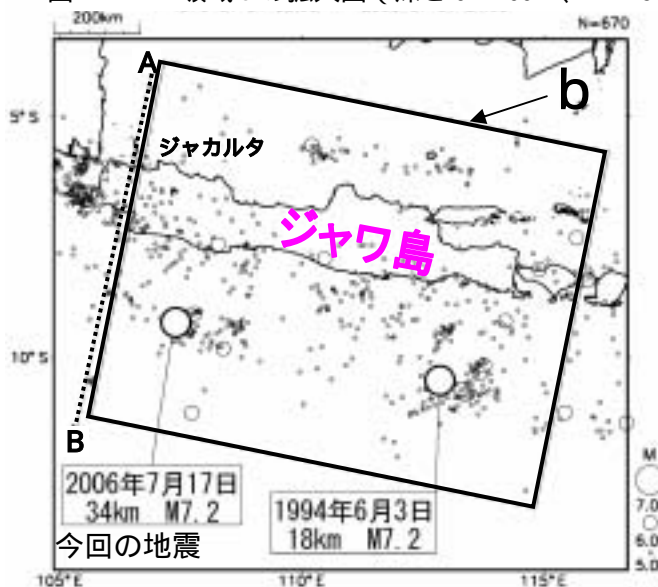


図 1 - 2 領域 a の M - T 図

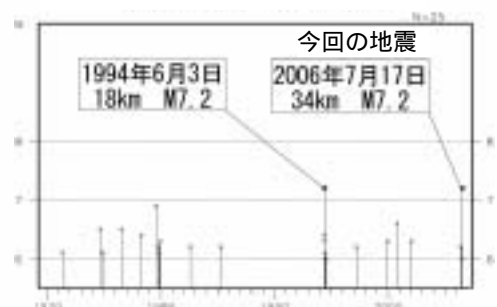


図 3 ハーバード大学による CMT 解
1994 年 6 月 3 日の地震 今回の地震
(Mw7.8) (Mw7.7)

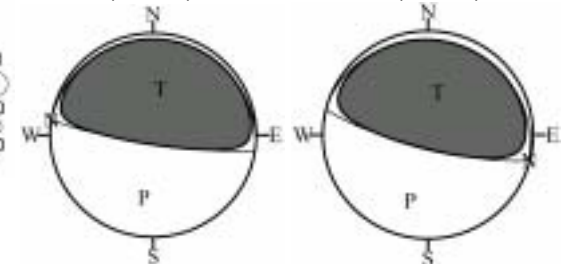


図 2 - 2 領域 b の断面図（A-B 投影）

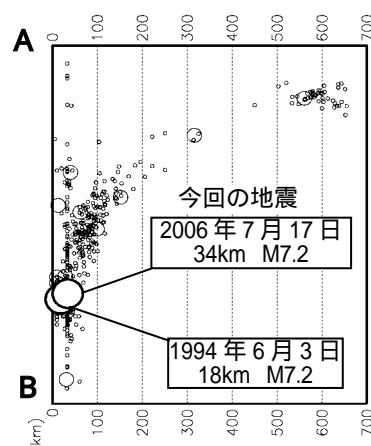


図 4 - 1 本震及び余震の状況
（7月17日～、M 5.0、深さ100km以浅）
震源データはUSGSによる

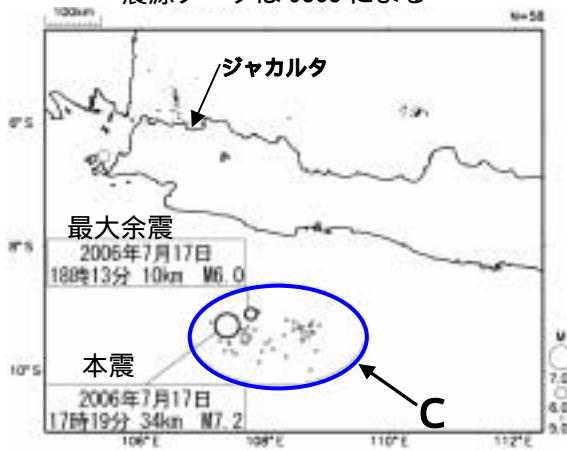


図 4 - 2 領域 c 内の M - T 図

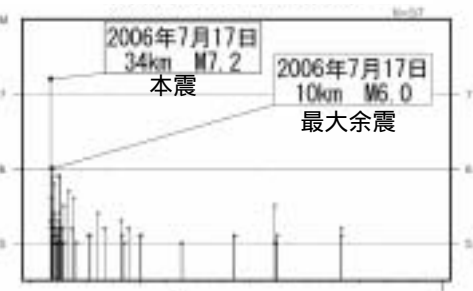


図 5 - 1 津波が観測された検潮所の位置

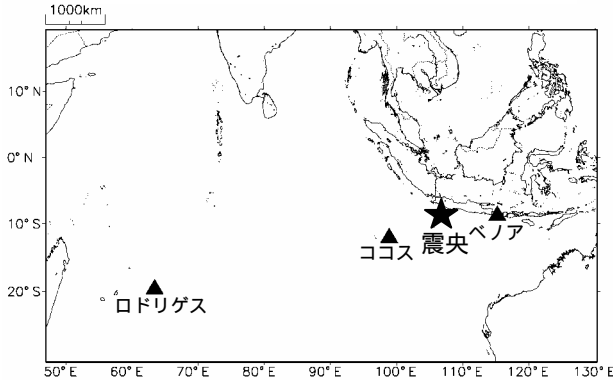
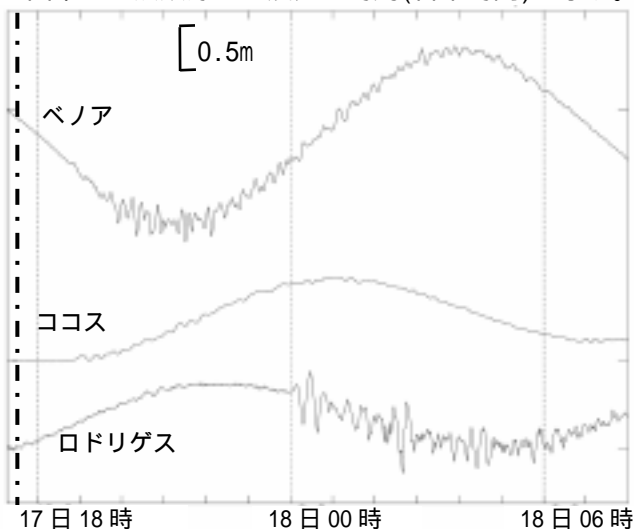


図 5 - 2 検潮所で観測した津波の波形
図中の一点鎖線は地震発生時刻(日本時間)を示す。



(1) 本震及び余震の状況

今回の地震発生以降、M5.0以上の余震が57回発生しているものの、活動は減衰してきている(図4)。最大余震は7月17日18時13分(日本時間)に発生したM6.0の地震で、本震発生後約1時間後に発生している(8月7日現在)。

本震の発震機構はインド・オーストラリアプレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型(図3)で、インド・オーストラリアプレートの沈み込みに伴い発生した地震と考えられる。

(2) 津波

今回の地震により、ベノア検潮所(インドネシア)で日本時間17日20時28分頃に17cm、ロドリゲス検潮所(モーリシャス)で18日02時45分頃に43cmの津波が観測された(表1)。このため気象庁は、その旨を17日20時43分、18日03時50分に「インド洋津波監視情報」の続報として発表した。

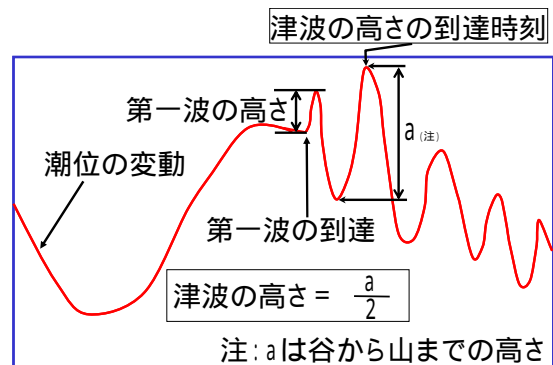
なお、日本では津波は観測されなかった。

表 1 津波の観測結果

検潮所名(国名)	最大	
	時刻	高さ(cm)
ベノア(インドネシア)	17日 20:28	17
ココス(オーストラリア領)	17日 21:20	4
ロドリゲス(モーリシャス)	18日 02:45	43

注：初動は微弱であるため決定できない。

図 5 - 3 津波の測り方の模式図



付表

1. 震度 1 以上を観測した地震の表

地震の震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」を参照。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（各年の地震・火山月報（防災編）12月号の付録1参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 08 28	宮城県沖 岩手県	38°28.1' N	142°09.3' E	40km	M: 5.3
		3 北上市二子町*≈3.3 大船渡市大船渡町≈3.3 盛岡市玉山区藪川*≈3.0 陸前高田市高田町*≈3.0 大船渡市猪川町≈2.9 一関市室根町*≈2.9 藤沢町藤沢*≈2.8 釜石市中妻町*≈2.8 一関市千厩町*≈2.8 二戸市福岡≈2.8 奥州市衣川区*≈2.7 花巻市東和町*≈2.7 奥州市中沢区*≈2.6 大船渡市盛町*≈2.6 盛岡市玉山区洪民*≈2.5 奥州市江刺区*≈2.5 大槌町新町*≈2.5				
		2 盛岡市山王町≈2.4 滝沢村鶴飼*≈2.4 八幡平市野駄*≈2.4 花巻市石鳥谷町*≈2.4 花巻市材木町*≈2.4 北上市柳原町≈2.4 平泉町平泉*≈2.4 奥州市胆沢区*≈2.4 洋野町大野*≈2.3 住田町世田米*≈2.3 遠野市宮守町*≈2.3 一関市花泉町*≈2.3 金ヶ崎町西根*≈2.3 一戸町高善寺*≈2.2 紫波町日詰*≈2.2 遠野市松崎町*≈2.2 岩手山田町大沢*≈2.2 一関市大東町≈2.2 一関市山目*≈2.2 普代村銅屋*≈2.1 釜石市只越町≈2.1 八幡平市田頭*≈2.1 盛岡市馬場町*≈2.1 花巻市大迫町≈2.1 一関市舞川≈2.1 奥州市水沢区佐倉河*≈2.1 川井村田代*≈2.0 二戸市浄法寺町*≈2.0 野田村野田*≈2.0 九戸村伊保内*≈1.9 奥州市水沢区大鐘町≈1.9 岩手町五日市*≈1.8 一関市川崎町*≈1.8 八幡平市大更≈1.8 川井村川井*≈1.8 軽米町軽米*≈1.7 雫石町干刈田≈1.7 宮古市五月町*≈1.7 宮古市田老*≈1.6 西和賀町川尻*≈1.6 西和賀町沢内川舟*≈1.6 花巻市大迫総合支所*≈1.6 八幡平市吹田*≈1.6 久慈市川崎町≈1.5 西和賀町沢内太田*≈1.5 岩手山田町八幡町≈1.5				
		1 宮古市鍛ヶ崎≈1.4 宮古市茂市*≈1.4 洋野町種市≈1.4 葛巻町葛巻元木≈1.4 久慈市長内町*≈1.3 二戸市石切所*≈1.3 一関市東山町*≈1.3 葛巻町消防分署*≈1.1 葛巻町役場*≈1.1 岩泉町岩泉*≈1.0 田野畑村田野畑≈0.9				
		宮城県				
		3 石巻市桃生町*≈3.4 南三陸町歌津*≈3.3 東松島市矢本*≈3.2 大崎市古川三日町≈3.2 気仙沼市赤岩≈3.1 大崎市門尻*≈3.1 涌谷町新町≈3.0 栗原市金成*≈3.0 石巻市泉町≈3.0 南三陸町志津川≈3.0 石巻市門脇*≈3.0 登米市南方町*≈2.9 気仙沼市唐桑町*≈2.9 東松島市小野*≈2.9 栗原市志波姫*≈2.9 大崎市古川北町*≈2.9 登米市迫町*≈2.9 気仙沼市笹が陣*≈2.8 栗原市若柳*≈2.7 栗原市瀬峰*≈2.6 登米市中田町≈2.6 栗原市栗駒≈2.6 登米市米山町*≈2.6 石巻市前谷地*≈2.6 石巻市北上町*≈2.5 宮城美里町北浦*≈2.5 女川町女川浜*≈2.5 岩沼市桜*≈2.5				
		2 本吉町津谷*≈2.4 栗原市築館*≈2.4 宮城美里町木間塚*≈2.4 仙台青葉区落合*≈2.4 宮城加美町中新田*≈2.3 栗原市高清水*≈2.3 栗原市一迫*≈2.3 大崎市松山*≈2.3 仙台宮城野区苦竹*≈2.3 宮城川崎町前川*≈2.3 登米市東和町*≈2.2 登米市登米町*≈2.2 石巻市鮎川浜*≈2.2 大郷町粕川*≈2.2 大衡村大衡*≈2.2 石巻市大瓜≈2.1 栗原市花山*≈2.1 石巻市相野谷*≈2.1 大崎市鹿島台*≈2.1 仙台青葉区大倉≈2.1 塩竈市旭町*≈2.1 名取市増田*≈2.1 大河原町新南*≈2.1 利府町利府*≈2.1 仙台宮城野区五輪≈2.0 色麻町四竈*≈2.0 栗原市鶯沢*≈2.0 蔵王町円田*≈2.0 大崎市岩出山*≈2.0 仙台青葉区作並*≈2.0 亶理町下小路*≈1.9 登米市豊里町*≈1.9 石巻市雄勝町*≈1.9 大崎市鳴子*≈1.9 宮城加美町小野田*≈1.8 角田市角田*≈1.8 村田町村田*≈1.8 柴田町船岡≈1.7 仙台青葉区雨宮*≈1.7 山元町浅生原*≈1.7 七ヶ浜町東宮浜*≈1.7 登米市石越町*≈1.7 仙台若林区遠見塚*≈1.7 仙台北区将監*≈1.7 宮城大和町吉岡*≈1.7 登米市津山町*≈1.6 宮城加美町宮崎*≈1.6 大崎市三本木*≈1.6 宮城松島町松島≈1.5 富谷町富谷*≈1.5				
		1 仙台太白区山田*≈1.4 白石市亶理町*≈1.4 丸森町鳥屋*≈1.3 多賀城市中央*≈1.0 七ヶ宿町関*≈0.9 丸森町上滝≈0.7				
		青森県				
		2 階上町道仏*≈2.3 八戸市南郷区*≈1.9 青森南部町平*≈1.8 五戸町古館≈1.8 東通村小田沢町*≈1.7 東北町上北南*≈1.7 青森南部町苦米地*≈1.7 七戸町森ノ上*≈1.7 おいらせ町中下田*≈1.7 八戸市内丸*≈1.5				
		1 五戸町倉石中市*≈1.4 おいらせ町上明堂*≈1.3 八戸市湊町≈1.3 野辺地町田狭沢*≈1.3 六戸町犬落瀬*≈1.3 平内町小湊≈1.3 七戸町七戸*≈1.2 田子町田子*≈1.1 十和田市西十二番町*≈1.1 東通村砂子又*≈1.1 三沢市桜町*≈1.0 藤崎町水木*≈1.0 野辺地町野辺地*≈1.0 十和田市西二番町*≈0.9 八戸市島守≈0.9 外ヶ浜町蟹田*≈0.8 東北町塔ノ沢山*≈0.8 三戸町在府小路*≈0.8 むつ市金曲≈0.7 むつ市脇野沢*≈0.7 青森南部町沖田面*≈0.7 藤崎町西豊田*≈0.7 田舎館村田舎館*≈0.6 十和田市奥瀬*≈0.6 平川市猿賀*≈0.6 平川市柏木町*≈0.6 横浜町寺下*≈0.5				
		秋田県				
		2 秋田市雄和妙法*≈1.7 東成瀬村椿川*≈1.7 東成瀬村田子内*≈1.7 大仙市高梨*≈1.7 秋田市河辺和田*≈1.6 横手市大雄*≈1.6 大仙市大曲花園町*≈1.6 仙北市西木町上桧木内*≈1.6 1 秋田井川町北川尻*≈1.4 由利本荘市前郷*≈1.3 湯沢市沖鶴≈1.3 大仙市北長野*≈1.3 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*≈1.3 湯沢市川連町*≈1.2 横手市大森町*≈1.2 仙北市角館町東勝楽丁≈1.2 秋田美郷町六郷東根≈1.1 五城目町西磯ノ目≈1.1 大仙市協和境野田*≈1.1 三種町豊岡*≈1.1 由利本荘市矢島町矢島町*≈1.0 大仙市太田町太田*≈1.0 由利本荘市西目町沼田*≈1.0 横手市雄物川町今宿≈1.0 横手市平鹿町浅舞*≈1.0 秋田美郷町土崎*≈1.0 秋田美郷町飯詰*≈1.0 秋田市消防庁舎*≈1.0 羽後町西馬音内*≈0.9 由利本荘市岩谷町*≈0.9 にかほ市平沢*≈0.9 大仙市神宮寺*≈0.9 秋田市雄和女米木≈0.9 大仙市南外*≈0.9 能代市上町*≈0.9 大館市桜町*≈0.8 大館市中城*≈0.8 秋田市山王≈0.8 仙北市西木町上荒井*≈0.8 横手市十文字町*≈0.8				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>湯沢市佐竹町 * = 0.8 横手市山内土淵 * = 0.7 由利本荘市鳥海町伏見 * = 0.7 仙北市田沢湖田沢 * = 0.7 由利本荘市岩城内道川 * = 0.7 横手市中央町 * = 0.7 由利本荘市東由利老方 * = 0.7 横手市安田柳堤地内 * = 0.6 横手市増田町増田 * = 0.6 秋田美郷町六郷 * = 0.6 にかほ市象潟町浜ノ田 * = 0.6 八郎潟町大道 * = 0.6 大館市比内町扇田 * = 0.6 北秋田市阿仁銀山 * = 0.6 由利本荘市石脇 * = 0.5 大館市早口 * = 0.5 三種町鶴川 * = 0.5</p> <p>山形県 2 山形中山町長崎 * = 2.0 尾花沢市若葉町 * = 1.9 東根市中央 * = 1.5 山辺町緑ヶ丘 * = 1.5 山形河北町谷地 = 1.5 山形河北町役場 * = 1.5 1 天童市老野森 * = 1.4 遊佐町遊佐 = 1.2 大石田町緑町 * = 1.2 舟形町舟形 * = 1.2 戸沢村古口 * = 1.2 寒河江市中央 * = 1.2 米沢市林泉寺 * = 1.2 酒田市亀ヶ崎 = 1.1 大蔵村肘折 * = 1.1 山形西川町大井沢 * = 1.1 新庄市東谷地田町 = 1.0 上山市河崎 * = 0.9 山形大江町左沢 * = 0.9 鮭川村佐渡 * = 0.8 寒河江市寒河江 * = 0.8 鶴岡市道田町 * = 0.8 山形西川町海味 * = 0.8 山形市薬師町 * = 0.6 米沢市駅前 = 0.6 白鷹町黒鴨 = 0.5 新庄市堀端町 * = 0.5 山形市緑町 = 0.5</p> <p>福島県 2 葛尾村落合閣下 * = 2.1 田村市都路町 * = 2.0 南相馬市鹿島区 * = 2.0 田村市大越町 * = 1.9 二本松市針道 * = 1.8 川俣町五百田 * = 1.8 福島伊達市霊山町 * = 1.8 相馬市中村 * = 1.8 福島国見町藤田 * = 1.7 福島本宮町万世 * = 1.7 田村市船引町 = 1.7 二本松市油井 * = 1.6 福島玉川村小高 * = 1.6 田村市滝根町 * = 1.6 福島伊達市梁川町 * = 1.6 南相馬市小高区 * = 1.6 福島白沢村糠沢 * = 1.5 福島市松木町 = 1.5 檜葉町北田 * = 1.5 新地町谷地小屋 * = 1.5 飯館村伊丹沢 * = 1.5 1 福島市五老内町 * = 1.4 桑折町東大隅 * = 1.4 田村市常葉町 * = 1.4 福島伊達市保原町 * = 1.4 福島市桜木町 * = 1.3 須賀川市八幡山 * = 1.3 二本松市郭内 * = 1.3 福島伊達市前川原 * = 1.3 福島伊達市月館町 * = 1.3 浪江町幾世橋 = 1.3 南相馬市原町区高見町 * = 1.3 白河市新白河 * = 1.2 須賀川市岩瀬支所 * = 1.2 鏡石町鏡田 * = 1.2 大熊町下野上 * = 1.2 南相馬市原町区三島町 = 1.2 天栄村下松本 * = 1.1 平田村永田 * = 1.1 浅川町浅川 * = 1.1 小野町中通 * = 1.1 小野町小野新町 * = 1.1 広野町下北迫大谷地原 * = 1.1 富岡町本岡 * = 1.1 川内村上川内早渡 * = 1.1 福島双葉町新山 * = 1.1 葛尾村落合落合 * = 1.1 郡山市朝日 = 1.1 郡山市開成 * = 1.1 郡山市湖南町 * = 1.1 古殿町松川 * = 1.0 白河市東 * = 1.0 須賀川市八幡町 * = 1.0 二本松市金色 * = 1.0 棚倉町棚倉中居野 = 1.0 大玉村玉井 * = 0.9 南相馬市原町区本町 * = 0.9 猪苗代町千代田 * = 0.9 川内村下川内 = 0.8 大熊町野上 * = 0.8 いわき市平四ツ波 * = 0.8 飯野町飯野 * = 0.8 いわき市小名浜 = 0.7 いわき市錦町 * = 0.7 白河市郭内 = 0.7 広野町下北迫苗代替 * = 0.7 川内村上川内小山平 * = 0.7 大玉村曲藤 = 0.6 三春町大町 * = 0.6</p> <p>茨城県 1 常陸大宮市上村田 * = 1.1 日立市助川小学校 * = 1.0 日立市役所 * = 1.0 常陸太田市高柿町 * = 1.0 常陸大宮市野口 * = 0.9 高萩市安良川 * = 0.8 水戸市金町 = 0.7 石岡市柿岡 = 0.7 筑西市舟生 = 0.7 ひたちなか市南神敷台 * = 0.6</p> <p>栃木県 1 茂木町小井戸 * = 1.3 那須烏山市中央 = 0.7 宇都宮市明保野町 = 0.6</p> <p>群馬県 1 沼田市西倉内町 = 0.8</p> <p>神奈川県 1 中井町比奈窪 * = 0.5</p>				
2	1 11 05	新潟県沖 新潟県 1 佐渡市河原田本町 * = 1.3	38° 07.0' N	137° 51.4' E	24km	M: 3.6
3	1 14 17	福島県会津地方 福島県 2 福島柳津町大成沢 = 1.5 1 福島三島町宮下 * = 1.0	37° 25.9' N	139° 41.3' E	4km	M: 2.4
4	1 14 29	千葉県北西部 茨城県 栃木県 1 常陸大宮市上村田 * = 0.8 1 茂木町小井戸 * = 0.6 宇都宮市明保野町 = 0.5	35° 54.3' N	139° 58.3' E	63km	M: 3.4
5	2 04 13	天草灘 熊本県 鹿児島県 1 天草市河浦町 * = 1.0 天草市牛深町 = 0.8 1 薩摩川内市下甕町 = 0.6	32° 05.1' N	129° 52.9' E	10km	M: 3.9
6	2 13 29	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑠璃瑠 * = 1.1	43° 15.1' N	146° 16.0' E	46km	M: 3.8
7	2 15 48	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島 = 1.3	34° 22.0' N	139° 08.8' E	2km	M: 2.3
8	2 16 45	奄美大島近海 鹿児島県 3 鹿児島十島村悪石島 * = 2.7 2 鹿児島十島村小宝島 * = 1.6	29° 17.9' N	129° 09.3' E	12km	M: 4.1
9	3 08 10	宮城県沖 岩手県 1 大船渡市大船渡町 = 0.6 大船渡市猪川町 = 0.6 陸前高田市高田町 * = 0.6 一関市室根町 * = 0.5	38° 51.5' N	141° 46.6' E	56km	M: 3.2
10	3 21 17	鳥取県西部 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 1 日南町生山 * = 0.9 日南町霞 * = 0.6 鳥取南部町天萬 * = 0.5 1 奥出雲町横田 * = 1.2 奥出雲町三成 * = 0.9 1 新見市千屋 * = 0.6 1 三次市君田町 * = 0.6	35° 06.2' N	133° 10.2' E	11km	M: 3.1

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
11	4 10 12	淡路島付近 兵庫県 1 淡路市富島=1.4	34° 32.9' N	134° 54.2' E	4km	M: 2.4
12	5 00 10	青森県津軽北部 青森県 1 青森市浪岡 *=0.5	40° 42.1' N	140° 37.5' E	11km	M: 1.8
13	5 04 01	十勝支庁南部 北海道 1 更別村更別 *=0.7	42° 21.3' N	143° 06.4' E	48km	M: 3.3
14	5 12 57	網走支庁網走地方 北海道 3 釧路市阿寒町阿寒湖温泉 *=2.7	43° 29.8' N	144° 00.7' E	0km	M: 3.0
15	5 16 42	沖縄本島近海 沖縄県 1 恩納村恩納 *=1.0	26° 12.2' N	128° 24.8' E	35km	M: 4.2
16	5 19 59	東京湾 山梨県 1 大月市御太刀 *=0.5	35° 29.7' N	139° 53.0' E	112km	M: 3.4
17	6 01 09	奄美大島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村悪石島 *=1.8 1 鹿児島十島村中之島=1.3 奄美市名瀬港町=1.0 喜界町滝川=0.5	29° 16.8' N	129° 53.1' E	65km	M: 4.4
18	6 02 08	岩手県沖 青森県 3 八戸市南郷区 *=2.6 青森南部町平 *=2.6 青森南部町苔米地 *=2.5 東通村小田野沢 *=2.5 2 五戸町古館=2.4 おいらせ町中下田 *=2.4 八戸市内丸 *=2.3 むつ市脇野沢 *=2.3 階上町道仏 *=2.3 東北町上北南 *=2.2 野辺地町田狭沢 *=2.2 七戸町森ノ上 *=2.1 おいらせ町上明堂 *=2.1 野辺地町野辺地 *=2.0 六戸町犬落瀬 *=2.0 東通村砂子又 *=2.0 七戸町七戸 *=2.0 むつ市金谷 *=1.9 青森市花園=1.9 平内町小湊=1.9 八戸市湊町=1.9 三沢市桜町 *=1.9 むつ市金曲=1.8 外ヶ浜町蟹田 *=1.7 五戸町倉石中市 *=1.7 十和田市西十二番町 *=1.7 むつ市大畑町中島 *=1.7 青森市中央 *=1.7 横浜町林ノ脇 *=1.6 青森南部町沖田面 *=1.6 六ヶ所村尾駸=1.6 横浜町寺下 *=1.5 東北町塔ノ沢山 *=1.5 十和田市奥瀬 *=1.5 十和田市西二番町 *=1.5 1 八戸市島守=1.4 田子町田子 *=1.4 中泊町小泊 *=1.3 むつ市川内町 *=1.3 つがる市稲垣町 *=1.3 中泊町中里 *=1.1 大間町大間 *=1.1 平内町東田沢 *=1.1 三戸町在府小路 *=1.1 藤崎町西豊田 *=1.0 佐井村長後 *=1.0 新郷村戸来 *=1.0 平川市猿賀 *=0.9 東通村尻屋 *=0.9 五所川原市敷島町 *=0.9 板柳町板柳 *=0.9 黒石市市ノ町 *=0.6 岩手県 3 洋野町大野 *=2.9 二戸市浄法寺町 *=2.8 2 久慈市川崎町=2.4 盛岡市玉山区洪民 *=2.3 北上市二子町 *=2.3 普代村銅屋 *=2.2 野田村野田 *=2.2 二戸市福岡=2.2 久慈市長内町 *=2.1 二戸市石切所 *=2.1 軽米町軽米 *=2.1 川井村川井 *=1.9 盛岡市山王町=1.9 八幡平市野駄 *=1.9 矢巾町南矢幅 *=1.9 滝沢村鶴飼 *=1.8 一戸町高善寺 *=1.8 九戸村伊保内 *=1.8 八幡平市吹田 *=1.8 釜石市中妻町 *=1.8 奥州市胆沢区 *=1.8 川井村田代 *=1.7 陸前高田市高田町 *=1.7 大槌町新町 *=1.7 花巻市大迫総合支所 *=1.7 遠野市宮守町 *=1.7 一関市千厩町 *=1.7 盛岡市馬場町 *=1.7 花巻市東和町 *=1.6 遠野市松崎町 *=1.6 岩手町五日市 *=1.6 宮古市鎌ヶ崎=1.6 一関市室根町 *=1.6 宮古市五月町 *=1.6 平泉町平泉 *=1.6 藤沢町藤沢 *=1.6 宮古市田老 *=1.5 洋野町種市=1.5 大船渡市大船渡町=1.5 紫波町日詰 *=1.5 八幡平市大更=1.5 花巻市石鳥谷町 *=1.5 1 雫石町千刈田=1.4 葛巻町葛巻元木=1.4 花巻市材木町 *=1.4 金ヶ崎町西根 *=1.4 奥州市前沢区 *=1.4 花巻市大迫町=1.3 一関市花泉町 *=1.3 久慈市山形町 *=1.3 奥州市江刺区 *=1.3 岩手山田町八幡町=1.3 釜石市只越町=1.3 北上市柳原町=1.2 葛巻町消防分署 *=1.2 西和賀町沢内川舟 *=1.2 盛岡市玉山区藪川 *=1.2 宮古市茂市 *=1.2 一関市舞川=1.1 奥州市水沢区佐倉河 *=1.1 田野畑村田野畑=1.1 田野畑村役場 *=1.1 葛巻町役場 *=1.0 八幡平市田頭 *=1.0 奥州市水沢区大鐘町=1.0 岩泉町岩泉 *=1.0 大船渡市猪川町=0.9 一関市山目 *=0.9 住田町世田米 *=0.8 一関市川崎町 *=0.7 大船渡市盛町 *=0.7 一関市大東町=0.6 西和賀町川尻 *=0.6 北海道 2 函館市新浜町 *=1.9 様似町栄町 *=1.6 新冠町北星町 *=1.5 函館市泊町 *=1.5 1 函館市日ノ浜町 *=1.2 新ひだか町静内ときわ町=1.1 浦河町潮見=1.1 上ノ国町大留 *=1.0 釧路市音別町直別 *=0.8 知内町重内 *=0.8 浦河町築地 *=0.8 北斗市中央 *=0.7 釧路町別保 *=0.7 根室市落石東 *=0.7 芽室町東2条 *=0.7 鹿追町東町 *=0.6 帯広市東4条=0.6 別海町常盤=0.5 宮城県 2 栗原市金成 *=1.6 石巻市桃生町 *=1.5 涌谷町新町=1.5 1 気仙沼市赤岩=1.3 気仙沼市笹が陣 *=1.3 気仙沼市唐桑町 *=1.3 栗原市栗駒=1.3 栗原市若柳 *=1.3 栗原市志波姫 *=1.3 登米市迫町 *=1.3 登米市米山町 *=1.3 登米市中田町=1.2 登米市南方町 *=1.2 栗原市一迫 *=1.1 大崎市田尻 *=1.1 石巻市前谷地 *=1.1 東松島市矢本 *=1.0 南三陸町志津川=1.0 南三陸町歌津 *=1.0 大崎市鹿島台 *=1.0 石巻市門脇 *=1.0 宮城美里町木間塚 *=0.9 大崎市古川三日町=0.9 大崎市古川北町 *=0.9 大崎市松山 *=0.9 石巻市北上町 *=0.9 栗原市瀬峰 *=0.9 仙台青葉区作並 *=0.9 登米市登米町 *=0.9 栗原市築館 *=0.9 栗原市高清水 *=0.9 岩沼市桜 *=0.8 登米市東和町 *=0.8 栗原市鶯沢 *=0.7 栗原市花山 *=0.7 丸森町鳥屋 *=0.7 名取市増田 *=0.6 石巻市泉町=0.6 宮城美里町北浦 *=0.6 色麻町四竈 *=0.5 秋田県 1 三種町豊岡 *=1.4 鹿角市花輪 *=1.4 大館市中城 *=1.3 北秋田市花園町=1.3 大館市桜町 *=1.1 大館市比内町扇田 *=1.1 大館市早口 *=1.0 秋田小坂町小坂砂森 *=1.0 横手市大雄 *=0.8 大仙市高梨 *=0.8 仙北市田沢湖生保内宮ノ後 *=0.8 大館市比内町味噌内=0.7 藤里町藤琴 *=0.7				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模	
19	6 06 11	山形県 宮城県南部 宮城県	38° 23.4' N	140° 44.5' E	11km	M: 4.3	由利本荘市西目町沼田 * = 0.7 能代市上町 * = 0.6 秋田小坂町小坂鉱山 * = 0.6 横手市中央町 * = 0.6 横手市平鹿町浅舞 * = 0.6 秋田市河辺和田 * = 0.6 大仙市北長野 * = 0.6 秋田美郷町飯詰 * = 0.5 八峰町八森中浜 * = 0.5 仙北市西木町上荒井 * = 0.5 秋田美郷町六郷 * = 0.5 1 酒田市飛鳥 * = 1.1
		山形県 福島県 岩手県 秋田県 新潟県					4 仙台青葉区大倉 = 4.4 3 仙台青葉区作並 * = 3.3 名取市増田 * = 3.3 仙台宮城野区苦竹 * = 3.0 仙台泉区将監 * = 2.9 2 大衡村大衡 * = 2.4 塩竈市旭町 * = 2.3 宮城加美町中新田 * = 2.2 仙台青葉区落合 * = 2.1 利府町利府 * = 2.1 仙台若林区遠見塚 * = 2.0 仙台青葉区雨宮 * = 2.0 岩沼市桜 * = 2.0 宮城川崎町前川 * = 2.0 富谷町富谷 * = 2.0 宮城大和町吉岡 * = 1.9 蔵王町円田 * = 1.9 大郷町粕川 * = 1.8 七ヶ浜町東宮浜 * = 1.8 大崎市三本木 * = 1.8 大崎市田尻 * = 1.7 仙台宮城野区五輪 = 1.7 大崎市古川三日町 = 1.7 色麻町四籠 * = 1.6 宮城松島町松島 = 1.6 大崎市古川北町 * = 1.5 大崎市松山 * = 1.5 宮城美里町北浦 * = 1.5 宮城加美町小野田 * = 1.5 仙台太白区山田 * = 1.5 1 亶理町下小路 * = 1.4 石巻市桃生町 * = 1.2 栗原市瀬峰 * = 1.2 栗原市栗駒 = 1.1 栗原市高清水 * = 1.1 宮城加美町宮崎 * = 1.1 涌谷町新町 = 1.1 山元町浅生原 * = 1.0 大崎市岩出山 * = 1.0 村田町村田 * = 0.9 東松島市矢本 * = 0.9 宮城美里町木間塚 * = 0.9 大崎市鳴子 * = 0.9 大崎市鹿島台 * = 0.9 栗原市築館 * = 0.9 石巻市門脇 * = 0.8 東松島市小野 * = 0.8 南三陸町歌津 * = 0.8 多賀城市中央 * = 0.8 大河原町新南 * = 0.8 石巻市泉町 = 0.8 石巻市相野谷 * = 0.7 柴田町船岡 = 0.6 角田市角田 * = 0.6 登米市南方町 * = 0.6 栗原市花山 * = 0.5 登米市迫町 * = 0.5 栗原市一迫 * = 0.5 2 上山市河崎 * = 1.7 東根市中央 * = 1.7 村山市中央 * = 1.6 大蔵村肘折 * = 1.5 天童市老野森 * = 1.5 山形中山町長崎 * = 1.5 1 尾花沢市若葉町 * = 1.4 山形河北町谷地 = 1.4 山形西川町大井沢 * = 1.4 寒河江市中央 * = 1.3 戸沢村古口 * = 1.2 山形西川町海味 * = 1.2 山形河北町役場 * = 1.2 山形市薬師町 * = 1.0 寒河江市寒河江 * = 1.0 山辺町緑ヶ丘 * = 1.0 大石町緑町 * = 0.9 舟形町舟形 * = 0.9 山形市緑町 = 0.9 真室川町新町 * = 0.8 山形大江町左沢 * = 0.7 新庄市東谷地田町 = 0.7 長井市ままの上 * = 0.6 飯豊町椿 * = 0.5 鶴岡市温海川 = 0.5 白鷹町黒鴨 = 0.5 福島県 2 二本松市油井 * = 1.5 田村市都路町 * = 1.5 1 福島白沢村糠沢 * = 1.4 二本松市針道 * = 1.3 川俣町五百田 * = 1.3 葛尾村落合関下 * = 1.2 田村市船引町 = 0.9 相馬市中村 * = 0.9 二本松市郭内 * = 0.8 二本松市金色 * = 0.8 福島伊達市月籠町 * = 0.8 葛尾村落合落合 * = 0.7 飯館村伊丹沢 * = 0.7 新地町谷地小屋 * = 0.6 福島市桜木町 * = 0.5 岩手県 1 北上市二子町 * = 1.1 一関市室根町 * = 1.0 秋田県 1 由利本荘市石脇 = 0.9 湯沢市横堀 * = 0.9 由利本荘市岩谷町 * = 0.8 由利本荘市鳥海町伏見 * = 0.8 由利本荘市岩城内道川 * = 0.7 羽後町西馬音内 * = 0.5 新潟県 1 新潟山北町寒川 * = 0.7 阿賀町鹿瀬中学校 * = 0.6
20	6 13 16	長野県南部 長野県	35° 55.1' N	137° 38.6' E	5km	M: 2.0	1 木曾町開田高原西野 * = 0.7
21	6 15 17	茨城県南部 茨城県	36° 08.3' N	140° 01.9' E	50km	M: 4.0	3 常陸大宮市上村田 * = 3.2 桜川市真壁 * = 2.8 筑西市海老ヶ島 * = 2.6 石岡市柿岡 = 2.5 2 笠間市下郷 * = 2.4 坂東市馬立 * = 2.4 桜川市羽田 * = 2.4 石岡市八郷 * = 2.3 笠間市中央 * = 2.2 鉾田市当間 * = 2.2 常陸大宮市上小瀬 * = 2.2 坂東市役所 * = 2.2 筑西市門井 * = 2.2 筑西市舟生 = 2.1 下妻市本城町 * = 2.1 城里町阿波山 * = 2.1 水戸市内原町 * = 2.1 笠間市石井 * = 2.0 桜川市岩瀬 * = 2.0 常陸大宮市山方 * = 1.9 土浦市大岩田 = 1.9 つくば市谷田部 * = 1.9 茨城境町旭町 * = 1.8 水戸市金町 = 1.8 常陸大宮市野口 * = 1.8 坂東市山 * = 1.8 土浦市下高津 * = 1.8 茨城八千代町菅谷 * = 1.7 筑西市下中山 * = 1.7 取手市寺田 * = 1.7 坂東市岩井 = 1.7 水戸市千波町 * = 1.6 城里町石塚 * = 1.6 小美玉市上玉里 * = 1.5 かすみがうら市大和田 * = 1.5 かすみがうら市上土田 * = 1.5 ひたちなか市南神敷台 * = 1.5 常陸太田市町屋町 = 1.5 水戸市中央 * = 1.5 小美玉市小川 * = 1.5 1 茨城町小堤 * = 1.4 小美玉市堅倉 * = 1.4 つくば市天王台 * = 1.4 つくば市小笠 * = 1.4 稲敷市江戸崎甲 * = 1.4 茨城鹿嶋市鉢形 = 1.3 五霞町小福田 * = 1.3 日立市助川小学校 * = 1.3 常総市新石下 * = 1.3 古河市仁連 * = 1.3 日立市十王町友部 * = 1.3 古河市下大野 * = 1.2 ひたちなか市東石川 * = 1.2 結城市結城 * = 1.2 下妻市鬼怒 * = 1.2 日立市役所 * = 1.2 大子町池田 * = 1.2 常陸大宮市高部 * = 1.2 美浦村受領 * = 1.2 城里町徳蔵 * = 1.2 守谷市大柏 * = 1.2 常陸太田市大中町 * = 1.2 常総市水海道諏訪町 * = 1.2 土浦市藤沢 * = 1.1 那珂市福田 * = 1.1 つくばみらい市福田 * = 1.1 那珂市瓜連 * = 1.1 稲敷市役所 * = 1.1 稲敷市結佐 * = 1.1 鉾田市造谷 * = 1.1 行方市甲 * = 1.0 牛久市中央 * = 1.0 高萩市安良川 * = 1.0 つくばみらい市加藤 * = 0.9 石岡市石岡 * = 0.9 稲敷市須賀津 * = 0.8 茨城鹿嶋市宮中 * = 0.8 利根町布川 = 0.8 鉾田市鉾田 = 0.8 常陸太田市町田町 * = 0.7 阿見町中央 * = 0.7 行方市麻生 * = 0.7 常陸大宮市中富町 = 0.7 潮来市辻 * = 0.6 鉾田市汲上 * = 0.5 栃木県 3 栃木二宮町石島 * = 2.5 2 栃木市旭町 = 2.4 益子町益子 = 2.3 茂木町小井戸 * = 2.3 鹿沼市晃望台 * = 2.2 宇都宮市明保野町 = 2.1 小山市神鳥谷 * = 2.1 岩舟町静 * = 2.1 大平町富田 * = 2.0 真岡市田町 * = 2.0 真岡市荒町 * = 1.9 下野市石橋 * = 1.9 上河内町中里 * = 1.8 小山市中央町 * = 1.8 茂木町茂木 * = 1.7 栃木藤岡町藤岡 * = 1.6 鹿沼市今宮町 * = 1.6 下野市小金井 * = 1.5 西方町本城 * = 1.5 野木町丸林 * = 1.5 1 宇都宮市旭 * = 1.3 足利市名草上町 = 1.3 足利市大正町 * = 1.3 栃木市入舟町 * = 1.3 高根沢町石末 * = 1.3 鹿沼市口栗野 * = 1.2 下野市田中 * = 1.2 上三川町しらさぎ * = 1.1 栃木河内町白沢 * = 1.1 市貝町市塙 * = 1.1 日光市鬼怒川温泉大原 * = 1.1 日光市足尾町松原 * = 1.1 宇都宮市埴田 * = 1.1 佐野市中町 * = 1.1 佐野市田沼町 * = 1.1 佐野市葛生東 * = 1.1 大田原市湯津上 * = 1.0 壬生町通町 * = 1.0

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		日光市中鉢石町 * =1.0 栃木那珂川町馬頭 * =1.0 日光市今市本町 * =0.9 日光市中宮祠=0.9 都賀町家中 * =0.9 塩谷町玉生 * =0.9 那須烏山市中央=0.9 日光市足尾町中才 * =0.9 日光市日蔭 * =0.8 芳賀町祖母井 * =0.8 佐野市高砂町 * =0.8 日光市瀬川=0.7 那須烏山市大金 * =0.6 日光市藤原 * =0.6 栃木那珂川町小川 * =0.5 栃木さくら市喜連川 * =0.5 群馬県 2 館林市美園町 * =1.9 邑楽町中野 * =1.7 1 館林市城町 * =1.1 群馬板倉町板倉=1.1 沼田市利根町 * =1.0 片品村鎌田 * =1.0 群馬明和町新里 * =1.0 桐生市元宿町 * =0.9 桐生市新里町 * =0.8 桐生市黒保根町 * =0.8 太田市西本町 * =0.8 沼田市西倉内町=0.7 群馬千代田町赤岩 * =0.7 片品村東小川=0.6 みどり市大間々町 * =0.5 みなかみ町鹿野沢 * =0.5 埼玉県 2 春日部市金崎 * =1.8 東松山市松葉町 * =1.7 大利根町北下新井 * =1.7 久喜市下早見=1.6 滑川町福田 * =1.6 川越市新宿町 * =1.6 栗橋町間鎌 * =1.5 1 春日部市中央 * =1.4 上尾市本町 * =1.3 桶川市泉 * =1.3 さいたま岩槻区本町 * =1.3 東松山市市ノ川 * =1.2 久喜市青葉 * =1.2 草加市高砂 * =1.2 行田市本丸 * =1.1 羽生市東 * =1.1 さいたま浦和区高砂=1.0 鴻巣市中央 * =1.0 春日部市谷原新田 * =0.9 越生町越生 * =0.9 熊谷市桜町=0.9 熊谷市大里 * =0.9 嵐山町杉山 * =0.9 加須市下三俣 * =0.8 川越市旭町=0.8 北本市本町 * =0.8 吉川市吉川 * =0.7 長瀬町野上下郷 * =0.7 吉見町下細谷 * =0.7 熊谷市宮町 * =0.7 埼玉美里町木部 * =0.6 埼玉川島町平沼 * =0.6 戸田市上戸田 * =0.5 福島県 1 平田村永田 * =1.3 浅川町浅川 * =0.9 福島玉川村小高 * =0.8 矢祭町東館館本 * =0.8 棚倉町棚倉中居野=0.7 泉崎村泉崎 * =0.7 白河市新白河 * =0.6 田村市都路町 * =0.5 千葉県 1 成田市花崎町=1.4 柏市旭町=1.4 成田市中台 * =1.2 香取市佐原下川岸=1.1 野田市鶴奉 * =1.1 野田市東宝珠花 * =1.1 千葉栄町安食台 * =1.0 芝山町小池 * =0.9 香取市佐原諏訪台 * =0.9 香取市役所 * =0.8 佐倉市海隣寺町 * =0.8 我孫子市我孫子 * =0.8 鎌ヶ谷市初富 * =0.8 柏市大島田 * =0.7 印西市大森 * =0.7 千葉酒々井町中央台 * =0.7 印旛村瀬戸 * =0.7 香取市仁良 * =0.6 成田市役所 * =0.5 成田市松子 * =0.5 東京都 1 東京新宿区上落合 * =0.9 東京足立区神明南 * =0.9 東京江戸川区中央=0.9 東京葛飾区立石 * =0.8 武蔵野市吉祥寺東町 * =0.8 東京千代田区大手町=0.7 東京中野区江古田 * =0.7 東京杉並区桃井 * =0.7 三鷹市野崎 * =0.7 東京足立区千住 * =0.6 東京足立区伊興 * =0.6 東京葛飾区金町 * =0.6 東京新宿区百人町 * =0.5 東京江東区枝川 * =0.5 神奈川県 1 川崎川崎区宮前町 * =0.8				
22	6 19 20	根室半島南東沖 北海道 2 根室市落石東 * =1.5 1 根室市瑤瑤瑠 * =1.2 根室市牧の内 * =0.7	43° 08.6' N	145° 50.2' E	45km	M: 3.6
23	7 08 07	岩手県沖 岩手県 1 洋野町大野 * =0.5	40° 09.1' N	142° 29.2' E	34km	M: 3.7
24	7 09 12	和歌山県北部 和歌山県 1 海南市下津 * =0.7	34° 08.9' N	135° 12.3' E	4km	M: 2.2
25	7 13 15	東京湾 千葉県 1 市原市姉崎 * =0.9	35° 31.2' N	139° 56.8' E	25km	M: 2.7
26	7 20 15	根室半島南東沖 北海道 1 根室市落石東 * =1.0 根室市瑤瑤瑠 * =0.9	43° 16.6' N	146° 48.7' E	63km	M: 4.6
27	7 22 51	和歌山県北部 和歌山県 1 紀の川市西大井 * =0.6 かつらぎ町丁ノ町 * =0.5 紀の川市桃山町元 * =0.5	34° 14.7' N	135° 23.9' E	8km	M: 2.3
28	8 04 17	岩手県沖 岩手県 1 洋野町大野 * =0.9 普代村銅屋 * =0.6 八幡平市田頭 * =0.6	40° 08.7' N	142° 26.4' E	35km	M: 3.9
29	8 14 02	青森県東方沖 北海道 1 函館市泊町 * =1.2 千歳市若草 * =0.5 青森県 1 階上町道仏 * =1.4 野辺地町田狭沢 * =1.3 東通村砂子又 * =1.3 青森南部町平 * =1.1 東通村小田野沢 * =0.9 八戸市内丸 * =0.6 野辺地町野辺地 * =0.6 八戸市湊町=0.5 五戸町古館=0.5 平内町小湊=0.5 岩手県 1 洋野町大野 * =1.0 軽米町軽米 * =0.7	41° 31.3' N	142° 07.4' E	56km	M: 4.2
30	9 04 14	千葉県南部 千葉県 1 大多喜町大多喜 * =0.9	35° 17.7' N	140° 16.2' E	18km	M: 2.6
31	9 09 06	東京湾 千葉県 3 市原市姉崎 * =2.5 1 茂原市道表 * =1.4 東金市日吉台 * =1.4 東金市東岩崎 * =1.3 大網白里町大網 * =1.3 長柄町大津倉=1.3 成田市花崎町=1.3 木更津市潮見=1.2 木更津市貝淵 * =1.2 千葉栄町安食台 * =1.2 東金市東新宿=1.1 木更津市役所 * =1.1 成田市中台 * =1.0 君津市久留里市場 * =1.0 佐倉市海隣寺町 * =1.0 白子町関 * =1.0 千葉酒々井町中央台 * =0.9 長南町長南 * =0.9 印西市大森 * =0.9 山武市殿台 * =0.8	35° 30.9' N	139° 56.8' E	24km	M: 4.2

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		いすみ市国府台 *=0.8 四街道市鹿渡 *=0.7 八街市八街 *=0.7 多古町多古=0.7 千葉中央区中央港=0.7 芝山町小池 *=0.7 市原市国分寺台中央 *=0.6 香取市佐原諏訪台 *=0.5 茨城県 2 つくば市谷田部 *=1.6 つくば市小茎 *=1.5 1 取手市寺田 *=1.4 稲敷市江戸崎甲 *=1.3 土浦市下高津 *=1.3 茨城鹿嶋市鉢形=1.0 坂東市岩井=1.0 牛久市中央 *=0.9 石岡市柿岡=0.9 石岡市八郷 *=0.9 土浦市藤沢 *=0.9 稲敷市柴崎 *=0.9 鉾田市当間 *=0.9 筑西市舟生=0.8 かすみがうら市上土田 *=0.7 つくば市天王台 *=0.7 常陸大宮市上村田 *=0.7 利根町布川=0.6 坂東市役所 *=0.6 埼玉県 1 草加市高砂 *=1.4 春日部市谷原新田 *=1.1 久喜市下早見=0.8 東京都 1 東京江戸川区中央=1.3 東京足立区神明南 *=1.1 東京足立区伊興 *=0.9 東京江戸川区船堀 *=0.9 東京千代田区大手町=0.8 東京江東区枝川 *=0.7 東京文京区本郷 *=0.6 東京足立区千住 *=0.5 神奈川県 1 横浜緑区白山町 *=1.0 横浜磯子区洋光台 *=0.6				
32	9 17 48	新島・神津島近海 東京都 4 新島村式根島=4.3 3 新島村本村 *=3.1 神津島村役場 *=2.5 2 利島村=2.3 神津島村金長=1.9 静岡県 1 伊豆大島町元町=0.8 伊豆大島町差木地=0.7 伊豆大島町岡田 *=0.5 2 牧之原市静波 *=1.5 1 牧之原市相良 *=1.1 東伊豆町奈良本 *=1.0 河津町田中 *=1.0 下田市東本郷 *=1.0 南伊豆町下賀茂 *=0.9 西伊豆町仁科 *=0.7 沼津市戸田 *=0.7 焼津市東小川 *=0.7 下田市中 *=0.5 西伊豆町宇久須 *=0.5	34° 21.1' N	139° 09.3' E	11km	M: 4.8
33	9 17 49	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.8	34° 21.2' N	139° 09.7' E	11km	M: 3.0
34	9 17 50	新島・神津島近海 東京都 3 新島村式根島=2.7 1 神津島村役場 *=0.7	34° 19.6' N	139° 09.7' E	10km	M: 2.7
35	9 17 51	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=1.6	34° 19.8' N	139° 10.0' E	2km	M: 2.2
36	9 17 52	新島・神津島近海 東京都 3 新島村式根島=2.6 1 神津島村役場 *=1.0 神津島村金長=0.6	34° 20.6' N	139° 09.7' E	10km	M: 2.5
37	9 17 53	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=1.4	34° 21.5' N	139° 07.8' E	0km	M: 2.4
38	9 17 55	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=2.2	34° 20.0' N	139° 09.2' E	8km	M: 2.5
39	9 17 56	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=1.4	34° 20.4' N	139° 10.6' E	3km	M: 2.0
40	9 17 56	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=1.4	34° 22.1' N	139° 08.5' E	0km	M: 1.9
41	9 18 01	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=1.2	34° 20.1' N	139° 09.9' E	2km	M: 1.6
42	9 18 11	新島・神津島近海 東京都 4 新島村式根島=4.1 2 神津島村役場 *=2.2 新島村本村 *=1.9 1 神津島村金長=1.4	34° 19.8' N	139° 10.2' E	6km	M: 3.0
43	9 18 16	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=2.0	34° 20.5' N	139° 09.0' E	7km	M: 2.4
44	9 19 08	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=1.2 新島村本村 *=0.6	34° 21.7' N	139° 09.5' E	8km	M: 2.3
45	9 21 43	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.6	34° 18.5' N	139° 11.2' E	3km	M: 1.9
46	9 22 30	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=1.5	34° 18.9' N	139° 10.3' E	8km	M: 1.7

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
47	10 04 06	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=1.5 1 新島村本村 *=0.7	34° 21.6' N	139° 10.1' E	8km	M: 2.4
48	10 05 23	青森県三八上北地方 青森県 1 八戸市内丸 *=0.5 岩手県 1 洋野町大野 *=1.0	40° 28.4' N	141° 27.0' E	82km	M: 3.2
49	10 05 36	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=1.0	34° 20.8' N	139° 09.6' E	6km	M: 1.9
50	10 08 40	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.8	34° 18.5' N	139° 10.5' E	5km	M: 1.9
51	10 09 04	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.8	34° 17.6' N	139° 10.3' E	7km	M: 2.4
52	10 17 52	与那国島近海 沖縄県 1 竹富町西表東祖納 *=1.0	24° 05.5' N	123° 22.2' E	25km	M: 4.3
53	10 19 26	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=1.4	34° 18.6' N	139° 10.5' E	5km	M: 2.0
54	10 19 49	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=1.0	34° 18.4' N	139° 10.3' E	5km	M: 1.7
55	11 03 09	山口県西部 山口県 3 秋芳町秋吉 *=2.7 下関市豊浦町川棚=2.6 山口市秋穂二島 *=2.5 下関市菊川町田部 *=2.5 宇部市船木 *=2.5 2 美祢市大嶺町 *=2.4 山口市周布=2.4 下関市豊浦町浄水場 *=2.4 山口市亀山町 *=2.3 下関市清木陣屋 *=2.2 宇部市常盤町 *=2.1 山陽小野田市鴨庄 *=2.1 美東町大田 *=2.1 宇部市野中=1.9 萩市川上 *=1.9 下関市竹崎=1.8 長門市三隅 *=1.8 山口市小郡下郷 *=1.8 山口市阿知須 *=1.8 下関市豊田町一ノ俣=1.5 防府市西浦 *=1.5 萩市明木 *=1.5 1 萩市土原=1.4 山口市秋穂東 *=1.4 宇部市東須恵 *=1.4 山陽小野田市日の出 *=1.4 萩市下田万 *=1.3 萩市福井 *=1.3 下関市豊田町殿敷 *=1.2 下関市豊北町角島 *=1.2 萩市江向 *=1.2 阿東町生雲 *=1.2 上関町長島 *=1.2 田布施町下田布施 2 *=1.1 阿東町徳佐 *=1.1 山口市徳地堀 *=1.1 阿武町奈古 *=1.1 防府市寿=1.1 田布施町下田布施=0.8 周南市富田 *=0.8 下関市役所 *=0.7 岩国市美川町高ヶ原 *=0.6 岩国市由宇町 *=0.6 下関市豊北町滝部 *=0.6 平生町平生 *=0.6 周防大島町小松 *=0.6 周防大島町西安下庄 *=0.5 光市中央 *=0.5 福岡県 2 苅田町若久=2.2 北九州門司区大里 *=2.1 行橋市中央 *=2.1 みやこ町勝山上田 *=2.1 福智町弁城 *=2.1 飯塚市勢田 *=2.0 小竹町勝野 *=2.0 福岡川崎町田原 *=2.0 飯塚市川島=2.0 苅田町京町 *=1.9 飯塚市綱分 *=1.9 みやこ町豊津 *=1.8 築上町椎田 *=1.7 嘉麻市上山田 *=1.7 赤村内田 *=1.7 香春町高野 *=1.6 北九州戸畑区千防 *=1.6 北九州八幡東区春の町 *=1.6 大任町大行事 *=1.5 北九州八幡西区相生町 *=1.5 筑前町下高場=1.5 鞍手町中山 *=1.5 春日市原町 *=1.5 1 北九州小倉南区若園 *=1.4 北九州八幡東区桃園=1.4 直方市新町 *=1.4 飯塚市新立岩 *=1.4 添田町添田 *=1.4 みやこ町犀川本庄 *=1.3 糸田町役場 *=1.3 築上町築城 *=1.2 飯塚市忠隈 *=1.2 嘉麻市大隈町 *=1.2 朝倉市杷木池田 *=1.2 上毛町垂水 *=1.2 飯塚市長尾 *=1.1 吉富町広津 *=1.1 福智町上野=1.1 東峰村小石原 *=1.1 筑紫野市二日市西 *=1.1 北九州小倉北区大手町 *=1.0 田川市中央町 *=1.0 桂川町土居 *=1.0 筑前町篠隈 *=1.0 上毛町東下 *=1.0 朝倉市菩提寺 *=1.0 小郡市小郡 *=0.9 福智町金田 *=0.9 朝倉市宮野 *=0.9 久留米市津福本町=0.9 中間市中間 *=0.8 大刀洗町富多 *=0.8 黒木町今 *=0.8 嘉麻市岩崎 *=0.8 嘉麻市上臼井 *=0.8 東峰村宝珠山 *=0.8 北九州若松区桜町 *=0.7 筑前町新町 *=0.7 宮若市宮田 *=0.7 豊前市吉木 *=0.6 久留米市北野町 *=0.6 久留米市田主丸町 *=0.6 福岡志摩町初=0.5 福智町赤池 *=0.5 福岡広川町新代 *=0.5 うきは市浮羽町 *=0.5 大野城市曙町 *=0.5 福岡新宮町緑ヶ浜 *=0.5 福岡古賀市駅東 *=0.5 宮若市福丸 *=0.5 大分県 2 中津市三光 *=1.8 中津市豊田町 *=1.6 1 中津市耶馬溪町 *=1.4 杵築市南杵築 *=1.2 中津市上宮永=1.1 豊後高田市御玉 *=1.1 日田市三本松=0.8 中津市植野 *=0.7 国東市国見町西方寺=0.7 国東市鶴川=0.7 国東市田深 *=0.7 島根県 1 吉賀町柿木村柿木 *=1.2 益田市常盤町 *=1.1 浜田市三隅町三隅 *=0.7 広島県 1 広島佐伯区湯来町運動広場 *=0.7 呉市倉橋町支所 *=0.7 安芸太田町戸内 *=0.6 廿日市市津田 *=0.5 佐賀県 1 基山町宮浦 *=1.3	34° 01.5' N	131° 10.0' E	16km	M: 4.0
56	11 04 51	新潟県中越地方 新潟県 2 燕市秋葉町 *=1.7 三条市新堀 *=1.6 1 三条市西裏館 *=0.9	37° 37.5' N	138° 55.6' E	16km	M: 2.7

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
57	11 15 47	青森県東方沖 青森県 2 青森南部町平*≈2.2 東通村小田野沢*≈1.8 五戸町古館=1.6 1 八戸市南郷区*≈1.4 野辺地町田狭沢*≈1.3 野辺地町野辺地*≈1.3 階上町道仏*≈1.2 平内町東田沢*≈1.2 青森南部町苔米地*≈1.1 六戸町犬落瀬*≈1.1 おいらせ町中下田*≈1.1 東通村砂子又*≈1.0 青森南部町沖田面*≈1.0 五戸町倉石中市*≈1.0 東北町上北南*≈0.9 七戸町森ノ上*≈0.9 東北町塔ノ沢山*≈0.9 おいらせ町上明堂*≈0.8 八戸市湊町=0.8 三沢市桜町*≈0.8 平内町小湊=0.8 十和田市奥瀬*≈0.7 佐井村長後*≈0.7 七戸町七戸*≈0.7 外ヶ浜町蟹田*≈0.6 むつ市川内町*≈0.6 横浜町林ノ脇*≈0.6 八戸市島守=0.6 むつ市脇野沢*≈0.5 十和田市西十二番町*≈0.5 むつ市金曲=0.5 田子町田子*≈0.5 2 軽米町軽米*≈1.7 洋野町大野*≈1.6 八幡平市田頭*≈1.6 盛岡市玉山区藪川*≈1.5 1 二戸市福岡=1.4 二戸市石切所*≈1.2 二戸市浄法寺町*≈1.2 八幡平市野駄*≈1.2 岩手町五日市*≈1.1 盛岡市玉山区洪民*≈1.1 普代村銅屋*≈1.0 北上市二子町*≈1.0 八幡平市吹田*≈0.9 川井村田代*≈0.7 葛巻町葛巻元木=0.7 盛岡市山王町=0.7 盛岡市馬場町*≈0.5 八幡平市大更=0.5 久慈市川崎町=0.5 北海道 1 函館市泊町*≈1.3	40°38.0' N	142°40.5' E	31km	M: 4.5
58	11 16 18	岐阜県美濃中西部 岐阜県 1 郡上市八幡町旭*≈1.4 岐阜山県市谷合*≈1.2 郡上市八幡町島谷=1.2 関市洞戸市場*≈1.2 関市板取*≈1.0 揖斐川町東杉原*≈0.7 富加町滝田*≈0.7 郡上市大和町*≈0.6 岐阜川辺町中川辺*≈0.5 美濃加茂市太田町=0.5	35°45.7' N	136°51.8' E	8km	M: 3.3
59	11 18 37	青森県東方沖 青森県 1 青森南部町平*≈1.4 八戸市内丸*≈0.5 岩手県 1 洋野町大野*≈1.1	40°30.7' N	142°01.6' E	41km	M: 3.6
60	12 08 47	鹿島灘 栃木県 1 茂木町小井戸*≈0.6	36°14.8' N	140°50.8' E	46km	M: 3.2
61	13 18 41	徳島県北部 徳島県 1 美馬市木屋平*≈1.4	33°54.5' N	134°14.4' E	8km	M: 2.1
62	13 18 57	伊豆半島東方沖 静岡県 1 熱海市網代=0.8	35°04.0' N	139°08.8' E	0km	M: 2.0
63	13 22 21	奄美大島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村悪石島*≈2.0 鹿児島十島村中之島=1.6 1 奄美市名瀬港町=0.7	29°34.6' N	130°08.9' E	26km	M: 4.5
64	13 22 55	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.7	34°21.5' N	139°08.0' E	0km	M: 1.9
65	14 13 39	新潟県中越地方 新潟県 1 柏崎市高柳町岡野町*≈1.3 上越市大島区岡*≈0.8	37°14.3' N	138°34.4' E	9km	M: 2.8
66	14 17 17	留萌支庁中北部 北海道 1 幌延町宮園町*≈0.6	44°55.9' N	141°48.5' E	11km	M: 2.6
67	15 03 46	浦河沖 北海道 1 浦河町築地*≈0.6	41°54.0' N	142°56.9' E	44km	M: 3.3
68	16 04 05	大阪府南部 和歌山県 1 和歌山市一番丁*≈0.7	34°15.8' N	135°13.7' E	7km	M: 2.3
69	16 05 58	福島県沖 福島県 1 白河市新白河*≈0.6	37°00.4' N	141°45.6' E	50km	M: 3.9
70	16 15 37	瀬戸内海中部 高知県 1 土佐町土居*≈1.0	34°00.7' N	133°23.1' E	16km	M: 3.0
71	16 16 39	愛知県西部 愛知県 2 知多市緑町*≈2.0 豊田市小渡町*≈1.8 豊田市足助町*≈1.6 豊田市大沼町*≈1.6 名古屋瑞穂区塩入町*≈1.6 常滑市新開町=1.6 刈谷市寿町*≈1.6 豊橋市向山=1.5 名古屋中区泉庁*≈1.5 豊田市小原町*≈1.5 名古屋昭和区阿由知通*≈1.5 知多市八幡*≈1.5 1 名古屋西区八筋町*≈1.3 豊田市大洞町=1.3 大府市中央町*≈1.3 長久手町岩作*≈1.3 愛知東浦町緒川*≈1.3 愛知三好町三好*≈1.3 稲沢市平和町*≈1.2 新城市作手高里*≈1.2 知立市弘法町*≈1.2 名古屋緑区有松町*≈1.2 名古屋名東区名東本町*≈1.2 南知多町豊浜=1.2 愛知美浜町河和*≈1.2 一宮市緑*≈1.2 名古屋千種区日和町=1.2 田原市福江町=1.1 一宮市木曾川町*≈1.1 愛西市石田町*≈1.1 名古屋守山区下志段味*≈1.1 高浜市稗田町*≈1.1	34°54.9' N	137°07.5' E	35km	M: 4.0

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		愛知東郷町春木 * =1.1 名古屋北区萩野通 * =1.0 安城市横山町 * =1.0 田原市赤羽根町 * =1.0 一宮市西五城 * =0.9 日進市蟹甲町 * =0.9 豊田市小坂町 * =0.9 尾張旭市東大道町 * =0.9 豊田市藤岡飯野町 * =0.8 清須市清洲 * =0.8 豊田市小坂本町 * =0.7 一色町一色 * =0.7 小坂井町小坂井 * =0.7 豊明市沓掛町 * =0.6 愛知御津津西方 * =0.6 豊山町豊場 * =0.6 阿久比町卯坂 * =0.6 半田市東洋町 * =0.6 吉良町荻原 * =0.6 清須市西枇杷島町花咲 * =0.6 名古屋中区市役所 * =0.6 蒲郡市御幸町 * =0.6 岡崎市伝馬通 * =0.6 豊橋市東松山町 * =0.5 安城市和泉町 * =0.5 音羽町赤坂 * =0.5 江南市赤童子町 * =0.5 東海市中央町 * =0.5 福井県 1 越前町江波 * =0.6 敦賀市松栄町 * =0.5 長野県 1 王滝村鈴ヶ沢 * =1.0 天龍村天龍小学校 * =0.8 岐阜県 1 土岐市肥田 * =1.1 岐阜大野町大野 * =1.1 本巢市下真桑 * =1.1 恵那市上矢作町 * =1.1 土岐市泉町 * =1.0 岐南町八剣 * =0.9 岐阜池田町六之井 * =0.9 岐阜市加納二之丸 * =0.8 中津川市福岡 * =0.8 輪之内町四郷 * =0.8 郡上市八幡町旭 * =0.7 瑞浪市上平町 * =0.7 神戸町神戸 * =0.7 恵那市明智町 * =0.7 多治見市笠原町 * =0.7 岐阜市京町 * =0.7 大垣市丸の内 * =0.7 恵那市山岡町 * =0.6 恵那市串原 * =0.6 中津川市本町 * =0.6 揖斐川町東杉原 * =0.6 中津川市坂下 * =0.6 中津川市川上 * =0.6 瑞穂市別府 * =0.6 各務原市川島河田町 * =0.5 八百津町八百津 * =0.5 揖斐川町春日 * =0.5 海津市平田町 * =0.5 静岡県 1 浜松市佐久間町 * =1.3 湖西市吉美 * =1.0 浜松市雄踏町 * =1.0 新居町浜名 * =0.8 浜松市三ヶ日町 * =0.7 浜松市細江町 * =0.7 浜松市舞阪町 * =0.6 三重県 1 鈴鹿市西条 * =1.3 いなべ市員弁町笠田新田 * =1.2 伊勢市橋部町 * =1.2 亀山市西丸町 * =1.2 四日市市諏訪町 * =1.1 東員町山田 * =1.1 いなべ市大安町大井田 * =0.8 いなべ市藤原町市場 * =0.8 伊勢市二見町江 * =0.8 伊勢市御園長屋 * =0.8 亀山市本丸町 * =0.8 四日市市新浜町 * =0.8 いなべ市北勢町阿下喜 * =0.7 津市芸濃町棕本 * =0.7 三重多気町相可 * =0.7 四日市市日永 * =0.7 四日市市橋町北五味塚 * =0.7 木曾岬町西対海地 * =0.6 津市香良洲町 * =0.6 伊勢市小俣町元町 * =0.6 松阪市高町 * =0.6 桑名市長島町松ヶ島 * =0.6 三重明和町馬之上 * =0.5 伊勢市岩淵 * =0.5 菰野町潤田 * =0.5 滋賀県 1 彦根市西今町 * =1.1 東近江市君ヶ畑町 * =1.0 東近江市市子川原町 * =1.0 高島市勝野 * =0.9 東近江市上二俣町 * =0.8 滋賀日野町河原 * =0.7 東近江市下中野町 * =0.7 彦根市城町 * =0.6 高島市今津町日置前 * =0.6 米原市顔戸 * =0.6 滋賀竜王町小口 * =0.6 東近江市跡光寺町 * =0.6 滋賀豊郷町石畑 * =0.5 愛荘町愛知川 * =0.5 近江八幡市桜宮町 * =0.5 近江八幡市出町 * =0.5 東近江市山上町 * =0.5				
72	16 16 52	山梨県東部 神奈川県 山梨県 静岡県	35° 31.6' N	138° 58.9' E	20km	M: 3.3
		2 神奈川山北町山北 * =1.5 1 秦野市首屋 * =0.9 秦野市平沢 * =0.6 2 大月市御太刀 * =1.8 1 西桂町小沼 * =1.1 富士河口湖町船津 * =1.1 大月市役所 * =1.0 富士河口湖町長浜 * =0.9 都留市上谷 * =0.7 道志村役場 * =0.7 笛吹市八代町南 * =0.6 富士吉田市下吉田 * =0.5 甲州市大和町初鹿野 * =0.5 上野原市上野原 * =0.5 静岡県 1 小山町藤曲 * =0.8				
73	16 16 55	山梨県東部 山梨県	35° 31.6' N	138° 58.9' E	20km	M: 2.7
		1 富士河口湖町船津 * =0.8 大月市御太刀 * =0.5				
74	17 05 01	十勝支庁中部 北海道 青森県	42° 40.2' N	143° 29.8' E	86km	M: 4.0
		3 釧路市音別町直別 * =2.6 2 浦幌町桜町 * =2.0 豊頃町茂岩本町 * =1.9 本別町向陽町 * =1.8 十勝池田町西 1 条 * =1.8 大樹町生花 * =1.7 1 本別町北 2 丁目 * =1.3 帯広市東 6 条 * =1.1 足寄町南 1 条 * =1.1 幕別町忠類錦町 * =1.0 えりも町目黒 * =1.0 幕別町本町 * =0.8 新得町 2 条 * =0.7 芽室町東 2 条 * =0.7 広尾町並木通 * =0.7 釧路市音別町尺別 * =0.7 釧路市阿寒町中央 * =0.7 白糠町西 1 条 * =0.7 根室市厚床 * =0.7 鹿追町東町 * =0.7 帯広市東 4 条 * =0.6 更別村更別 * =0.6 標茶町塘路 * =0.5 土幌町土幌 * =0.5 弟子屈町美里 * =0.5 新冠町北星町 * =0.5 浦河町築地 * =0.5 1 東通村小田野沢 * =0.9 東通村砂子又 * =0.6				
75	17 08 25	福島県沖 福島県 宮城県 栃木県	37° 19.9' N	141° 45.0' E	42km	M: 4.3
		2 葛尾村落合閣下 * =1.8 浪江町幾世橋 * =1.6 川内村下川内 * =1.5 1 田村市都路町 * =1.3 楢葉町北田 * =1.3 川内村上川内早渡 * =1.3 福島伊達市月館町 * =1.1 富岡町本岡 * =1.1 川内村上川内小山平 * =1.1 いわき市平四ツ波 * =1.1 南相馬市小高区 * =1.1 白河市新白河 * =1.0 広野町下北迫大谷地原 * =1.0 田村市大越町 * =0.9 大熊町下野上 * =0.9 南相馬市原町区高見町 * =0.9 田村市常葉町 * =0.9 田村市滝根町 * =0.9 葛尾村落合閣下 * =0.8 飯館村伊丹沢 * =0.8 川俣町五百田 * =0.8 福島本宮町万世 * =0.8 福島白沢村糠沢 * =0.7 大熊町野上 * =0.7 田村市船引町 * =0.7 小野町小野新町 * =0.6 二本松市油井 * =0.6 二本松市針道 * =0.6 南相馬市原町区三島町 * =0.5 福島伊達市梁川町 * =0.5 新地町谷地小屋 * =0.5 宮城県 1 岩沼市桜 * =1.0 亘理町下小路 * =0.9 石巻市桃生町 * =0.8 角田市角田 * =0.7 宮城川崎町前川 * =0.6 山元町浅生原 * =0.5 栃木県 1 茂木町小井戸 * =1.1				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
76	17 17 34	新潟県中越地方 新潟県 2 小千谷市土川 * =1.6 長岡市小国町法坂 * =1.5 1 川口町川口 * =1.1 魚沼市堀之内 * =1.1 小千谷市内=1.0 十日町市水口沢 * =0.9 出雲崎町米田=0.5	37° 10.4' N	138° 48.8' E	8km	M: 3.2
77	17 20 29	西表島付近 沖縄県 1 竹富町西表東祖納 * =0.9	23° 57.8' N	123° 34.7' E	32km	M: 4.0
78	17 20 32	西表島付近 沖縄県 1 竹富町西表東祖納 * =0.9	23° 57.5' N	123° 34.7' E	32km	M: 4.1
79	18 20 19	紀伊水道 和歌山県 1 湯浅町湯浅 * =1.0 有田市初島町 * =0.9 和歌山広川町広 * =0.8 有田市箕島=0.6	34° 03.1' N	135° 07.0' E	6km	M: 2.5
80	19 03 49	秋田県沖 秋田県 1 能代市上町 * =0.6 能代市追分町 * =0.5	40° 23.5' N	139° 24.1' E	17km	M: 3.9
81	19 22 35	茨城県北部 茨城県 1 常陸大宮市上村田 * =1.3 鉾田市当間 * =1.2 日立市助川小学校 * =0.9 ひたちなか市南神敷台 * =0.8 城里町阿波山 * =0.7 稲敷市江戸崎甲 * =0.7 桜川市岩瀬 * =0.7 栃木県 1 足利市名草上町=0.8 茂木町小井戸 * =0.8 宇都宮市明保野町=0.7 群馬県 1 桐生市元宿町 * =0.6 桐生市黒保根町 * =0.5	36° 21.1' N	140° 33.9' E	63km	M: 3.5
82	20 01 58	奄美大島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島=0.6	29° 34.3' N	130° 07.1' E	28km	M: 3.4
83	20 10 20	十勝沖 北海道 2 釧路市音別町直別 * =2.3 浦幌町桜町 * =1.6 本別町向陽町 * =1.6 十勝池田町西 1 条 * =1.5 1 豊頃町茂岩本町 * =1.3 大樹町生花 * =1.3 本別町北 2 丁目=1.2 根室市厚床 * =1.2 標茶町塘路 * =1.0 弟子屈町美里=0.7 弟子屈町弟子屈 * =0.7 釧路市音別町尺別=0.7 幕別町本町 * =0.7 足寄町南 1 条 * =0.7 白糠町西 1 条 * =0.6 北見市留辺蘂町栄町 * =0.6 新得町 2 条 * =0.5 幕別町忠類錦町 * =0.5 鹿追町東町 * =0.5 釧路市阿寒町中央 * =0.5 釧路町別保 * =0.5 帯広市東 4 条=0.5 更別村更別 * =0.5 帯広市東 6 条 * =0.5	42° 34.2' N	143° 34.4' E	95km	M: 3.9
84	20 22 40	岩手県内陸南部 岩手県 1 遠野市宮守町 * =1.0 一関市室根町 * =0.8 北上市二子町 * =0.7 洋野町大野 * =0.7 一関市千厩町 * =0.6 陸前高田市高田町 * =0.5 宮城県 1 南三陸町歌津 * =1.0 気仙沼市赤岩=0.5	39° 24.0' N	141° 13.1' E	120km	M: 3.7
85	20 23 17	新潟県上越地方 新潟県 1 十日町市松代 * =0.7	37° 05.2' N	138° 37.8' E	11km	M: 1.7
86	21 02 31	京都府南部 京都府 1 福知山市三和町千束 * =1.0 兵庫県 1 丹波市市島町 * =0.6	35° 14.0' N	135° 16.5' E	9km	M: 2.6
87	21 09 17	熊本県熊本地方 熊本県 2 菊陽町久保田 * =1.8 菊池市旭志 * =1.6 大津町大津 * =1.6 熊本市京町(旧)=1.6 合志市竹迫 * =1.5 1 益城町宮園 * =1.4 南阿蘇村河陰 * =1.3 西原村小森 * =1.2 阿蘇市内牧 * =1.2 御船町御船 * =1.1 南阿蘇村吉田 * =1.1 植木町岩野 * =1.0 宇城市豊野町 * =1.0 熊本山都町今 * =1.0 南阿蘇村中松=0.9 合志市御代志 * =0.9 宇城市松橋町=0.7 玉名市横島町 * =0.6 人吉市城本町=0.5	32° 49.4' N	130° 55.7' E	12km	M: 3.4
88	22 12 13	茨城県沖 千葉県 1 銚子市若宮町 * =0.7	35° 42.2' N	140° 52.2' E	29km	M: 3.0
89	22 12 51	十勝沖 北海道 1 釧路市音別町直別 * =0.7	42° 43.6' N	143° 47.5' E	106km	M: 3.4
90	22 20 52	兵庫県南東部 兵庫県 1 加古川市志方町 * =0.9	34° 45.5' N	134° 54.0' E	10km	M: 2.7
91	22 21 57	山梨県東部 山梨県 1 富士河口湖町船津=0.7	35° 28.5' N	138° 58.9' E	23km	M: 2.5
92	23 05 56	大分県西部 熊本県 1 阿蘇市内牧 * =0.8 産山村山鹿 * =0.7	33° 06.1' N	131° 02.1' E	14km	M: 2.9
93	23 08 01	紀伊水道 和歌山県 1 日高川町土生 * =1.4 湯浅町湯浅 * =1.2 由良町里 * =0.9 海南市下津 * =0.8 有田市初島町 * =0.8	33° 44.2' N	135° 06.4' E	43km	M: 3.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		御坊市園=0.8 和歌山広川町広*=0.6 和歌山日高町高家*=0.5 和歌山白浜町日置*=0.5 徳島県 1 美波町西の地*=0.5				
94	23 19 17	伊勢湾 三重県 1 鈴鹿市西条=0.9	34° 50.3' N	136° 41.1' E	12km	M: 2.7
95	24 03 12	山梨県東部 神奈川県 1 相模原市相原*=0.6 相模原市津久井町中野*=0.6 山梨県 1 大月市御太刀*=1.3	35° 32.5' N	138° 58.8' E	20km	M: 2.8
96	25 00 21	奄美大島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村悪石島*=2.3	29° 29.9' N	129° 33.0' E	11km	M: 2.9
97	25 01 14	北海道東方沖 北海道 2 根室市落石東*=2.0 根室市瑠瑠瑠*=1.5 1 羅臼町岬町*=0.9 根室市牧の内*=0.8 根室市厚床*=0.8 標津町北2条*=0.7 標茶町塘路*=0.6 別海町本別海*=0.6 別海町常盤=0.5 浜中町霧多布*=0.5	43° 28.4' N	147° 07.5' E	52km	M: 4.2
98	25 03 47	福井県嶺北地方 福井県 1 坂井市三国町中央=0.5	36° 07.8' N	136° 04.4' E	10km	M: 2.2
99	25 11 34	釧路沖 北海道 1 釧路市音別町直別*=1.0 広尾町並木通=0.8 大樹町生花*=0.7	42° 02.5' N	144° 13.8' E	47km	M: 4.3
100	25 20 26	長崎県北部 長崎県 2 長崎市長浦町=1.8 西海市西彼町*=1.5 1 諫早市東小路町=0.8 川棚町中組*=0.7 長崎市神浦夏井町*=0.5 佐世保市干尽町=0.5	33° 01.2' N	129° 55.1' E	12km	M: 3.3
101	26 02 21	鹿児島県西方沖 長崎県 1 五島市岐宿町*=0.9	31° 54.2' N	128° 40.7' E	32km	M: 3.7
102	26 10 47	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.7	34° 20.4' N	139° 10.8' E	11km	M: 1.6
103	26 12 16	釧路沖 北海道 2 釧路市音別町直別*=2.2 足寄町南1条*=1.5 1 本別町向陽町*=1.2 大樹町生花*=1.2 十勝池田町西1条*=1.1 足寄町上螺湾=1.0 釧路市阿寒町中央*=1.0 豊頃町茂岩本町*=0.9 厚岸町尾幌=0.9 鶴居村鶴居東*=0.9 標茶町塘路*=0.8 本別町北2丁目=0.8 陸別町陸別*=0.7 弟子屈町弟子屈*=0.7 弟子屈町美里=0.6 幕別町本町*=0.6 標茶町川上*=0.5 帯広市東6条*=0.5 釧路市音別町尺別=0.5	42° 41.9' N	144° 11.2' E	95km	M: 4.1
104	26 16 30	十勝沖 北海道 1 大樹町生花*=1.2 幕別町忠類錦町*=0.7 広尾町並木通=0.5	42° 29.9' N	143° 34.2' E	71km	M: 3.6
105	27 05 55	福島県沖 宮城県 1 岩沼市桜*=0.5 福島県 1 川内村上川内早渡*=1.2 田村市滝根町*=1.1 広野町下北迫大谷地原*=1.0 浪江町幾世橋=1.0 檜葉町北田*=0.9 白河市新白河*=0.9 田村市大越町*=0.9 小野町中通*=0.9 大熊町下野上*=0.8 田村市都路町*=0.7 田村市常葉町*=0.7 大熊町野上*=0.6 小野町小野新町*=0.6 富岡町本岡*=0.6 平田村永田*=0.6 川内村上川内小山平*=0.5 福島玉川村小高*=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.0	37° 03.5' N	141° 29.7' E	48km	M: 4.3
106	27 11 51	奈良県地方 奈良県 1 奈良吉野町上市*=0.7	34° 24.7' N	135° 52.4' E	9km	M: 2.2
107	27 18 53	福島県会津地方 福島県 1 檜枝岐村上河原*=1.1	37° 03.8' N	139° 26.6' E	8km	M: 2.4
108	28 12 47	岩手県内陸北部 岩手県 1 二戸市浄法寺町*=0.5	40° 09.1' N	141° 10.5' E	9km	M: 2.3
109	28 16 40	台湾付近 沖縄県 3 与那国町祖納=2.5 2 竹富町黒島=1.7 石垣市登野城=1.5 竹富町西表東祖納*=1.5 1 石垣市美崎町*=1.4 竹富町大原=1.3 竹富町波照間=1.3 石垣市新川=0.7	24° 02.5' N	122° 28.3' E	40km	M: 6.2
110	29 01 04	福島県浜通り地方 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.7	36° 52.4' N	140° 40.6' E	95km	M: 3.2

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模	
111	29 19 58	大阪府南部 大阪府 奈良県 和歌山県	34° 17.5' N	135° 15.3' E	9km	M: 3.3	
		1 阪南市尾崎町 * = 0.9 泉南市男里 * = 0.9 岸和田市土生町 * = 0.7 河内長野市役所 * = 0.6 大阪河南町白木 * = 0.6 泉南市消防本部 * = 0.6 1 五條市二見 * = 1.2 1 紀の川市桃山町元 * = 1.4 紀の川市粉河 = 1.2 岩出市西野 * = 1.2 紀の川市西大井 * = 0.9 紀の川市貴志川町神戸 * = 0.9 橋本市東家 * = 0.9 紀の川市那賀支所 * = 0.8 かつらぎ町丁ノ町 * = 0.8 和歌山市男野芝丁 = 0.7					
112	30 00 04	紀伊水道 和歌山県	33° 36.9' N	135° 06.2' E	39km	M: 3.2	
		1 日高川町土生 * = 0.7 和歌山白浜町日置 * = 0.7					
113	30 02 19	茨城県南部 茨城県	36° 10.7' N	140° 06.6' E	52km	M: 3.9	
		3 常陸大宮市上村田 * = 3.0 2 筑西市門井 * = 2.2 桜川市岩瀬 * = 2.0 石岡市柿岡 = 2.0 筑西市舟生 = 2.0 水戸市内原町 * = 2.0 桜川市羽田 * = 1.8 常陸大宮市野口 * = 1.8 常陸太田市町屋町 = 1.7 城里町阿波山 * = 1.7 笠間市中央 * = 1.6 筑西市海老ヶ島 * = 1.6 城里町石塚 * = 1.6 石岡市八郷 * = 1.6 坂東市馬立 * = 1.6 鉾田市当間 * = 1.6 坂東市役所 * = 1.6 土浦市下高津 * = 1.5 下妻市本城町 * = 1.5 常陸大宮市上小瀬 * = 1.5 1 かすみがうら市上土田 * = 1.4 桜川市真壁 * = 1.4 小美玉市小川 * = 1.3 笠間市下郷 * = 1.2 大子町池田 * = 1.2 常陸大宮市山方 * = 1.2 常陸大宮市高部 * = 1.2 日立市助川小学校 * = 1.2 つくば市谷田部 * = 1.2 常陸太田市高柿町 * = 1.2 笠間市石井 * = 1.2 坂東市山 * = 1.1 小美玉市堅倉 * = 1.1 土浦市大岩田 = 1.1 古河市仁連 * = 1.1 取手市寺田 * = 1.1 つくば市天王台 * = 1.1 日立市役所 * = 1.1 茨城境町旭町 * = 1.1 つくば市小笠 * = 1.0 結城市結城 * = 1.0 茨城町小堤 * = 1.0 水戸市金町 = 1.0 常陸大宮市中富町 = 1.0 常総市新石下 * = 0.9 茨城八千代町菅谷 * = 0.9 筑西市下中山 * = 0.9 古河市下大野 * = 0.8 守谷市大柏 * = 0.8 坂東市岩井 = 0.8 ひたちなか市東石川 * = 0.8 常陸太田市中大町 * = 0.7 高萩市安良川 * = 0.7 下妻市鬼怒 * = 0.7 水戸市千波町 * = 0.7 常陸太田市金井町 * = 0.7 土浦市藤沢 * = 0.7 五霞町小福田 * = 0.7 かすみがうら市大和田 * = 0.6 水戸市中央 * = 0.6 石岡市石岡 * = 0.6 稲敷市江戸崎 * = 0.6 つくばみらい市福田 * = 0.6 ひたちなか市南神敷台 * = 0.5 常総市水海道諏訪町 * = 0.5 2 茂木町小井戸 * = 2.4 真岡市田町 * = 2.2 栃木二宮町石島 * = 2.2 上河内町中里 * = 2.0 宇都宮市明保野町 = 1.8 茂木町茂木 * = 1.8 栃木市旭町 = 1.7 岩舟町静 * = 1.7 足利市草上町 = 1.6 小山市神鳥谷 * = 1.6 益子町益子 = 1.6 大平町富田 * = 1.5 1 日光市中鉢石町 * = 1.4 日光市足尾町松原 * = 1.4 鹿沼市今宮町 * = 1.4 鹿沼市口栗野 * = 1.4 野木町丸林 * = 1.4 下野市小金井 * = 1.4 足利市大正町 * = 1.3 栃木河内町白沢 * = 1.3 真岡市荒町 * = 1.2 日光市鬼怒川温泉大原 * = 1.2 日光市足尾町中才 * = 1.2 栃木藤岡町藤岡 * = 1.1 那須烏山市中央 = 1.1 栃木那珂川町馬頭 * = 1.1 日光市今市本町 * = 1.1 佐野市田沼町 * = 1.1 佐野市葛生東 * = 1.1 西方町本城 * = 1.0 高根沢町石末 * = 1.0 小山市中央町 * = 1.0 日光市中宮祠 = 0.9 大田原市湯津上 * = 0.9 下野市石橋 * = 0.8 日光市瀬川 = 0.8 栃木さくら市喜連川 * = 0.8 佐野市高砂町 * = 0.8 上三川町しらすぎ * = 0.7 芳賀町祖母井 * = 0.7 宇都宮市埴田 * = 0.7 宇都宮市旭 * = 0.7 栃木市入舟町 * = 0.7 佐野市中町 * = 0.7 壬生町通町 * = 0.6 塩谷町玉生 * = 0.6 栃木那珂川町小川 * = 0.6 日光市日蔭 * = 0.6 日光市藤原 * = 0.6 那須烏山市大金 * = 0.5 都賀町家中 * = 0.5 群馬県 2 邑楽町中野 * = 1.5 1 太田市西本町 * = 1.4 桐生市元宿町 * = 1.3 沼田市利根町 * = 1.2 片品村鎌田 * = 1.0 桐生市新里町 * = 1.0 桐生市黒保根町 * = 1.0 群馬板倉町板倉 = 0.9 群馬千代田町赤岩 * = 0.9 太田市浜町 * = 0.8 みなかみ町鹿野沢 * = 0.8 片品村東小川 = 0.7 前橋市粕川町 * = 0.7 館林市美園町 * = 0.7 群馬明和町新里 * = 0.7 沼田市西倉内町 = 0.7 みどり市東町 * = 0.6 みどり市大間々町 * = 0.6 富士見村田島 * = 0.6 福島県 1 矢祭町東館本 * = 0.7 檜枝岐村上河原 * = 0.7 棚倉町棚倉中居野 = 0.7 白河市新白河 * = 0.6 浅川町浅川 * = 0.5 埼玉県 1 東松山市松葉町 * = 1.2 滑川町福田 * = 1.2 川越市新宿町 * = 1.1 春日部市金崎 * = 1.1 嵐山町杉山 * = 1.0 東松山市市ノ川 * = 0.9 久喜市下早見 = 0.9 行田市本丸 * = 0.8 長瀨町野上下郷 * = 0.7 熊谷市大里 * = 0.6 吉見町下細谷 * = 0.6 さいたま岩槻区本町 * = 0.6 熊谷市桜町 = 0.5 熊谷市宮町 * = 0.5 埼玉美里町木部 * = 0.5 上尾市本町 * = 0.5 吉川市吉川 * = 0.5 久喜市青葉 * = 0.5 千葉県 1 野田市東宝珠花 * = 0.6 柏市旭町 = 0.5					
114	30 05 06	茨城県沖 茨城県	36° 41.6' N	141° 00.4' E	47km	M: 3.1	
		1 高萩市安良川 * = 0.6					
115	30 08 43	秋田県内陸北部 秋田県	40° 11.4' N	140° 33.5' E	11km	M: 2.7	
		1 大館市比内町扇田 * = 1.0 大館市比内町味噌内 = 0.6					
116	31 06 57	根室支庁中部 北海道	43° 17.8' N	145° 06.7' E	116km	M: 3.2	
		1 根室市厚床 * = 0.6					
117	31 07 45	三宅島近海 東京都	34° 05.1' N	139° 32.2' E	3km	M: 1.5	
		1 三宅村神着 = 1.0 三宅村坪田 = 0.6					

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
118	31 13 50	大分県西部 愛媛県 高知県 大分県 宮崎県	33°01.8' N	131°21.7' E	117km	M: 3.6
		2 宇和島市丸穂*≒1.7 1 松野町松丸*≒0.7 大洲市肱川町*≒0.7 久万高原町久万*≒0.6 愛南町一本松*≒0.5 愛南町柏*≒0.5 1 宿毛市桜町*≒0.7 宿毛市片島=0.5 1 佐伯市中村南=0.9 佐伯市蒲江=0.6 佐伯市春日町*≒0.5 津久見市立花町*≒0.5 1 北川町白石中央住宅*≒0.7				
119	31 17 35	秋田県沿岸北部 秋田県 青森県	40°23.0' N	139°57.5' E	10km	M: 3.2
		2 八峰町八森木戸の沢*≒1.9 1 八峰町八森中浜*≒1.4 八峰町峰浜水沢*≒0.6 1 深浦町深浦=0.6				
120	31 19 42	福島県沖 福島県	37°03.6' N	141°11.4' E	49km	M: 3.7
		2 川内村上川内早渡*≒1.7 1 川内村下川内=1.4 広野町下北迫大谷地原*≒1.3 田村市都路町*≒1.2 川内村上川内小山平*≒1.0 楢葉町北田*≒0.9 広野町下北迫苗代替*≒0.6 浪江町幾世橋=0.6 白河市新白河*≒0.5				
121	31 23 20	茨城県南部 茨城県 栃木県 埼玉県	36°03.7' N	139°55.0' E	47km	M: 3.4
		1 小美玉市小川*≒1.3 坂東市馬立*≒1.3 土浦市下高津*≒1.2 古河市下大野*≒1.0 つくば市谷田部*≒1.0 小美玉市上玉里*≒1.0 鉾田市当間*≒1.0 坂東市役所*≒0.9 坂東市山*≒0.8 稲敷市江戸崎甲*≒0.8 筑西市舟生=0.8 つくば市小茎*≒0.8 常総市新石下*≒0.8 石岡市柿岡=0.8 常陸大宮市上村田*≒0.8 つくば市天王台*≒0.7 土浦市大岩田=0.7 坂東市岩井=0.6 取手市寺田*≒0.6 下妻市本城町*≒0.5 笠間市下郷*≒0.5 かすみがうら市上土田*≒0.5 土浦市藤沢*≒0.5 常総市水海道諏訪町*≒0.5 1 栃木市旭町=1.0 茂木町小井戸*≒0.7 宇都宮市明保野町=0.5 1 春日部市金崎*≒0.9 久喜市下早見=0.7				

付表 2 . 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成 17 年（2005 年）7 月～平成 18 年（2006 年）7 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
2006年 7月	82	24	12	3						121	新島・神津島近海（震度 4：2 回、 震度 3：2 回、震度 2：5 回、 震度 1：15 回）
2006年 6月	59	34	6	2	1					102	12日 大分県西部（震度 5 弱）
2006年 5月	81	20	6	2						109	
2006年 4月	89	47	22	3	1					162	30日 伊豆半島東方沖（震度 5 弱：1 回、 震度 4：1 回、震度 3：4 回、 震度 2：6 回、震度 1：33 回）
2006年 3月	66	31	11		1					109	27日 日向灘（震度 5 弱）
2006年 2月	44	30	3	4						81	
2006年 1月	61	20	4	1						86	
2005年 12月	58	28	10	3						99	
2005年 11月	47	23	8	2						80	
2005年 10月	57	24	7	2	1					91	19日 茨城県沖（震度 5 弱）
2005年 9月	59	27	5	1						92	
2005年 8月	89	29	8	1		1	1			129	16日 宮城県沖（震度 6 弱：1 回、 震度 2：3 回、震度 1：11 回） 21日 新潟県中越地方（震度 5 強）
2005年 7月	81	31	11	4		1				128	23日 千葉県北西部（震度 5 強）
2006年計	482	206	64	15	3					770	（平成 18 年 1 月～平成 18 年 7 月）
過去 1 年計	792	337	102	24	4	1	1			1261	（平成 17 年 8 月～平成 18 年 7 月）

注) 「記事」欄の「*」は関連の地震で震度 1 以上を観測した地震の回数。「記事」欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、または震度 1 以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。

地方公共団体等の震度計による震度の発表開始年月日。

平成 9 (1997) 年 11 月 10 日 秋田県、埼玉県、横浜市（神奈川県）、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県
 平成 10 (1998) 年 6 月 15 日 群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県、愛媛県
 10 月 15 日 青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、
 宮崎県、鹿児島県
 平成 11 (1999) 年 7 月 21 日 東京都、長野県
 平成 12 (2000) 年 1 月 12 日 栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）
 3 月 28 日 滋賀県
 7 月 18 日 富山県、香川県、大分県
 平成 13 (2001) 年 3 月 22 日 佐賀県 5 月 10 日 山梨県、川崎市（神奈川県）
 7 月 19 日 高知県 12 月 12 日 福島県
 平成 14 (2002) 年 3 月 20 日 岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）
 7 月 29 日 北海道、長崎県
 平成 15 (2003) 年 3 月 10 日 沖縄県
 平成 16 (2004) 年 5 月 26 日 独立行政法人防災科学技術研究所

付表 3 . 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数
 <平成 17 年 (2005 年) 7 月～平成 18 年 (2006 年) 7 月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0以上	計 M4.0以上	記事
2006年 7 月	235	40	3	1		279	44	28日：台湾付近(M6.2)
2006年 6 月	270	60	10	1		341	71	12日：大分県西部(M6.2)
2006年 5 月	242	52	4			298	56	
2006年 4 月	271	91	13	2		377	106	1日：台湾付近(M6.4) 16日：台湾付近(M6.0)
2006年 3 月	285	67	9	1		362	77	28日：東海道沖(M6.0)
2006年 2 月	252	66	6	2		326	74	15日：マリアナ諸島近海(M6.6) 17日：父島近海(M6.0)
2006年 1 月	265	52	5			322	57	
2005年12月	363	81	11	3		458	95	2日：宮城県沖 (M6.6) 4日：奄美大島近海 (M6.1) 奄美大島近海の地震の余震 (M3.0～3.9：45回、M4.0～4.9：7回、 M5.0～5.9：3回) 17日：宮城県沖 (M6.1) 三陸沖の地震の余震 (M3.0～3.9：64回、M4.0～4.9：4回)
2005年11月	537	93	8	1	1	640	103	15日：三陸沖 (M7.2) 三陸沖の地震の余震 (M3.0～3.9：277回、M4.0～4.9：27回) 22日：種子島近海 (M6.0)
2005年10月	309	67	8	4		388	79	15日：千島列島東方 (M6.4) 16日：与那国島近海 (M6.5) 19日：茨城県沖 (M6.3) 23日：日本海中部 (M6.1)
2005年 9 月	294	65	6	2		367	73	6日：台湾付近 (M6.0) 21日：国後島付近 (M6.0)
2005年 8 月	453	92	10	2	1	558	105	16日：宮城県沖 (M7.2) 宮城県沖の地震の余震 (M3.0～3.9：38回、M4.0～4.9：10回、 M5.0以上は本震の1回) 三陸沖の地震活動 (M3.0～3.9：43回、M4.0～4.9：13回、 M5.0～5.9：2回、M6.0～6.9：2回) 八丈島東方沖の地震活動 (M3.0～3.9：94回、M4.0～4.9：7回、 M5.0～5.9：1回)
2005年 7 月	378	98	15	1		492	114	23日：千葉県北西部 (M6.0) 八丈島東方沖の地震活動 (M3.0～3.9：124回、M4.0～4.9：40回、 M5.0～5.9：6回)
2006年計	1820	428	50	7		2305	485	(平成18年 1 月～平成18年 7 月)
過去 1 年計	3776	826	93	19	2	4716	940	(平成17年 8 月～平成18年 7 月)

注)日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～153度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。